臺灣日日新報
本日二十四頁
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

冨山房新刊

陸軍航空兵中佐 安達堅造著

フォン・ヒンデンブルグ元帥

定價一圓五十錢・四六判・二二〇頁・寫眞三二葉・與入英本・送料十四錢

駐日獨逸大使ディルクセン博士は本書序文に曰く（前略）今や日本讀者の眼前に、吾人獨逸國民にとりて有らゆる眞の獨逸的英雄の典型及理想の權化なる、故大統領フォン・ヒンデンブルグ元帥の長敬すべき英姿を髣髴せしむ。（中略）中佐の軍人的簡潔たる文體少き辭句を以て、日本國民の有らゆる階級に、相見ゆる此新著が、廣く江湖に愛讀せられんことを翹望するものなり。本書が、故元帥の最高の理想と獨逸國民の理想とが、如何に密接せるかを日本國民に示すに、貢獻せられんことを祈る。

非常時に於ける家庭の好讀物・獨逸精神と其近世史研究の好資料 獨逸研究家・政治外交家・教育家（特に女學）・歷史・軍家・軍人・青年・家庭婦人に推薦す。

神宮皇學館教授 伊藤正雄著

心中天の網島詳解

定價二圓廿錢・四六判・四五九頁・寫眞四葉・關係地名圖一・送料十四錢

近松の戯曲は國文學の最高峰の一つで、國民必讀の珠寶たるに拘らず、從來適當な註釋書が乏しい爲に、一般の人々になほ十分親しみ難い憾みを免れなかつた。本書は此缺陷を救ふべく、近松の作品中でも特に晩年の圓熟期を代表する傑作「心中天の網島」一曲に就て、極めて懇切に解釋を施したものである。各段落毎に要旨、註釋、口譯、捜評の四項を設けて、解釋と鑑賞とに萬全を期してあるから、何人も本書によつてたやすく近松の藝術の眞髓味を完全に味はふ事ができるであらう。なほ卷頭の總説五十餘頁には、天の網島解題のほかに、「近松時代の大阪の地理」「近松時代の貨幣」「徳川時代の時刻法」に就て平易に說明して、近松西鶴等元祿文學全般の理解に必須な智識を與へ、又卷末には、四十餘頁に亙る詳細なる近松參考書目錄を添へて、研究者の參考に資してある。專門學者は勿論、學生諸子並に一般國民各位の机上に一本なすべき所以である。

文博 上田萬年・樋口慶千代 共著　近松語彙　八圓五十錢 送料四十七錢

理學博士 武井武著

電氣化學講義

定價一圓二十錢・菊判・一二八頁・送料八錢

電氣化學は新時代新鋭の武器であり、この武器を用ひた電氣化學工業は產業上、國防上實に重要な工業である。されば電氣化學を知る事は啻に斯道專門家に限らず一般自然科學に携はる者にも極めて必要事である。また本書は高等專門學校の電氣科學生に講義せる原稿を増補せるもので電氣專攻家に電氣化學及び之が應用の概念を與ふるに好適の書である。

内容―電氣化學の基礎・實用電池・電解化學工業・電熱化學工業・界面電解の應用

理學博士 田中宗愛・理學博士 荒木新太郎 共著

染料化學講義

定價二圓・菊判・二六〇頁・送料十二錢

著者は我國民の染料知識の缺如と染料著書の多くが製造工業ものに限られ教科書・實習用のもの少いのを遺憾とし多年の蘊蓄を傾け上梓されたもので、新學新業啓蒙の文獻であり絶好の染料教科書である。

内容―染料の沿革・原料・中間生成體・染料之部・附錄（製品目錄・染料參考書）

理學博士 物理化學綱要　二圓二十錢
工學博士 俵國一著 合金學 全三卷
大幸勇吉著 通俗化學對話　一圓五十錢

昭和十年度 圖書目錄進呈　東京神田 振替東京 三〇一番　冨山房

龜山神作演吉著（最新刊）

類別論語正解

論語を讀まんとする者は先づ龜山先生畢生の力作に據れ!!

文學博士 山田孝雄著（最新刊）

漢文の訓讀によりて傳へられたる語法

圖書目錄拜呈　寶文館

新刊

東京帝大教授・慶應義塾大學教授 理學士 中澤毅一氏著

増訂改版 人生動物學

正價金四圓也

本書の主眼とする所は生命現象の機構を說くにあり。

新刊

理學士 椎尾詞著

應用數學の土臺 幾何の基礎から△へ

正價參圓貳拾錢

出版元 東京市麴町區中六番町五四 振替東京白七番 電話九段千拾番 合名會社 裳華房

陸軍少將 第三軍參謀 津野田是重著

第二卷 軍服の聖者

現代戰爭文學全集 全六卷 四六判上製 價各冊壹圓廿錢

皇師百萬征 驕虜 / 野戰攻城屍作山 / 愧我何顏看父老 / 凱歌今日幾人還

海軍大佐 水野廣德著

第一卷 血の飛沫

發行所 香風閣

七月特大號 雄辯

夏季大學

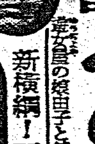
趣味の講座

作歌の眞髓・山の魅惑・青年と詩吟・俳句の作り方・味ひ方・圖畫と實生活・生活と詩の心・將棋必勝法・映畫の見方・圍碁上達の秘訣

金子薫園・菅沼達太郎・山田積善・中村上一・川路柳虹・木村研一・飯島義雄・鈴木爲次郎

現代小說 都會の虹 濱本浩
時代小說 前垂將軍 竹田敏彥
現代小說 東の先驅者 山中峯太郎
名文章 海の斷章 加能作次郎

平沼騏一郎論



現代小說 その流域 賀川豐彥

明朗近代風景（サトウ・ハチロー）

武藏出世物語 齋藤貢

別册附錄

全國青年熱辯集

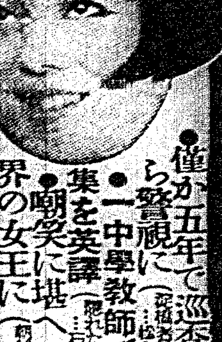
火の如き雄叫び！ 全國青年の血の塊が之だ!! 敢て全日本の同胞に捧ぐ！ 四六判・二二二頁の大附錄

これこそ新日本建設の曉鐘である!!

雄辯大會入賞者の感想座談會

僕が○○だつたら

僕が政治家だつたら…菊池寛
僕が小說家だつたら…小林一三
私が警視總監だつたら…市川房枝



苦難を越えて榮光に輝く人々

宗教界巨頭花形一頁評論
張滿洲國総理とその閣僚

一流大家 一頁演說集

見逃せない深刻な二つの實話
伊・エ兩國紛爭とその波紋
世界最初の海底トンネルを語る
果然擡頭した新黨樹立運動
内外寫眞ニュース

彼女の結婚ロマンス
脫衣盜難事件
奇抜な見合
お化け夫婦…清田清子

テーブル・スピーチ模範例…四名家
獅子兒、能く獅子吼す…加藤咄堂

隨筆（八名家）

喧嘩の因!! 賣言葉に買ひ言葉

宇宙の神秘を語る座談會

特輯 讀切小說傑作集
希望（現代小說）近藤經一
友情旗（現代小說）
入鹿誅伐（傳奇小說）明石鐵也
マドロスの唄（海洋小說）北林透馬
敵睨みの英雄

定價六十錢（別册附錄つき）
發行 大日本雄辯會講談社

書道大講座

豫約募集

第貳卷出來

昭和書道界の豪華版！ 堂々第二號配本して人氣

正に白熱！

本講座は愛書大衆の熱望に應へて刊行されたもので、昭和書壇の權威者が一堂に會し、書道藝術の入門を開き、書の妙境に達するの捷徑を示したものである。實用と藝術の一致を趣味と實益、兩者の完全なる調和に於てのみ見られる所、然して書道は人生のオアシスであり、實に書は成功處世の要訣である。

特典の一　特典の二　特典の三　特典の四

全十二卷

婦人書道講座

全六卷愈完了

第二期會員募集中

お習字を始めませう

書は婦人のたしなみ、能筆は一生の德です。僅か六ケ月でめきめき上達します。

お嫁に行くにも能筆から
就職するにも能筆から
人に好かれるのも能筆から
社交上手もまた能筆から

内容見本 無代進呈

月刊 婦人書道 七月創刊號 修養に！趣味に！實益に！

東京・神田・錦町 振替東京四五三二 誠文堂新光社

始政四十年と聖代の恵澤
同化の實尚遥からぬは遺憾

一

臺灣に新政布かれて四十年、茲に文化に輝々たる現實の臺灣を眼前にして茲に第四十回始政記念日を迎ふることは、誠に聖代の慶事にして祝福に堪へない。この機會に亙り吾人は臺灣大衆と共に過去の新臺灣建設時代を追懐し、同時に永遠の生命をもつ今後の臺灣につき一段の留思と工夫とを致さねばならぬと信ずる。有體に言ふと今日迄の臺灣は、案外に開發され進歩を見たところもあるが、同時に案外見落され閑却され或は全く氣付かなかつた樣な所も少くない。是等の諸點に就て此際よく再検討し、現實の臺灣に即した行くゆく新方策が検討さるることは、始政四十年を最も有意義に記念する所以で無ければならぬ。

二

第一に臺灣の大衆が眞と考へねばならぬ事は、本島が帝國の領有に歸した事を最も喜び嬉しく思はねばならぬ一事である。本島は支那に歸屬してゐたものとは言へ、歴史が示す如く和蘭人、西班牙人、英人、佛人等に外より常に窺はれてをり、時には部分的にもせよ占據され其支配を受けた事もある。而も山地には獰猛なる生蕃が割據してゐて常に平地住民を脅かし、滿清時代にかても之を屈服させる事が出來ず、行政權は辛うじて平地だけにしか及ばなかつた、例へば明治四年我が琉球漂流民五十四名を牡丹社蕃人が殺害した事件に對し日本政府が抗議を提出しても滿清政府は之を化外の民として責任を負はなかつたのである。依つて日本政府は明治七年西鄕都督を派し所謂牡丹社討伐を敢行させたのであつて、滿清政府でさへ全蕃地に其支配權は及ばなかつた位である。

三

斯る事情の外に、平地の行政に於ても滿清時代と日本領有以後とに於ては、其統治振りに非常な相違があり、住民大衆が何より嬉しかつた事は、所謂生命財産の安固であつた。その二は、殖産興業の著しい進歩發達振りであつた。明治二十八年臺灣總督府が出來てから、督府のやつた事業は先づ土匪討伐であり、之に依て良民を保護し治安の維持を圖つたこと、次ぎには生蕃討伐であつて皇化に浴せず兇暴なる精神を持つ蕃人の膺服を强行し、以て平地たると蕃地たるとを問はず全土に亙つて帝國の版圖たる事實を顯現させた。これは臺灣開闢以來の一大事實で未曾有の事に屬する。全土が膺服し治安が保つて衛生が略ぼ緒に就くに至つて總督府は臺灣の豊饒特的天惠を利用して産業開發に殆ど全力を傾注した。

四

この事實を少しく露骨に忌すならば、過去の臺灣總督府當局は大體に於て産業政策にしか興味を持たなかつた——とも言ひ得る。事實その位に産業第一主義で進んだ、そのため地方民を始め一般住民が甚だ富まるに至つたことは、先と形容の仕樣もない位である。是等の事實は、領臺當初と今日との全臺灣の總生産高を比較しても一目瞭然であるが、同時にチフス、ペスト等の各種流行病やマラリヤ等に惱まされず、全く安穏に生活出來るに至つた一事だけでも、どの位日本の臺灣領有を感謝せねばならぬか知れぬのである。

五

然るに是等の儼然たる事實に眼を掩うて、始政記念日を恰も屈辱日か何かの如く歪曲する不逞漢が今尚存在するは甚だ不屆千萬と言はねばならぬ。斯る風を今日まで遺した事に就ては、過去の臺灣當局にも責任ありと言はねばならぬが、是等の點は今日眞と熟味し苟くも國民的觀念の指導を過らぬ樣いたさねばなるまい。これは聊か贅言がましく響えるかも知れぬが臺灣が若し日本の領有に歸するので無かつたなら恐らく本島住民の生命財産は常に其安全が永久に期せられぬのみか、今日の樣な輝く臺灣の惠澤には到底浴せられなかつたであらう。是等は一に吾が皇室の深き御仁慈に因るものであつて、臺灣住民は今日の記念日に際し此點を充分思惟考察し、現代の民たる事を心より感謝せねばならぬであらう。同時に臺灣總督府としても、始政四十年にして尚且同化の實の擧らぬ樣な一部の事實に對し深く顧むる所が無くては叶ふまい。

燦たり！統治の跡
けふ始政記念日
功勞者表彰等論功を明徴にし 全島を擧げて奉祝

今日は輝く寶の島を擧げて多幸を壽ぐ始政記念日の佳き日である、四十年の昔を顧みると殊勲赫々の此の島も畏くも聖威により歴代總督の統治宜しきを得、加ふるに官民が一致協力して開發の爲めに挺身の努力を傾けたお蔭で皇化治く治ひ、産業は興り、教化は進み、文物制度は燦然として全く面目を一新した、四十年前の本島を知る者はうたた隔世の感に打たれる、特に本年は例年の始政記念日と異なり丁度始政四十周年に該當する事とて一しほ意義深いものがあるそこで此の佳き記念すべき年を機とし地方制度の改正が斷行されたし大規模な記念博覧會が島都を中心に開催される等けふを一轉機として第二段の發展に入るべく極めて意義あるスタートをすることになつた總督府では統治上の各種功勞者や孝子節婦及善行者七十二名を表彰する臺北市役所ではカード職員に赤飯を分つて共に今日の佳き日をお祝ひする又總督府はじめ各官衙學校で盛大なる記念式が行はれ、午後二時よりは總督官邸で主なる官民三千名が會して例年より一層華やかに祝賀會が行はれる、市役所主催の市民の大祝賀會は午前十一時から新公園で開催され、夜間は新公園で音樂會、活動寫眞の映寫等があるなど臺灣全島を擧げて今日の慶事を祝福する各種行事が行はれる

功勞者

臺北州 池田雄蕃、石坂莊作、和泉種次郎、今澤正秋、トマスデラホス、戸村英平、陳天來、陳朝駿、林梧、岡今吉、岡野才太郎、尾崎秀眞、大杉作次郎、金子保次郎、吉田勉、竹内猛、谷口巖、黄純青、中島彦四郎、中辻喜次郎、中村護、郡松一造、安田勝次郎、山内小壽三、山本義信、[illegible]濟之助、[illegible]、小島仁三郎、後藤猛、小宮元之助、近藤滿夫、赤石定藏、赤司初太郎、寶藤達、櫻川以智、佐藤德治、許梓桑、許丙貴、鍋島茂之助、水越幸一、三宅俊夫、賀和勝治郎、ジーメシウテーラー、重田榮治、赤司繁太郎

新竹州 鄭神寶、氏家国介、為鄭佐一郎、洪氏巻、鄭雅詮、菊池三五郎、清水新次郎、鈴木讓作

臺中州 張簇珠、二瓶源五、李昌期、林獻堂、劉阿祿、陳大妹、楊吉臣、武田駒吉、村田豐次郎、山口悟治、白勢黎吉、江頭八重吉、デヒヤトランスパロー

臺南州 早川直義、王鳥硈、大村謙吉、越智寅一、勝田榮輔、高島鈴三郎、中川雅夫、村上玉吉、眞木勝太、楊質、安部對太郎、佐々木紀綱、許莊光、紀長、森川清雄

高雄州 池田明道、西澤時藏、東海宜誠、武智直道、高橋傳吉、中村一造、山口長松、ケレメン・タマス、城戸彦市、宮川梯九郎、齋藤熙、白石茂代治

臺東廳 松井金三郎、赤城佐太郎、南茂一郎、妹尾半助

花蓮港廳 非坂仁太郎、羽鳥重郎、山田總太郎、丸田九郎

澎湖廳 三浦光次

善行者

孝子

劉存天(新竹州北斗郡)、[illegible](臺南州新豐郡)、吉良ハル(高雄州屏東郡)、大枝タケ子(同鳳山郡)

節婦

林張氏玉女(臺北州宜蘭郡)、黄林氏日(同文山郡)、簡陳氏燕(同羅東郡)、陳劉氏養英(同基隆市)、陳氏豆(同宜蘭街)、林蒲クラ(臺北州臺北市)、林黄氏[illegible](同淡水郡)、蔡[illegible](新竹州大溪街)、[illegible](同竹南郡)、[illegible](同竹東郡)、[illegible](同新竹市)、[illegible](臺中州北斗郡)、[illegible](臺南州新營郡)、何張氏俊(同嘉義郡)、[illegible](同北港郡)、何陳氏[illegible](高雄州東港郡)、[illegible](同潮州郡)、[illegible](同屏東郡)、李氏[illegible](花蓮港廳)、村山ムタル(澎湖廳)、彭氏治(同西嶼庄)

義僕 [illegible](臺中州大甲郡)

善行者 江上喜代次(臺北州臺北市)、吳郎氏換(同基隆郡)、王姬(同海山郡)、謝阿番(新竹州竹南郡)、陳彩若(臺中州新高郡)、陳[illegible](高雄州岡山郡)、生島サト(臺北州臺北市)、[illegible](臺北州臺北市)、劉[illegible](臺中州員林郡)、陳傑山(同竹山郡)、李[illegible](臺南州[illegible])、[illegible](同新豐郡)、[illegible](同竹[illegible]郡)、[illegible](臺東[illegible])

府評議會員に 始政記念日に記念品贈與

總督府では府評議會員に對し始政四十年を記念して記念品を贈る事とし十七日督府會議室で授與式を行ふと

納税優良庄

本島における納税成績は當局不斷の努力と一般納税者の自覺により逐年向上しつゝあるが總督府では始政記念日を卜し左の如く納税成績優良庄及び納税功勞者二名を表彰した

優良庄 [illegible]

納税功勞者

總督府より表彰 (臺北州)本田啓一 (新竹州)張阿昆

各州知事より表彰 (新竹州)鄭玉樹、陳水生、楊成杰、林樹、曾永貴 (臺南州)王孝聚、黄目然、楊萬[illegible]、[illegible] (高雄州)[illegible] 久保[illegible]

臺北市で 記念日に表彰式を擧行

臺北市役所では十七日午前九時半から樺山講堂にて始政四十年内地人及同九時五十分より市長室にて節婦、善行者、殉行者等の表彰式を擧行すると

鳳梨會社創立
資本金は五百萬圓 「全島の工場一體となる」

臺灣合同鳳梨株式會社の創立總會は既報の如く十五日午前十時半から臺灣鐵道ホテルに於て開催され、來賓として殖産局から中瀬局長、勝田特産課長、小笠原技師等、發起人から西澤知事出席、先づ創立委員長たる勝田永吉氏議長席につき出席株主三十六名(二萬九千百三十四株)委任狀二十六名(五萬四千八十四株)合計六十二名(八萬三千二百十二株)なることを報告、次で監事[illegible]、楊宗城の兩氏を指名して議事に入つた

一、定款承認の件…原案を異議なく可決

一、役員選任の件…議長一任となつて議長より取締役として鍋島熊道、星野眞太郎、齋藤榮、後宮信太郎、岩井清七、濱口富三郎、鈴木三郎助、勝田永吉の八氏を指名、監査役として赤司初太郎、岡島孝道の兩氏を指名、就任した

一、役員報酬額決定の件…原田氏の動議により年額四萬圓以内を役員の報酬金額とし、各自の報酬は役員會に諮つて決定することとなつた

一、商法第一三四條の調査報告…検査役として指名された原田、[illegible]の兩氏は別室に於て調査した事項即ち株式總數十萬株のうち發起人引受一萬四千株、募集によるもの八萬六千株で、此の株金五百萬圓は五月三十日までに拂込濟なる事、會社の負擔に歸すべき創立費は[illegible]十七圓なることを總會に報告して[illegible]

それより中瀬殖産局長の祝辭あり[illegible]

秦德純の申述を駐屯軍は拒絶
謝罪條件に取合はず

【天津十五日發聯合】秦德純氏は宋哲元の代表として十五日朝北平より天津に到着、同日午前十一時過ぎ支那駐屯軍司令部に酒井參謀長及び[illegible]武官松井中佐を訪ひ二十二師參謀長の罷免を申述べ我方の意向を質したが酒井參謀長は駐屯軍の態度は強硬であるから失禮のみでは滿足しないであらうと之れを拒絶した模樣である

【天津十五日發電通】去る五日張北で監禁、侮辱された特務機關員大橋氏等四名が宋哲元軍百三十二師のために監禁、侮辱された所謂第二張北事件は漸く關東軍を憤激せしめ十一日その眞相を發表すると共に[illegible]駐在武官松井中佐を天津に派遣し在津中の[illegible]特務機關長[illegible]少將等と對策を協議する所あつたが我が强硬の態度に驚いた宋哲元は[illegible]を天津に急派して來た、爰は十四日夜著津十五日午前十一時駐屯軍に酒井參謀長を訪問第二張北事件に關する保證の態度、將來の保證等に關する條件を提出して宋哲元を代表して謝罪の意を表したが酒井參謀長は[illegible]東軍の態度は强硬なる旨を述べ同軍よりの訓令を待つて交渉する旨を答ふる所あつた

汪、何、黄が重要會談
鼎坐して

【南京十六日發聯合】黄郛氏は汪兆銘氏の招電に應じ十六日午前七時南京に到着、直ちに鐵道部官舍に汪兆銘氏を訪問し、何應欽氏を混へて三人鼎坐して重大協議に入つた、席上汪氏は河北、察哈爾兩省問題の對策につき最高政務機關たる何應欽及び黄郛兩氏の意見を聽取具體案を練り、更に午後、行政院各部長その他國民政府要人を網羅する首腦緊急會議に臨んだ、日曜にも拘らず國民政府最高當局が斯く重要協議を爲すのは北支の情勢が一刻も猶豫を許さぬ實情を認識し至急對策の要を認めた爲で、十六日の會議に依り政府の最後的方策を決定、更に蔣介石氏に諮つた上で對外的意思表示を行ふものと觀察せられる

第二次經濟建設途上
滿洲國の前途は洋々
林陸相、視察を終へて
下關でメッセージ發表

【下關十六日發】林陸相は永田軍務局長、橋本内閣書記官其他隨員を隨へ三週間に亙る滿鮮視察旅行を了へ十五日午後七時三十分下關著歸京の途に就いたが下關山陽ホテルに於て大要左の如きメッセージを發表した

日滿官民關係については協力一致その親善に努力して居りそれは滿洲國皇帝陛下の御思召しが良く行き渡つて居り今更ながら頭に浸み込む、駐滿機構の改革は目下中央、地方協力し各自職責に向つて邁進非常に愉快に感じて居る、滿洲國は今や第二次經濟建設に入り新内閣の顔觸は何れも適材適所にして一心業務に盡瘁、同國の前途は洋々たるものあるを確信する、我が關東軍は南軍司令官を中心に故國を遠く離れ何等の施設も慰問もなくして將校以下兵卒は困苦缺乏一言の不平も言はずその任務に服してゐる樣は唯感激の外はない即ち例へば一個師團が我國の全面積に匹敵する廣大な地域を守り僅い所では僅かに數名で一部落を警備し[illegible]なく出沒する匪賊に備へてゐる樣な状況である、匪賊も一日一回平均に現はれ毎月十數名の戰死、傷者を出してゐる、ソ滿國境ではソ聯邦は國境全線に亙り二十餘萬の兵を備へ日ソ兩邦と滿洲國間には戰爭を惹起すべき重大な動機はないが彼我の距離が接近してゐる爲に衝突の原因を作り易いので非常に注意を要する、又治安維持に就いては未だ多少の匪賊の出沒が續けられてゐるが今後滿洲國の政治的向上補正に據り始めて終熄するもので一朝一夕に其全滅を期する事は困難である、移民問題は我が人口問題解決の上から又滿洲國の産業開發の上から見ても必要な事で國家的大方針に基いて大量移民を爲すべきである治外法權撤廢は着々準備が進められ先づ課税權の撤廢から始め康德四年末迄に大體行ふ事に決定してゐる、終りに北支問題に就いては支那が日、滿、支三國の親善に努力する迄は積極的に邁進する必要がある、一時多數に溯らせる事は却つて將來に禍根を殘す事となる、尚北支問題に就いては詳細は歸京の上相談して決定する心算である

經費を增加、飽迄國策强化を期す
林陸相の滿洲視察で 陸軍の態度益々硬化

【東京十六日發】滿洲國視察を終へ十六日午後二時二十五分東京驛着列車で歸京した林陸相は視察の結果關東軍の現狀並に滿洲國の各政治、經濟、治安の各般に亙り一層認識を深めたので近日中陸軍首腦部の會同を求め視察の成果を報告すると共に事務當局に對して軍事問題に關し再檢討を命じ對滿國策遂行に遺憾なき努力を傾倒するものと觀られてゐるが、滿洲國の治安國防を完備に導く關東軍の兵力、給料、配置、教育、給與の問題滿洲國の産業開發又は移民問題にせよ何れも經費の增大を條件とするもののみであり更に國策を強化せんとすれば經費の膨脹は不可避的であるを以て先づ之等の政策遂行に必要なる經費の捻出こそ當面の重大問題とし根本具體案の完成を俟つて岡田首相並に財政當局に對し所要經費の要求を爲すものと觀られてゐる、而して陸軍當局としては膨脹する經費に充當すべき財源額としては目下の所公債を發行するか增税に依るかの二途の外なしとしてゐるが兩者とも財政當局に難色ある爲、果して陸軍の要求に應ずるか否かは頗る疑問である、が陸相今次の現地視察によつて滿洲事件費の削減は勿論不可能であり、國策強化の爲には更に一層の經費の增加は已むを得ずとの結論に到達して居り財政當局の緊縮政策の方針には到底應じ難しと陸軍經費の增加を求め場合に依つては相當の決意を爲すも辭せざるを得ないとしてゐる模樣であるから來年度の豫算編成に當つては相當の波瀾が豫想され、その成行には頗る注目すべきものがある

宋哲元
下野を通電

【南京十六日發】宋哲元は南京中央に對し察哈爾省主席辭任と第二十九軍長辭職の通電を發した

政友會の更生
獨力では困難
岡崎氏の政局觀

【東京十六日發】政友會總務岡崎邦輔氏は郷里和歌山より二ヶ月ぶりで十六日午前八時東京驛着列車で歸京したが、車中左の如く語る

鈴木總裁には今月早速會ふつもりであるが私は別に政友會更生の名案を持つてはゐないから歸京後は專ら黨内各方面の意見を聞きその上で然るべく考へようと思ふ、一時總裁更迭の噂が可成り本當らしく流布されたが私の聞いた話では先月十五日鶯光亭の會合で鳩山君が政策更生問題に就て述べたことが擴大されたらしい、まだ私の總裁問題などとんでもないことだ、政友會を如何に更生せしむるかに就ては、これは政友會單獨でなし得るものではなく、政策全體が更生せねば政友會の更生も不可能だ、久原君は所謂重臣ブロックの基礎、思想排撃を旗印に進みたいとの考へを持つてゐる樣であるが所謂重臣云々は急に出來るものではない、黨の更生に關し政府の審議會に對抗する國策審議機關を設けるといふ話があるが此のことに就ては何とも言へぬ、まだ審議會問題に就ては黨内の一部に一部幹部の專斷を避ける意味でこれを要望する向があるが少し逆すぎる樣な氣がする

【東京十六日發】十六日朝歸京した岡崎邦輔氏は同日午前九時頃の自邸に鈴木政友會總裁を訪問し過日和歌山に於いて病氣靜養中受けたる見舞を謝して歸京の挨拶を述べ黨更生方針に關しては追つて懇談することとして同二十分辭去した

故北白川宮能久親王殿下の御尊像 (鮫島臺器氏の力作にかかるもので始政記念日に臺灣神社に獻納したるもの＝詳報別項)

四十年を經て臺灣を想ふ
新に爲すべき事も多い
拓務大臣 兒玉秀雄

臺灣が我が日本の版圖に歸して茲に十六代の總督、滿四十年の歳月を閲みして茲に本日其の最も意義ある始政四十年記念日を迎へたのであつて、今にして其の當時を追想すれば眞に深甚の感慨を禁ずる能はざるものがある。[illegible]

[illegible]て置きたいと思ふのである。即ち第一は國防の[illegible]であつて[illegible]

なきを期しつゝある所であるが、是等の事情から内臺人融和增進の上に一層努力を要することは勿論[illegible]。第二には地方制度の改正である。[illegible]

[illegible]んとするものである。第四は[illegible]の開發である。[illegible]は昨年既に其の開通を見たが同年一月よりは内臺航路[illegible]つた、臺灣が我が内地と南方各地との交通上に一新紀元を畫すると共に、[illegible]

[illegible]に依つて天與の富源を[illegible]し、[illegible]

[illegible]のであります

シナチク

田端專賣局長の勇退風説なるものが傳へられたのは中川總督の上京直後たる五月中旬頃だつた之と同時に督府内主要局長の更迭も傳へられ、多少の可能性もあるやに見られてゐた▲然し總督の在京中に之が實現を見ずして退京歸任となつたが、現兒玉拓相が拓務省初め内地側と外地側との人事を有機的に動かし、之に依つて外地の沈滯し勝ちな官界の空氣に新味を保たしめんと希望してゐるのは事實で、最近の拓務省と臺灣總督府の二三人事への如きも其一例▲けれども局長級になると一方の希望だけでは容易に動かせぬ事情もあり、急速に進ふかどうか今のところ解らない、殊に田端翁はアレで相當に仕事を澤山やつて來た、そして專賣の事業を經て歳入を增大せし可なり督府の特別會計を潤ほしてゐる▲そんなわけで一部に希望があつたからとて直ぐソレですら／＼と動くといふ譯でもなし、要方の希望が一致しない限り容易に異動に行へない、但臺灣の中央に下の官人達が早天に夕立を望むほどの熱心さを以て或る種の異動を希望してゐるらしい。

人事

▲西澤臺北州知事 十六日夜行にて高雄へ歸る

▲中辻喜次郎氏 二十日臺灣の出發

▲高崎豫之助氏(東洋製糖會社重役) 十五日來臺(鐵道ホテル)

▲相澤清氏(外務省事官) 十五日來臺、十六日屏東へ

▲前田經濟氏(日本商業タワオ駐在員) 十六日高雄へ、十九日發タワオへ

▲芳賀鍬太郎氏(日本興業銀行[illegible]) 十五日高雄より來北、十六日花蓮港へ

▲立花定氏(日本興業銀行嘱託) 十七日渡南へ

▲[illegible] 十五日來北[illegible]

▲[illegible] 十[illegible]

本日の本紙定價

本日の本紙は始政記念號として二十四頁、一部定價金[illegible]である

商業登記公告 臺北地方法院 [illegible]

大阪商船 ●基隆出帆 [illegible]

●高雄出帆 [illegible]

近海郵船 [illegible]

辰馬汽船 [illegible]

大連汽船 [illegible] 丸一組

のむほど血となる エシコール 正直葡萄汁 夏の飲料 和洋酒及食料雜貨類 グローブタンサン 發賣元 臺北市本町一丁目 電話四五五番 伊田商店

キッコーマン醬油 新景品附大賣出し 香味第一 近藤商會

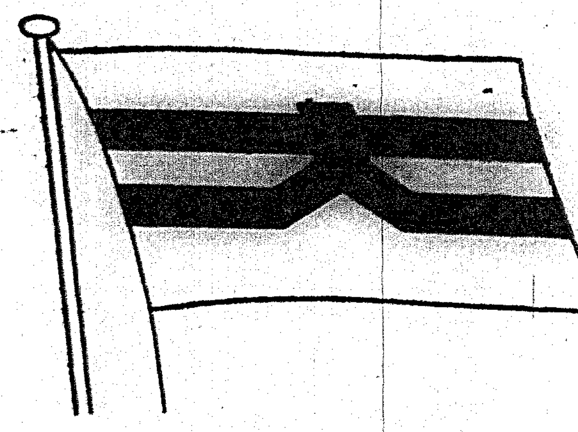
島都唯一の社交舞踏場 ダンスホール羽衣會館 電話七四八番

涼しい！ 屋上庭園が完成致しました 宴會園遊會等に御利用下さい 島都のNO.1 カフエー羽衣 電話三三一九番

蓬莱丸より

祝船渠西岸構築記念

野口敏治　松岡一衞　赤司初太郎　後宮信太郎　木村泰治　廣岡信三郎　大島卓爾　近藤有曾　辻本正春　中辻喜次郎　高橋猪之助　伊藤麻吉

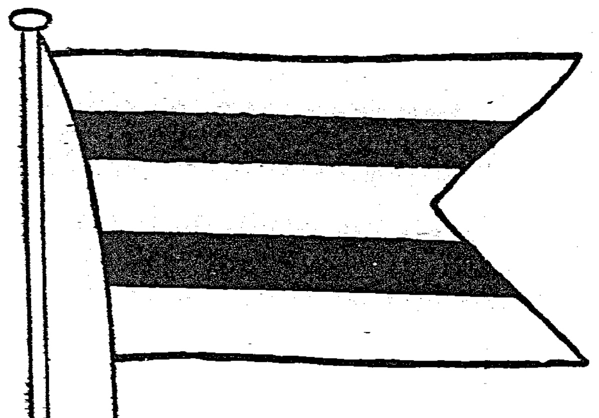


大阪商船株式會社
基隆支店
臺北出張所

臺北市太平町三丁目二四四番地
株式會社 菊元商行
菊元百貨店 榮町三丁目 電話四番五〇番
菊元卸部 太平町三丁目 電話番八五番
菊元小賣部 太平町二丁目 電話五番五番

臺北市南門町三丁目
片倉合名會社臺北出張所
富國火災海上保險株式會社 (片倉經營) 臺北出張所 電話二二二三番

太平蓄音器株式會社
臺灣配給所
臺北市本町三丁目 電話四壹貳九番振替臺北貳六參七番
本社 西宮市今津町



近海郵船株式會社
基隆支店
臺北出張所

營業
一、電氣ノ發生、供給、販賣事業及其ノ附帶業務
二、電氣事業、瓦斯事業又ハ之ニ關スル事業ノ投資

臺灣電力株式會社
社長 松木幹一郎

本社 臺北市書院町壹丁目壹番地
支社 東京
營業所 臺北、基隆、臺中、臺南、高雄、宜蘭
營業支所 彰化、屏東

株式會社 臺灣銀行 (臺北)

支店所在地
臺灣: 基隆 新竹 臺中 彰化 嘉義 臺南 高雄 宜蘭 淡水 桃園 南投 屏東 臺東 花蓮港 澎湖島

支那其他內地: 上海 福州 廈門 汕頭 香港 廣東 新嘉坡 スラバヤ スマラン バタビヤ 孟買 倫敦 紐育 東京 神戸 大阪 橫濱

天使（108）

横光利一　作
宮田重雄　畫

九の九

幹雄はこの次京子に逢へば、自分が京子へ愛情を感じたことについて、云つてしまはうと思つた。もしそれで京子が怒るやうなら、それは京子が、つまらぬ女なのだから──と、二三日してから幹雄は、紀尾井町の家へ歸つて、貞子を呼び出した。

貞子は幹雄から何の頼りのなかつたことについて、恨みがましいことを、一言も云はなかつた。

「あれから家へ歸つたら、父がひどく怒つてね。家から出るなと云ふのだ。それといふのは、京子の實家が破産したので、そのときに京子を拋り出して、君と結婚するなんて、けしからんと云ふのだが、親父にしてみれば、それも道理なんだよ。僕の家が前に一度、潰れかかつたときに、京子の家から、救はれたことがあるんだ。それで、親父は、どうしてもまた京子と結婚しろつて、きかないのさ。」

長火鉢の前で、黙つてゐた貞子は、頷いたきり、青ざめていつた。

幹雄は家の事情について、もう少し詳しく話さねばならぬと思つたが、潤れた貞子の様子を前にしては、それ以上話す氣にもなれぬのであつた。

「しかし、とにかく、このままだと、僕は金を貰へないだらうと思ふから、どこか勤めを探さうと思ふんだよ。それに僕も、一度何でもいいから、勤めについて、自分で生活してみたくなつて來てゐるんでね。君のお母さんや、君にはすまないんだが、當分、君の家へ僕が厄介になるか、それとも、ここへ君の家が引き越して來るか、どつちかにしようと思ふんですが、どうです。あなたの意見は？」

「それは、もうあたし、決心してをりましたの。ですから、あたしの家へ來て下すつたつて、かまひませんけれど、今の家は汚くつてあなたなんかに、辛抱していただけないと思ひますわ。」

「僕は汚くたつていいが、僕があなたの所へ行けば、お母さん、お困りになると思つてね。それに安い月給で、あなたやお母さんに迷惑をかけるのは、たまらないから、僕の父の氣持ちの變るまで、アパートかどつか、借りやうかとも思つてるんだ。あなたのお母さんの方へ廻すお金は、僕が母から貰ふかどつか拵ふから、それを廻すことにして、當分それで我慢していただかなくちや、まア、しやうがない。」

病院にゐるとき、二人の結婚から生じる幹雄の家の紛糾を、貞子は云つて、幹雄の親達を避けたが、それが今になつて、いよいよ貞子の言のごとくなつて來たのであるから、幹雄も心苦しくてならぬのである。

しかし、こんな風に、のつぴきならなくなると、貞子の態度は、さすがにはつきりとしてゐた。

「あたくし、もう一度働きに出ますから、私の母の方は、御心配して下さらなくつても、ちつともかまひませんわ。ですから、あなたが就職なさるまで、今のままでゐらつしやる方が、良かありませんの？」

「それは僕としては、一番都合が良いが、君に理屈申し譯がないからね。第一、君のお母さんにお逢ひするのが、先づ當然なんだけれども、それは結婚の方が、安定してからにしたいと思つてゐるんだから、このままなら、もう少し待つてくれたまへ。僕の母は、あなたとの結婚を望んでゐるんだから、何とか今に、はつきりするだらうと思つてるんだ。それまで、先づ辛抱してくれたまへ。」

ラヂオ

始政四十周年記念放送番組第三日

午前の部

（終日に付始政記念放送中止）

【六・〇〇】△朝の挨拶△ラヂオ體操△今日の主要天氣のお知らせ　臺北觀測所發表

【七・三〇】全國氣象通報（東京）家庭料理獻立（臺北州立臺北第一高女教諭 [illegible]）一、うどんのオムレツ 二、花模様の漬物 三、夏野菜のゼリー

午後の部

【一一・五九】正午の時報、氣象通報…臺北觀測所發表、放送局編輯ニュース、實驗娛樂時間（レコード演奏）長唄「臺北四季」藤原作詞、松永和十郎作曲 唄…松永和十郎、三味線…杵屋勝吉治、杵屋巳太郎、囃物…梅屋社中　民謠 一、お二人さん（西村忠三作詞、中尾芸治作曲）二、布袋の唄（上村一仁作詞、中山晋雄作曲）八重しん 三、島の唄（佐野文吉作詞、中尾芸治作曲）伴奏 [illegible]

【〇・五〇】內地定期船基隆入港時刻及接續列車時刻のお知らせ　臺灣總督府鐵道部發表

【一・五〇】野球中繼（臺中）都市對抗野球第一戰（大會狀況第三日決勝戰）臺中市水源地球場より中繼

【五・〇〇】子供の時間（東京）獨唱と齊唱…青い鳥 蒼海音樂團兒童 一、獨唱、博多人形、外一…村岡京子 二、獨唱、雨ふり、外一…山口菊子 三、獨唱「小さなお馬車」大川澄子 四、齊唱…[illegible]

【五・二〇】子供の新聞（東京）關屋五十二

【五・二五】記念講演　臺北（全島中繼）始政四十周年記念日に際して…臺灣總督中川健藏

【五・五五】カレント・トピックス（東京）

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間（臺北）兒童劇 童謡「節まつり」愛國兒童會

【六・三〇・七・二〇】所感會　臺北 在臺四十年を語る（イロハ順）堀內次雄、幣田鎮次郎、小松吉久、小宮元之助、鈴木重 [illegible]

【七・二〇】三絃と尺八合奏（名古屋）三絃…佐藤正和、尺八…加藤溪水 一、五月まつり（山田淳子作詞、宮城道雄作曲）二、千代の栄

【七・四〇】狂言（東京）不聞座頭　野村萬齋外

【八・〇〇】物語（東京）ベルガンの [illegible]

【八・二〇】琴獨奏（東京）[illegible]

【八・三一】臺灣音樂（臺北）北京曲 國風樂 彰化陳炎方、伴奏同志音樂會員

【八・四五】萬歳（臺北）智雲氏べ 掛合問答…山川道風、月遊家福奴、砂川金丸

【九・〇〇】民謠（臺北）臺北檢番 追分節、同梅菜、同〆丸、同静翠、三味線小大、同たね、囃子望月社中 一、とことんやれ節 二、有明節 三、さのさ節 四、四季 五、千里あるような 六、程のよさ節 七、雑賀節 八、南國ぶし

最近著の雑誌

▲話（一四七號）▲相撲畫報（六月號）▲うまき（六月號）▲臺灣教育（六月號）▲法律新報（第四百號）▲幼年俱樂部（七月號）▲詩道の友（七月號）▲ホームライン（七月號）▲をどり（六月號）▲[illegible]（六月號）▲朝鮮（六月號）▲紙及文具（六月號）▲斥候（六月號）▲詩と歌謡（六月號）

嘉なかだち

求妻一件一圓　臺圓貳拾錢
其他一圓　臺圓七拾錢
匿　信　信　額

女ボーイ [illegible]

技工見習 [illegible]

養子 [illegible]

街頭や屋台の飲物は危險　愛兒に目を放すな

初夏から夏へのお母様の頭痛

御家庭で出來る飲料の色々

子供と飲物——これからだんだん暑くなるとお母様方の心を痛めるものの一つです。ふだん食見のすべてに細心の注意を拂つてゐるお家庭でも、ついうつかりしてゐるうちに子供はあまり、のどが乾いてやたらに飲みなれぬ水を飲んだり、街頭のアイスなどを買つたりしてとり返しのつかぬやうなことになるのもこれからは少くありません。さうしたことの起らぬやうにするためには、平素の教育は勿論大切ですけれど、「家へ歸ればおいしいものが飲めるのだ」と云ふ氣持を何時も持たせるやうに、子供のよろこぶ飲み物を家庭でやるのは親心を持つお母様の大切なつとめの一つです。ではどんなものを與へ、どんな注意が必要か、大體記して見ます。

まづ 番茶、麥湯などを冷してお砂糖を少し入れたものならば、手もかからず始終飲ませるのには一番よいでせう。又メンザイを買つて來て狐色になるまでいり外に入れ、麥湯と同じやうにして作つたものをやはりひやして置いて、砂糖を入れて與へますと一寸ぬか臭い嫌ひもありますが、喜ぶ子供や田舎の氣味ある者には大變效果的です。猶一番子供の喜ぶのは果物の汁をしぼつて茶匙一杯位をコーヒー茶碗にうすめて、砂糖、レモンやバニラのエッセンスに氷の一片でも入れると大變おいしいシロップが出來ます。これに使ふ果物はなるべくすつぱいもの、レモンや夏みかんがよく、桃などは先に砂糖煮を作り、桃は別に食べ殘つてゐるシロップをうすめたもの、その他新鮮なものなら何でも結構です。それらの

果汁の中にミルクや玉子を泡立てたものなど入れると一層よろこばれます。玉子は夏季でも自家でも差支ありません。ラムネ、サイダー、コーヒー、紅茶、緑茶などの飲料は勿論、瓶詰として賣出されてゐるシロップは果汁のやうに見せかけてゐて、實は薬品を調合したものが多いですから、殊に子供にはかういふものは與へません。又冷たすぎるもの、殊に味をつけたものなどは避けること、食前食後にあまり冷たいものを飲むと胃腸の働きが鈍つて消化悪くしますから、充分注意を要します。然し如何に御家庭で用心して居りましても、不幸にして胃腸の弱つてゐる時などに飲食をしますと、きつと胃腸を害されますから平常から胃腸の強化を圖ることが必要です。これは飲みすぎたかな、食ひすぎたかなと思ふときでも大丈夫です。それには大日本製藥研究所から發賣されてゐる「米の母」の服用が最も合理的であります。米の母は人體に不可缺の貴重な營養成分を生のまま多量に含有してゐるので胃腸を刺戟して活潑にし、これを賦活更生せしむる外、榮養の補給をなし、血を増し元氣をつけ體内に抵抗力を増進します。若し飲み過ぎ食べ過ぎの場合に從來の藥物を與へますと、一時的には之を抑制することは出來ますが、副作用を伴ひ度々用ひますと病状を惡化させ慢性に陷らしめる結果を招きますが、米の母を用ひれば副作用は絶對になく、效果が一方に偏せず全面的作用が顯著なるために身體の強健を益々向上するので目下盛んに愛用されてゐます。

國防献金に就いて

非常時日本の危機に際しまして本會の盡すべき使命に種々ありますが、今度國防費のために一層の力を致し、本會臺灣本部五十萬人の名に依つて國防献金をいたしたく、永年國民營養のために貢献せる米の母本舗片倉營養化學研究所に此の趣を圖りました處、非常の賛意を得て茲に左の規定に依る企に依つて絶大なる御援を得ました。何卒本會の企圖達成のために御賛同の程を御願申上ます。國防と健民獲得が目的に米の母空ケースを各支部へ御送附を願上ます。

主催　愛國婦人會臺灣本部

左の規定に依り直ちに國防献金となります！

期間　自昭和十年六月一日　至昭和十年八月末日

「米の母」		
金五十錢	（空ケース）	金五錢
金九十錢	同	金十錢
金二圓	同	金二十錢
金二圓六十錢	同	金四十錢

錠劑空ケースも右規定に準ず

食慾減退は胃腸衰弱の徵候

なぜ夏は食欲が減退するか

入梅も近づいてまゐりました。一昨日あたりからは誰方様でも日増しに食慾が減退することは毎年ご經驗の通りです。然らばなぜ暑くなると食慾が減るか、更にどうしてご飯がまづいか、ご飯をおいしく頂くにはどうしたら一番効果的であるか調査にのべてみます。暑い時には食慾を餘計にする必要がありますが食物がだんだんと消化器が少くなり、熱を出す必要がなくなるので、食慾が減退するのは當然のことです。それを補ふためにはやたらに一時への薬を用ひることは絶對に避けねばなりません。自分の好物や辛いものは食欲をそそるものですから、これらに依つて少しでも御飯をおいしくたべるやうにすることが最も肝要です。殊へには梅干の好きな人は梅干とか或は佃煮、紅生姜、醋漬などもよいでせう。但し子供たちには梅干やわさび漬のやうな、あまり辛いものはさけなければなりません。男の方で酒は多量にはいけませんが

盃一杯位のお酒で食慾が出るならば、それも結構です。一寸に肉を食べれば肥るかのやうに考へますが、これは勿論成長する時期には肉食も必要ですが、肥るためにはどうしても含水炭素を多く攝らねばなりません。ですから前に申したやうにして御飯もぜひ食べること、そして魚や肉のやうなものは別に食べるやうにして營養を補ひます。ご飯の量を一定しておいしい時も、まづい時も定めた量だけ食べると云ふ人もありますが、これは子供には好いでせうが、大人には却へものです。お茶漬も消化がよくないのと食べ過ぎますから、無理に多量に食べてお腹をこはさぬやうに注意すること。子供にはなるべく食べさせないことです。又夫婦の人は朝の食事がおいしくないと云ひますが、それをおいしくたべられるやうに自ら心懸けねばなりません。それには先づ平常より一時間位早く起きて散歩をするとかラヂオ體操、庭いじりなどの

運動をしてから食事をするとずつとおいしくたべられます。御飯で食慾がないと云ふだけでしたら、この位の注意で結構食慾を旺盛にすることが出來ますが、平常から胃腸の作用が規則でない人は普通の食事をとることが大切でありますが、結局これは、常に食物に氣をつけて胃腸の強化を圖らねばなりませんが、これも食物に依つて一般の家庭で完全を期することは困難ですから、胃腸の強化劑に依り強化を圖ることが一番必要であります。それには大日本製藥研究所から發賣されてゐる「米の母」の服用が最も合理的であります。米の母は在來の藥物の如く效果が一方に偏せず、胃腸の作用を活潑にする外身體各部の細胞組織を賦活更生せしむる理想的藥品であります。

主婦の知識

一般の食慾不振は胃腸病の子供から、至初期結核患者の療法として食餌療法が最もすぐれてゐる事は學界の實説となつてゐますが、二三の注意をあげると、白米食はさけ肉類の内臓、卵、豆類等何でもあきずにとること、動物性脂肪は榮養價値が多いが胃腸の弱い者は消化せぬ様適當「米の母」を忘れぬ様に服用することが一番安全です

記者附記

米の母は粉末六〇瓦五十錢、百廿瓦九十錢、二百九十瓦一圓、六百九十瓦四圓六十錢　錠劑は百廿錠六十錢、一圓五十錢で各調劑店にありますが、品切れの場合には臺北市京町本通三丁目片倉營養化學研究所内大日本製藥研究所宛お申込下されば一個でも急送する由

惡性の脚氣が全快

（東京）日守新一

私は上京以來、毎年脚氣に冒され少くも二三ヶ月を病床に呻吟するのが殆の様になつてしまひました。何とかして、これを根本的に治癒出來ぬものかと色々人の勧へにしたがひやつて見ましたがどうしても夏が來るとやられてしまひます。去年の夏でした例の如く、脚氣に冒され、ねたり起きたりしてをりました所、友人のS君が來て色々話の末に「米の母」なる藥が良いからすぐ服用する様にすすめられたので、それ迄食べてゐた粉藥をよして米の母を常食に入れ食べ、第二回分服用しました。所が初の内は大して效いたとも思はれませんでしたが、二十日位過ぎますと脚氣に特有の便秘が治り、緩和的に便通がある様になり、一ヶ月後には完全に治りました。そして今年の夏はまたひどくやるのかと、米の母のお蔭で脚氣が治り、顔色もよくなりましたので、[illegible]

ウテナ固煉白粉

お化粧下に　とき水に

ウテナ化粧水　三十錢　三十五錢　五十錢

粋ですが
落ついた氣品ある
艶麗さ！
近代味があふれ
どなた様にも
美しく映える色味！
日本髪の節なぞ
なくてはならない
ウテナ固煉白粉！

とても　ツキよく
化粧くづれせず
×
お肌のお爲にも
第一番の白粉
×
ウテナは涼しい
夏の夕のお化粧料

肌色・濃肌色
白色・健康色　三十五錢・五十三錢

東京特製　明麗ゆかた贈呈大懸賞の—

問題
一、水谷八重子さんの愛用される白粉は何でせう？
二、この懸賞の賞品は何でせう？
三、あなた様のお名前と御住所は？

ウテナ化粧品の空函の裏に、右のお答を御明記の上、封書（四匁まで三錢）で東京市本郷區本郷二、ウテナ本舗大懸賞係宛御郵送下さい。（用紙別紙も可）

正解者の中から抽籤て、七月中に賞品を御手許まで差上げます。お一人で何度でもよろしいのです　大急ぎもう一度お出し下さい

締切・昭和十年六月三十日・　發表，七月初旬

賞品　明麗ゆかた　五千反（五千名様）

特賞　明麗ゆかたジョーゼット　五百反（五百名様）

番外　十萬名様まで別口賞品を差上げます。

締切はもうすぐです

ウテナ水白粉　三十錢　五十錢
ウテナ固煉白粉　三十五錢　五十三錢
ウテナ粉白粉　二十五錢　三十五錢　五十錢

東京本郷　久保政吉商店

10.6―6.2

祝 始政四十周年

旭廣告社

最高級品 H.H.H
靴を丈夫にする
サンエッチ靴クリーム
本舗 東京大阪 新藤商店

治淋藥 リベール

恐ろしき淋病の黴菌

淋疾の初めは尿道口より白色粘液様の膿汁を分泌し稍あつて黄色膿を旺んに排出する之の膿中には無數の淋菌が存在し旺盛なる繁殖力を以て尿道の奥深く侵入し淋毒性諸症を併發する。最初は尿道炎を起し錐で刺す様に痛み而して尿道よりする毒素の吸收に由つて發熱し更に黴菌は雜作なく膀胱内に達し淋毒性膀胱炎を起し其他生殖機能に様々の障害を與へる。又患者の不注意より淋菌が眼に這入つて淋毒性膿漏眼に罹り瞬時にして取返しのつかぬ盲目となつた人が往々ある。斯く淋菌は人體に様々の害毒を與へるものである。

本劑の特徴

一、腸粘膜よりの吸收極めて速く服藥翌朝尿は藍色に變じ強きリベール臭を放つて排出し此時已に快感を覺ゆ。
一、今迄尿道を侵しつゝあつた黴菌は服藥後勢力衰へこの殺菌性尿に由つて體外へ洗ひ出される。
一、特製リベールの藥効を最も確實に識るにはその尿を採つて専門家に頼み顕微鏡に由つて黴菌の檢査を行ふのが最も早道で服藥後に日を追ふて黴菌の滅び行く現象を視る事が出來る

定價　五日 二圓　七日半 三圓　十三日 五圓　廿七日 十圓

發賣元 竹村製劑所
大阪市東區南久太郎町
振替大阪三六〇番

專賣特許
日の丸 ヒノマル
菊印
かとり線香
これ以上よい線香なし
兒玉兄弟商會

スキーポマード
姉妹品 スキークリーム スキー艶出しオイル
あなたの明朗と教養を語る新人の美髪料!!!
高雅なる香り 漆黒の光澤 使つて粘らず 調髪界の寵兒
金義德商會

あらゆるランプの百貨店

大阪港区尻無川北通四丁目一四
島田邦太郎商店
電話西一一〇四番・振替大阪七六二五三番
卸店ニ限リ型録進呈

万両
白毛赤毛染
見るからに自然のまゝの黒髪に染る魅力あふるゝ美髪こそなる獨自の誇
(全國藥店、百貨店化粧品店にあり)
定價 二十五錢

飛ぶやうに賣れ出した
白毛染 万両の特長
油髪のまゝ洗はず染まる
自然の色に染まり永く褪げぬ
染は煮かず、すぐ出來る
一度使へば忘られぬ
親切味の籠つたうれしい毛染
販賣店 大阪 高橋盛大堂
代理店 大阪 丹平、小林 實業合社
東京 玉置、大木
大阪・東京 万両毛染研究所

一番ヨクキク
金鳥の渦巻
キンチョウウヅマキ
かとり線香
効力！火持！他に比類なく
需要者本位で眞に經濟的です
蠅 南京虫 家ダニ 退治に……キンチョール

製材機械・丸鋸・竪鋸・砥石・鑢・ベルト
△各種木工機械 及附屬品・歐米直輸入品及製作品
(角鑿機械)
(鉋機械)
(帶鋸機械)

カタログ進呈
臺灣總代理店 楠田竹治郎商店

火災保險代理店 臺灣各地ニアリ
攝津海上火災保險株式會社
取締役會長 村田省藏
專務取締役 桂 蘇一郎
本社 大阪市北區堂島濱通二丁目二番地

精力増進榮養補給劑
たつじん
商標 登録 TRADE MARK

精力充實は成功の基

本劑はヴイタミンABCDを豊富に含む「人參」を主劑として、之に新陳代謝機能を促進する各種の漢藥を巧みに配劑した百パーセントの滋養効力をもつ純粹の漢方滋養劑です。本劑は内臓機能の強化、榮養の補給、精力の増進老衰の防止に効果があるばかりでなく、これを永く服用する時は、血氣を盛んにし、肝氣を穏め、腎臓を強健にします。中年以上の人は素より、神經衰弱、不眠症、貧血、婦人病、胃腸障害の良藥で、平素健康を誇る人でも、榮養補給を怠つてゐると、終には不眠症、早衰症に罹る惧れあれば、是非本劑によつて之を未然に防がるゝやう永續服用をお奬めします。

定價 三〇〇錠(約廿日分) 一圓五十錢　六〇〇錠 三圓　一二〇〇錠 六圓
送料 (内地十五錢 海外四十五錢) 代引十五錢増

主治効能 食慾不進、榮養障害 貧血、盗汗、記憶力減退 神經衰弱、○精、○漏 生殖器障害等に効あり

發賣元 台灣高雄市 莊松榮大藥房
大阪市旭區赤川町八丁目 達仁大阪出張所
大阪市東區平野町 丹平商會分店

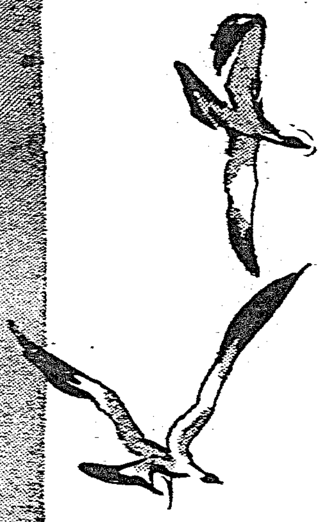
祝 始政四十周年

CHUJOTO

血行を旺盛にし
全身細胞の活動力を強め
婦人病菌を衰死せしめて
眞の健康を齎らす
……好適な良藥中將湯！

下記症状の方には特に中將湯が良く效く藥だけはぜひ良きものを選べ

▼月經が不順勝で經期中下腹がひきつる様に痛む人
▼不快なコシケが下りて下腹が張つたり痛んだり腰がつれたりして
▼體の調子が惡く遂には日常生活に支障を來すやうな人
▼頭が重苦しく頭痛眩暈がし、肩が凝り腰痛及び腰足の冷える人
▼又産前産後の養生と惡阻にて苦しむ人
▼これを油斷すると取返しのつかぬ不幸を招きます
▼全く心から婦人良藥中將湯の御愛用をお勸めいたします

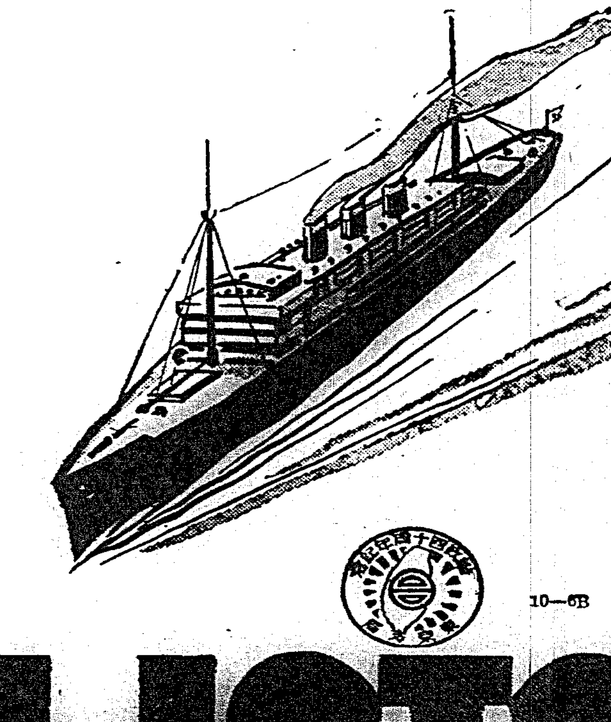


婦人藥の權威 中將湯

—誇るべき藥效を奏し絶對に副作用なし—

—主效—

のぼせ　頭痛眩暈
下腹痛み　腰足冷込
月經不順　子宮病
ヒステリー　(血の道)
こしけ　神經衰弱
肩の凝　寸白感冒
産前産後　浮腫惡阻



(定價)

試用分	金 .20
3日分	金 .50
7日分	金 1.00
15日分	金 2.00
23日分	金 3.00
40日分	金 5.00
85日分	金 10.00

本舗 津村順天堂

本店 東京市日本橋區通三丁目
支店 大阪市東區道修町一丁目

10—6B

CHUJOTO

郷軍の名譽を強持し ジユ號問題を清算
總督府の言明に軍部釋然
桑木臺灣軍參謀長聲明

關係ジユノウ號馬公要港不法入港事件に關する判決は上訴權の自然消滅によつて十五日確定をみるに至つたが十六日午後四時臺灣軍當局は桑木參謀長の談話の形式を以て左の如く本事件に對する軍部としての意見並に今後に對する態度を表明する聲明を發表をなしたこの内容を見るに軍當局は本事件に對しては全般的に遺憾の意を致し、將來の臺灣の國防安全感、軍機保護及國防思想の見地より官民一致の努力を強調せるものでさしも臺灣全住民に重大關心を持たしめた關係ジユノウ號事件も移管事件に關する「在郷軍人、海友會等の言動が民心を刺戟し所轄法院を牽制し裁判の公正を維持することを得ざらしめたり」との理由は十五日夜半に至る檢察會議を續行せる陸海軍、總督府、高等法院首腦會議にてこれを否認し右は移管の理由に非ざることの言明を得たので本問題は急轉直下的に解消するに至つたものである

四月七日馬公要港に不法入港せるジユノウ號事件も終に昨十五日を以て第二審の判決の確定を見るに至つた、固より嚴重なる裁判の結果と云へあまりにも寛大にして此種事件の絕滅を期するに充分ならざりしは甚だ遺憾とする所である、殊に客年十二月

の如く既々に取扱はるるに於ては國防上重大なる禍根を殘すべきことを考慮し當局に對して今後外國船舶等の此種行動を未然に防遏する爲め必要なる斷乎たる處置を講ぜんことを要望すると共に一般の注意をも喚起するに努め來りしが不幸にして所謂怪汽船、怪ヨットの臺灣近海に出沒するもの殆ど斷續なく半年を出でずして其件數既に八件の多きに達し其都度別記（別表）の如く此等船舶中には

一般人に 取りては何等價値も無き海岸を殊更に測量せるものもありヨットには不必要なる水深測量を敢てせるものあり或は病氣治療に名を藉り或は炭水の缺乏を口實として要港其他軍事上極めて重要なる場所に不法入港し甚しきに至つては官憲より特に西海岸の航行を命ぜられつつ敢て東海岸を航行せるものもある状況にして我國防上如何に警戒を要するか又るか極めて明瞭にして殊に關係事件の判決言渡の翌日澎湖の國防上極めて重要なる海口海岸に此種容疑船の又復無斷入港するを見るに至つては甚だ我國を輕視し

我臺灣を 俯瞰するの

蘇邦傭船 英國籍ラングリーブルック號が再び要港に不法入港するや海難の爲とは云へ其處置甚だしく寛大にして事件は我期に反して極めて簡單に解決せられた、此に於て軍は現に諜知しある外國諜報機關の活動狀況並其諜者投等に照らし斯かる事件を此際一層國防要求を強調し一般官民と共に努力せられむことを望む

向今回のジユノウ號事件の審理に關しては全般的に遺憾の點甚だ多く就中其控訴公判に際して高等法院を牽制したりとの理由の下に在郷軍人等が法院を牽制したりとの理由は全然之を認めず、又移管の理由にも非ずとの言明を得たる以上最早何等の關係なく本問題は茲に解消せることを言明する次第である

臺灣總督 同總務長官高等法院長、同檢察官長と軍司令官、同參謀長並海軍武官と談合の結果傳へらるる如き「在郷軍人海友會等の言動が民心を刺戟し所轄法院を牽制し裁判の公正を維持する事を得ざらしめたり」との理由は全然之を認めず

然りと雖も我國人士が殊更に軍部を誹謗するが如き言辭を弄し又一部人士の中には

國防觀念 著しく吾人の期待に添はざる憾あるを遺憾とす、軍は將來國防明徵、國防強化並軍機保護に關し軍民一體一致の努力を拂ふ必要を痛感するものである

酒井武官聲明

ジユノウ號裁判終結に際し酒井駐在武官は左の談話の形式にて次の如き所感を述べた

ジユノウ號事件の派生的事件中吾人の重大なる關心を持つて居た移管問題に關し高等法院長は「移管の理由は軍人關係の示威運動等に依るものでない他に理由がある云々」の意味を話された吾人は之れ以上は國民良心の判斷に俟つ外はない

爾後國以來の非常時に直面し國防の本質たる軍機の擁護は國民の協力を要する事益々大なることを痛感す其他軍參謀長の聲明に全然同感なり

（一）蘇邦傭船英國籍「ランクリーブルグ號」船長英人トム・ダラウンが黒潮より香港に向ふ途中季節風に遭遇し風波を避くる爲と稱し十二月一日基隆不法入港、罰金五十圓

（二）蘭船「ジユノウ號」（二千二百噸）船長和蘭人船員二十九名淡水港よりスマトラに向ふ途中颱風を避くる爲と稱し四月七日午後不法入港

（三）フライング・ダッチマン號（四噸）米海軍將校外二名上海よりマニラ、ボルネオ方面に向ふ途中難航し炭水、糧食補給の爲と稱し四月十五日午後不時入港

（四）フライング・ダッチマン號（四噸）基隆より高雄に廻航を命ぜられつつ其後行方不明となり

不法入港、罰金二百圓

（五）五月十五日頃無國旗三千噸級白色怪船南航せるを沿岸住民共同丸事務長發見其後行方不明

（六）蘭船「オスタン號」（二噸）蘭人各一名上海よりマニラに向ふ途中船舶破損せる爲と稱し四月廿五日午後不法入港、罰金二百圓

（七）五月二十九日午後五時頃臺灣海岸三百米沖を南航せる汽艇を臺灣沿岸警戒中の駐在所巡査發見其後行方不明

（八）米船「クリスチナ、マロ號」（八百噸）船長米人船員四十五名、英領サルバドル（不良なし）を發航し比島イロイロ港より上海に向ふ途中石炭缺乏と稱し六月十一日不法入港

傳へらるる如き 不穩の兆なし
今川臺南州知事言明

【臺南電話】既報臺南州會議員井戸、西川、佐藤、王、千葉、櫻井、庄司、堀内、野村、陳の十氏はジユノウ號事件に就て十六日午後一時半臺南の中を市内竹園町官邸に今川知事を訪問し井戸氏は一同を代表してジユノウ號事件に對する移管の理由中既報の如く移管の理由に非ずと認むる點に就て從來の經過と今日迄の在住民の動靜に就て詳細説明する所があつたが今川知事は佐々木警務部長、古澤市尹、林文書課長等列席の下に左の如き意思表示を行つたので一同滿足の意を表し懇談の後午後三時過ぎ退散したが市會議員は直ちに今後の名譽回復に就き協議をとげ、その結果を發表する筈である

ジユノウ號事件の審理が何故に移管せられたかの適確な理由は自分の未だ感知し得ぬ所であるが右事件が臺南法院に於て審理開始せられてより移管決定迄の五月一日より六月二十二日間迄にその以前に遡りその間當州下の治安に關しては何等人心の動搖を來したりと認むべき形跡ある事態の存在せざりしことを明言致します云々

生蕃熱で勸告書

大甲本生蕃熱對事務局の福屋中本、片野、清水四氏は十六日午前十時ジユノウ號事件の法議公判に關係せる安保氏外四弁護士を訪問して勸告書を手交しそれより寺内軍司令官及福田守備隊司令官を

郷軍支部評議會

【臺南電話】郷軍臺南支部では十六日午前八時三十分臨時評議會に於てまづ支部評議員を開き本件に關する對策を協議し決議事項三項を議決し九時十分終了同五十分より引續き分會長會議を開いた右出席者は臺南花蓮港、東港臺の各聯合分會並に澎湖分會等より約八十名來會には林田州内務部長、古澤市長等多數臨席し湯木支部長挨拶に就き各分會長よりの提出議案審議が行はれ午後一時半十分散會事項等々を議了し午後三時まで引續き歡談會に移つたが當日の行事たる射擊大會は雨の爲め取止めることとなり午後三時散會した

暴風と豪雨が 新竹州下を襲ふ
交通各所で杜絕す

【新竹電話】新竹州では十五日午後一時頃より三時頃迄及び十六日午後一時より同夜迄の二回に亘り猛烈の荒れ狂る樣な豪雨と暴風に見舞はれたが幸にたいした被害もなく十六日午後七時迄に州警務部當局に達した被害狀況左の如し

△大溪郡 大溪橋と同所トンネル内に岩石約十五坪崩壞、自動車の交通不能

△竹南郡 頭分、南林間自動車道路埋沒一ケ所四間、三灣、頭分間道路崩壞一ケ所五間、三叉庄橋梁破損一ケ所長さ十二間

△竹東郡 赤上林庄所橋内石垣十二間崩壞

△苗栗郡 苗栗街、清草塩間自動車道六十三間流失苗栗驛裏の鐵橋約二十間流失

通宵、苑裡間道路工事中の所洛陽及び材料流失（損害三千圓）通霄庄番社道路崩壞一ケ所同庄後山道路崩壞一ケ所

苗栗、大湖間道路崩壞の爲め通宵庄通霄間自動車道路の交通不能箇所を通る自動車の交通不能第二第三トンネルの中間に同所以後ントンネル入口約三十坪土砂崩壞

位の土砂崩落交通杜絕、第三ト

埋沒、苗栗街の被害家屋小屋六七ケ所浸水但し人畜に被害なし

△新竹郡 新埔、關西間道路埋沒一ケ所七間

新埔（枋寮間道路）二ケ所決壞、新埔石頭坑間の鳳山溪橋長さ二十二間流失、新埔庄四ケ所家屋浸水二尺五十戸（道路損壞浸水家屋救助）

△新竹市 東勢坡水二尺以上の家屋二十戸（但し大した被害なし）

鐵橋流失し 列車不通となる
きのふ臺中、南投間で

【臺中電話】十六日中部地方を襲つた豪雨の爲め各河川は增水し交通杜絕の箇所も相當ある見込みであるが臺中、南投間の車道鐵橋附近臺中驛構内附近の鐵道鐵橋流失し十六日午前十一時五十分臺中驛發列車より運轉不能となつた、尚臺中南投間自動車道路も通行不能に陷つた

高雄州下は 稀有の豪雨
河川增水交通杜絕

【高雄電話】高雄州下は十五日以來豪雨襲來し各所河川の增水甚だしく交通杜絕箇所も多く高雄州下に於ては被害續出してゐる

迷へるか鳩いづこ
豪雨を侵して敢然翔け出したが 豫定時間内に到著せぬ

れは十六日午前六時より十六日午前十時迄の雨量一二〇・二ミリに上り十六日午後一時迄に同州下に達した各郡市内の被害は次の通りである

基隆から臺南

【基隆電話】第二回基隆臺南間傳書鳩大會は十六日午前七時各市一齊に開催された、基隆は當時も猛烈な降雨中であつたが臺灣會員王氏外二名と本社支局員は五時過ぎ驛前大阪商船事務所前に集合協同組合の他の傳書鳩を無事に放ち第一回の放鳩は七時サイレン吹鳴と同時に放鳩した所殆ど十七羽の小傳書鳩は折柄の豪雨を衝いて昇り上り傳書鳩の上空を右へ左へ旋回しつつ約二百米に達したが方向が定つたものらしく南へ飛び去つた、雨中に姿を消した

一羽もつかぬ

【臺南電話】第二回基隆臺南間傳書鳩競翔會の基隆會は二百八十四軒の數稱に午前七時基隆驛前を放鳩してより本稿締切前の午後三時に至るも十七羽中未だ一羽も到著せず關係者は心配してゐる

高雄から臺北

【臺北電話】本社後援の第二回臺灣北部傳書鳩競翔會は高雄より臺北迄の競翔は十六日午前七時市内山下町會場前に於て開始されたが當日は午前六時第一回競翔の下に集合臺北傳書鳩協會の會員、一般見物人見守る中に十二羽の傳書鳩を放つたが臺北に午後三時迄に到著する見込であるといふ

折柄の雨間を幸と翔り上るや間もなく飛び去り十數分旋回飛翔したる後臺北方の空に姿を消した、尚今一回は降雨の爲め翔け出しが遲るる事あつても事が南部にて天候から推し其他の通過地點は惡く一段に開放したので臺北に到著するだらうと語つてゐた、尚同日同時刻に臺北に向ふには遠方の强風と悪天候に阻まれ延びて

一羽だけ著く

【新竹電話】十六日の臺北新竹間の傳書鳩競翔は當日午前七時に三十七羽を放鳩したが午後二時半迄に一羽が新竹市に到著、他に何れも行方不明となつたらしい

重砲兵大隊 記念式
十六日擧行

【基隆電話】基隆重砲兵大隊では十六日午前八時から同隊營庭に於て記念式を擧行された、各來賓あり名士參列、本朝會長以下將校及下士官兵の參列の下に嚴肅に行はれ、終つて祝宴に移つた

各の來賓あり各部隊長からの式辭及同大隊記念祭に就いて一同は萬歲を三唱し

歷代總督の
筆蹟展
けふ辻利茶舖で

明治初年の沿革を語る歷代總督の筆蹟が數多く保存されて居ることに於て有名な辻利茶舖では十七日の一日だけ同茶舖に於て陳列展覽するもので樺山總督はじめの歷代總督の筆蹟を陳列する、樺山（初代）、桂（二代）乃木（三代）兒玉（四代）佐久間（五代）安東（六代）明石（七代）田（八代）内田（九代）伊澤（十代）である

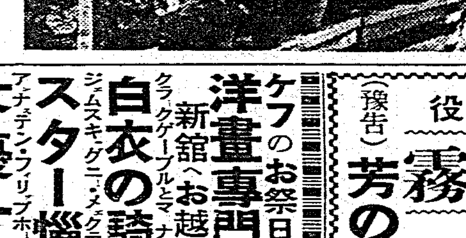
倉庫組合開業式

臺北倉庫信用利用組合では市内濱町七十番地、專賣局酒工場の西隣に新築中の倉庫並に事務所が落成したので十六日午前十時より同所で開業式を擧行した組合員約一百名の外、州知事代理磯元内務部長、市尹代理高橋助役其他來賓百餘名出席、先づ銀屋組合長の挨拶あり州知事市尹の祝辭組合員代表永井宗治氏の謝辭ありて十一時十分式を閉ぢ別館にて披露宴を催した、因みに同組合の敷地は二千九百七十坪で内倉庫は二棟で建坪四百三十七坪となつてゐる

藝妓と株屋の 白骨死體を發見
家出して一ケ年目に

【臺北電話】十六日午後五時頃臺北市濱町藤田某が付近の山中にハイキングしての歸り途路に白骨死體二つを發見したので急報により北方約一里の山林内に兩人らしい男女の白骨死體あり所轄警察署に屆出たので檢視の結果は昨年の家出人藝妓と株屋の男の死體と判明した

もので兩名の遺品の一部、男のワイシャツと洋服の上衣の形を留むるに過ぎず其他は身元判明の手がかりとなる



朝顏展覽會

臺北朝顏同好會主催の朝顏展覽會は十六日より新公園事務所內にて開催されたが本年は同好出品者增加し昨年にくらべ一段の向上振りを示してゐた、初日の成績は左の如くである

▲最優等（六寸二分）林茂太郎、▲優等（六寸）林茂太郎外二點▲一等（五寸八分）吳井久芳外十二點（賞品は會場）

田林左衞門

望月畫伯を中心の座談會

東都水彩畫壇にて有名な望月省三畫伯を中心とする美術座談會は豫定の如く十六日午後六時よりモンパリーに於て開催された、出席者は畫家其他二十數名で各方面の藝術に對する意見交換等あり和やかなる會合であつた

臺北帝大優勝
大學高商醫專高校相撲大會

第五回全臺灣大學高商醫專高校相撲大會は十六日午前九時半から臺北新公園土俵で擧行されたが臺北帝大は斷然的强味を見せて優勝した、同個人決勝でも臺北帝大の猪股邦夫君が優勝する所となつた

臺北帝大 11－2 臺南高工
臺北帝大 8－5 臺北高校
臺北醫專 11－2 臺北醫專
臺北醫專 8－5 臺北高校
臺南高工 7－6 臺北高校

圳水で交通杜絕

【嘉義電話】十六日來の豪雨により八掌溪は增水し嘉義郡中埔庄防風圍と同庄頂六との間にある嘉中線の竹崎自動車橋梁が流失し交通杜絕となつた、目下の模樣では復舊の見込がつかない

通りである

竹崎郡 橋梁及び橋樑破損二ケ所道路流失及び決潰四ケ所（二五〇間）にて自動車の運行不能

埤圳の決潰一ケ所（八五間）斯様より臺東驛下に通ずる道路の山崩れ三ケ所及び田畑浸水あり

の增水七尺以上に達し入車共に交通杜絕等被害の狀況は二十間流失、住家倒壞一戸水害流失一頭

旗山郡 楠梓仙溪增水七尺に達し交通杜絕二ケ所旗山溪の他旗川增水

橋梁流失諸車交通杜絕

復興の標語

【新竹電話】新竹州では震災復興に關し州下各學校生徒兒童から標語の懸賞募集を行つたところ應募總數一千四百點あり嚴選の結果左の如く決定發表された

たのもし復興 かしこし皇恩

一等 新竹二公五年 謝煌坤
興 公館公六年 田春和
一等二席 感謝で復興自力で更生 新竹高女二年 佐野佐智子
一等三席 いそいでよい家よい街へ 竹東小四年 中原芳子
三等六名 略

上山（十一代）川村（十二代）石塚（十三代）太田（十四代）南（十五代）今上五代の總督の遺墨數點を陳列し一般の觀覽に供すと

福建丸歸港

【高雄電話】高雄廈門航路福建丸は折柄の豪雨の爲め出帆を見合せ豫定より遲るる事五時間十六日正午高雄に入港したが船客は百八十二名にて同船の齎した情報は次の通りである

ポルトガル領マカオを同國政府が日本に讓渡するとのデマが飛び目下香港廣東方面に於てセンセイションを捲き起してゐるがポルトガル政府では有風評はデマに過ぎずマカオを讓渡しなければならぬ程財政的に窮乏してゐないとの聲明書を發表し人心の鎭靜に努めてゐると

法政優勝

【東京十六日發】東京大學野球リーグ戰春の優勝を決すべき早大對法政三回戰は十六日午後一時三十九分から神宮球場で野本（投手）、田口、宮武（捕手）の先攻で開始、結局六A對五で法政優勝す閉戰五時三十分

早	0	0	0	0	0	2	0	3	0
法	2	0	3	0	0	1	0	0	A

6A－5

（大早）谷川、須藤、高須、岩本、竹内、佐々木、若林、吉田
（法政）食田、岡田、山城、原田、藤、秋元、伊村、中田

（本塁打）若原、（三塁打）飛田、（二塁打）永澤、長野、鶴田

斯くて六大學リーグ戰は遂に法政の優勝となり陸下されぬ終了法政は昨秋のリーグ戰を優勝した

藤川勇造氏逝く

【東京十五日發】二科會員として任命された彫刻界の巨匠藤川勇造氏（五十三）は十五日腸窒扶斯にて慶應病院に入院加療中であつたが十四日夜急に病狀革り十五日午前六時四十五分遂に逝去した

げたものと認定されたが取調べの結果男は鹿兒島縣生れ當時高雄市堀江町三の一二下宿屋九州館止宿中の株屋前科三犯新藤道義（三）女は市内山下町料亭藝妓の家方抱藝妓王菊こと佐藤ユキ子（二〇）と判明右兩名は昨年六月十八日しめし合せて行方不明となり當時女の抱主より各方面の搜索に努めたが結局發見されず謎の失踪事件とされて一ケ年を經過したものである、原因は新藤が内地及び臺灣の各所を喰つめて身の置き所に窮し弄年の女を死出の道連れにしたものらしい

各町會長會議

市内各町會長會議の月例會は城東會館で十五日午後七時から北村やまとに於て開催、坂上前市長の問題となつた電鐵に關し協議を重ね、城東防止會の決議事項等により防疫行政の新問題及び生活改善事業は新起會より提出ありと協議の結果、金子（西門町）鈴木（西門町）近藤（大稻埕）石川（城東町）の四氏を委員として近く當局と折衝することとなつた、城東防止問題の具體化を計ることとなつた

運動記事漢文面にもあり

CB、專賣けふ決勝

臺北社會人野球リーグCB對專賣決勝戰は十六日擧行の筈であつたが降雨のため中止し十七日午後一時から圓山球場で行ふこととなつた

半額で撮影奉仕

臺北寫眞業組合にては本十七日始政四十周年記念日當日に限り特に半額撮影の大奉仕デーを催すると

祝始政四十周年記念
謝恩の爲め（當日限り）
半額撮影
遠藤寫眞館
鎌田寫眞館
岩松寫眞館
安武寫眞館
輝寫眞館
倉橋寫眞館
眞開寫眞館
高倉寫眞館

けふの天氣

△臺北地方 南西の微風晴後曇雨
△北部地方 南西の微風曇雨
△昨日の最高溫度 八十五度一（正午）
（臺北測候所發表）

愈々下旬封切
千惠藏の二役
利根の川霧
日本映畫提供
千惠藏プロダクシヨン作
（豫告）芳の館

ケフのお祭日には
洋畫專門の新館へお越し下さい
白衣の騎士
クラーク・ゲーブルとマーナ・ロイ共演
スター惱殺
ジェムス・キャグニー・メグラーク共演
女優ナナ
アンナ・ステン・フリップ・ホームス共演
新世界館

若人の胸に迸る
純情…此の一篇
愛情の價値
東海の顏役
極東戰線一萬里
第二世界
（オールトーキー）

萬染物
三森染工場
臺北市兒玉町一丁目 電話二八六三番
森分店
臺北市新起町一丁目 電話三一九番
基隆市義重町 森喜三郎
基隆支店 電話八四五番

南投街
木村醫院

活版印刷 文房具 運動具 自動車
南投街（電話百十五番）
德文社
店主 曾金典

南投街
得春醫院
院長 東洋女子醫學士 月本藏
蔡光金

保證責任
草屯信用販賣購買利用組合
臺中州南投郡草屯庄草屯七四八番地
電話五〇番

石鹼化粧品問屋
十一屋商店
本店 臺北市本町二丁目
支店 高雄市湊町二丁目
小賣部 臺北市西門町二丁目

各地著名藥店及化粧品店にあり
椿香油 椿油
椿油椿香油本舖
菊池銃砲店
臺北市表町一丁目（電一〇一番）

印刷工場
東京櫻井商店製
和洋紙 カード紙 模造紙 特種製紙 安全紙 材料一式 活版印刷 石版印刷
合名會社 小塚本店
臺北市京町一丁目十五番地
小塚本店印刷工場

祝始政四十周年記念

内外科 小兒科 レントゲン科（入院隨時）
庄司醫院
臺南市港町（錦町通り）電三〇九

大木シゲ儀
昭和十年八月十七日
親族 大木郁造 冬城完一 北川清吉 濱村喜之郎 鈴木倉吉 野上鶴四
友人代表

父王乾生儀
昭和十年八月十六日
臺北州新莊郡新莊街
男 永祥 德王 國綿
孫 盧金盛 盧王興 王綿治
親戚總代 金子辰太郎 愛久澤直哉
友人代表 吳培源 李津田 榎本加賀治 李國彥

本院任職醫師
安田文秀
酒井萬寧
高林玄寬
同
辭職
信徒總代

督府評議會閉會

小濱委員會主查報告經過

滿場一致可決答申報告書

督府評議會第二日。卽十五日午後一時半。開本會議。首由中川總督。宣告接到委員會報告。對諸問答申。欲朗讀之。次市來幹事。朗讀報告書。小濱委員會主查。說明報告書審議內容。及其經過。中川會長。告以右報告書。供爲議題。於是黃媽典氏起立。言該報告書。完全無缺。從來之答申。往々歸于空文。今回特希努力使其實現。次松岡氏。謂報告書。殆無再述餘地。然旣往四十年間治績。皆賴官民一致之力。今後扶植根本。卽國民精神之作興希更致力。繼有木村。鐘梅野三氏。贊成演說。討論告畢。乃採決右答申報告。得滿場一致贊成。終則中川會長。述閉會辭如左。酷暑之際。互二日間。適切答申。不勝感謝。此際特述一言。統治方針。舉一視同仁。內地延長主義同化主義等。臺灣土地及人民。皆完全爲日本帝國一部分。全員各位。宜諒解此主旨。特對所答申。希望民間盡力。使其實現右議至午後二時半閉會。

爲期自治行政進展 創立臺灣自治協會

全島州廳設置支部

右評議會閉會後。得全員贊成。就府計畫中之臺灣自治協會創立。由小濱內務局長。諮問于全員。得一同贊成。該協會近將決定役員。然後創立之。其使命。爲先地方行政之中樞機關。圖自治行政進展期自治訓練。並公共精神徹底。促進地方團體發達裨益于本島統治等。事務所置于府內務局地方課。州廳置支部。經營事業。卽發刊機關雜誌。頒與參考資料。開講習會。講演會。表彰自治功勞者。會員分正會員名譽會員。團體會員。（市街庄）戴總督爲顧問。總務長官爲會長。內務局長爲副會長。外有理事長。理事。幹事若干。幹事等。支部長。則以知事。廳長充之。所要經費。年約二萬五千圓云。

聽取各種意見 裨益統治

中川總督談感想如左。評議會終了後。今回諮問事項之適切。及十分利用評議會。感大有意義。非常滿足。評議會員。皆網羅全島先覺者。就統治上重要問題。聽取各位意見。對其答申大部分。當局已豫定行之。確信今後。必有實績。得此有益之答申。信裨益于施政不尠。會員各鑑今日時局。置重點于國民精神作興。及涵養公共精神等。其適合時勢。今後亦欲數開會也。

評議會員 宴總督等

府評議會。去十五日午後六時半。在梅屋敷。招待中川總督。平塚長官以下府內各部局長。課長。開懇親會云。

對飼鴿者 舉表彰式

新竹州當局

四月二十一日新竹州下大震災。同市鳩友會及鳩信會員。親携傳書鳩。于竹東竹南。苗栗。大湖災害地使通信情報。功績不少。者番州當局。于十七日午前十時。在州會議室。對傳書鳩飼育者。舉行表彰並感謝狀授與式。受表彰者如左。▲新竹市水田鄭雲從氏（感謝狀）。▲同北門 清川氏（表彰）。▲同北門 林鏘銘氏（表彰）。▲同水田 許炷氏（感謝狀）。▲同東門 彭丙巳氏（同）。▲同西門 張官淮氏（同）。▲同北門 周洛氏（同）。▲同北門外 鄭鑑氏（同）。▲同西門 周沐秀氏（同）。

督府人事異動

田端局長或勇退

後任野口西澤兩氏有力

東京十六日電。兒玉拓相前于中川臺灣總督晉京之際。關總督府並地方州廳勅任級人事問題。交換意見。目下所風評者。專賣局長田端幸三郎氏退任而田端氏將就臺灣民間會社之樞要地位。其後任則以臺北州知事野口敏治氏及高雄州知事西澤義徵氏等爲有力。中川總督並拓務省首腦部。提乘此機會將行州知事方面人事刷新故其異動。或互相當廣範圍。而兒玉拓相所理想。實行內外地縱橫交換的異動。在拓務省。應以官房會計課長小河正儀氏。爲勅任榮轉。

鹿寮託兒所

曾會長之美舉

北斗郡竹塘庄鹿寮部落振興會長曾深河氏。現値農繁期。因鑑及諸農家有幼兒之婦人。對幫忙家庭農作物收穫。恐對幼兒之看護上。殊有不周之處。故率先提唱設置託兒所。依部落振興會集會所。自十五日。午前九時。在同所舉開所式。當日有籐垣郡守。梁郡興農倡和會之後援島指導員臨席。開設育期間。豫定三週間。收容三十名。保姆同國語講習所講師吳氏金東女士。外竹塘女子青年團員十名。輪番爲保姆助手。而婦仕看護成績甚佳。有陸續申請寄託。費用曾氏個人寄附。美舉也。

臺中市職員 費消公金

計二萬二千圓

旣報臺中市役所員牧田村石。三宅等共謀。費消公金事件。現由州刑事課嚴重查究中。據聞內容三名共謀。客年六月以來將會計係金庫內之公債。持往大正町株式店。或榮町中央株式店投機。就中三宅有多少經驗。而村石飯田二名。全無經驗。故出手皆失敗。在一年中。費消約二萬二千圓。而市當局。現講究善後策。右據會根原市尹。所談如左。今回送惑各位。甚對不住。因于出公債。致不早發覺然皆爲不注意所致。該費消似在客年六月頃。現詳細未明云々。

臺南署破獲眞珠案

全案人犯悉就捕

臺南警察署。自客月來。風聞內地神戶至臺南間之眞珠配送。有被人替換。或竊取者。經查之下。乃未易破獲。蓋被害者。該眞珠。有遂走私。致發覺。追後由刑務部指揮刑事及署之刑事。傾注全力。追由被害者處。得線索。至十五日。全案逐明。錄市內眞珠商門司三丁目許。入籍者。一丁目黃能。臺町一丁目吳鼻。老松町一丁目吳允文等。自本年三月杪。至客月十九日止。各自由神戶購到天然眞珠。數人合計。值三千餘圓。或抽設換。或抽出以去。第三遂逃逮中。辯明其失竊之原由。比近市內老松町一丁目許氏好意。有虱采不意之人物。以眞珠設貨或售與臺南驛前之…南刑事採知。乃斷定必其人所爲。於十三日。捕得壽町二丁目。葉德仁。年二十四。訊問後遂供承有共犯臺町一丁目。張蔡氏紅目。明治町三丁目蔡提銘。白金町三丁目楊旦汪年三十六。辰汪。聞風潛逃。被署御手洗陳有信兩刑事捕住。於是全案人犯均獲。現追問中。聞其說換之法殊巧妙。而楊則於臺南驛前棹換金塊走私交貨。案未決。現在保釋中云。

泗濃號事件 檢察不上告

二審確定

泗濃號船長。違反船舶法控訴審判決。檢察官求刑罰金二千圓。僅處于五百圓。對此檢察官上告。以作野大官長爲中心。愼重審議。然至上告期間最終日。卽十五日午後十二時尙無上告手續。爲是上告權自然消滅。二審判決確定云。

新竹商工會 表彰店員

新竹商工會議所。十七日午後二時。于市公會堂。舉行店員勤續表彰式。受表彰。勤續二十年以上七名。十五年以上十名。十年以上四十三名。五年以上百四名。

新莊

新制開講 新莊郡當局。訂來十九日午前九時。爲新制度趣旨。與新制度之重要點事宜。召集郡下庄協議會員。及產業組合役職員等。在郡役所會議室。開講演會。講師乃金子郡守云。

青園祀式 新莊青年團。自大正十二年結成記念日開式。設置以來。至本年適滿十二週年。同團擬於十七日。舉十二週年記念式其次所國開式辭。後國歌合唱宮城遙拜。令旨奉讀。及唱合旨奉讀歌。繼由團長式辭。優良團員之表彰。並郡聯合青年團長之訓辭。受賞者答辭。來賓祝辭。青年歌合唱。而後閉式。午後七時半。欲開餘興約有二千項。而其後接者。爲在郊東人大會。以總會。女子青年團。與青年教習所云。

新竹

任警部補 去三十日自大溪郡警察課榮轉新竹之保秀顏君。者番昇任警部補。氏自昭和八年甲科卒業後。勤務大溪郡下。以來拘志勉強。上司信認。爲警部補者本島人州下大溪郡劉日紅氏。及徐氏兩人而已云。

照會調查 去十三日午後十二時頃。新竹署探尾孝刑事。于市內東門秦福館。檢帶一內地人。佐賀縣。中村勇七。年二十四。名小林時雄。年二十六。投宿于該旅館。査其結果。乃前科數犯。將到處行竊。目下向各郡照會調查中。料有餘罪云。

刑事磋商 新竹郡新竹郡竹東郡及州刑事課刑事等。二十餘名。去十三日午前九時。在竹東郡會議室開刑事磋商會。午後四時散會。

鹿港

祝十五年 當街第二公學校寮埔厝分教場創立十五週年紀念祝賀會。並由卒業生代表張則可氏。及保甲民代表施顧榮氏。出爲主催訂月十七日午前九時起舉行。行事有紀念運動會。演劇及觀宴等。

文山

祝賀始政 新店庄長主催始政四十年紀念祝賀會。訂本十七日紀念式舉後。假新店公會堂舉行。現報名參加者。已達百餘名之多云。

牡牛檢查 爲畜牛保護上。新店庄。訂來十八日午前九時。欲假庄役場隔鄰廣場。施行庄下種牡牛檢查。

祝始政四十周年

文曰治平不惑

杜清傑作

嘉義

水浴開場 當地海水浴場休憩所。經街當局。大加修築。整頓設備。街當局。訂本十七日午前九時起在該水浴場。舉開場式。並行各種水戲。以娛浴客云。

地方講習 臺南州中平地方課長。十四日午前八時。於嘉義郡會議室。就地方制度改正。開講習會。又午後一時。仍在同處講演改正趣旨。至四時閉會。

怙惡不悛 嘉義市北門町四丁目八五無賴漢陳炳宜。年二十三。數被嘉義署說諭。其後改悛就業。而近又日夜出沒於西亭遊廊。或擁球場生端。去十五日午前二時。徘徊市內中央噴水池邊。被同署渡邊張兩刑事發見逮捕處以拘留十五日。

新豐

歡迎郡守 新豐郡守土光加壽男氏。去十四日蒞庄履新。十五日朝。於郡衙接見郡職員。街庄長。小公學校長。爲新任敘禮。而下午一時。郡下官民有志。假南市招仙閣。爲開歡迎會。由車路墘製糖所長佐藤氏。致歡迎辭。土光郡守謝辭。三時散會是日參會者。百七十名。

參興講習 產業組合中央會臺南縣支會。今回倡開產組實務者養成講習會。西託督府渡邊幹員。前往參加。臺南州當局。特派新豐郡歸仁信用組合鄭孝嘉。及新化信用組合丙丁茂兩氏參與講習云。

會事

▲海山郡下鶯歌驛長佐々木驛長。自入鐵道部奉職。至今經過二十五年。者番告退。後任爲松元松山驛長。月十四日午後六時。假鶯歌驛前浪速店事務所爲開送別會云。

▲淡水郵便局例會。訂本月十八日午後六時起。開於淡水公會堂。

人事

▲新莊街山腳王乾生氏。自去初來罹病。六月十五日傍午去世。享壽七十有二。葬期未定。氏精通國語。英語。北京語。自領臺前。曾任神戶長崎兩中國領事館翻譯官。及分省知縣。迨至領臺後被職。應長崎商業學校之聘。爲教師五年。後歸郡下。爲臺銀清語教員。後在新莊任街協議員。山腳信組監事。歷保正。方面委員等。夙爲地方人所推敬云。

詩壇

祝始政四十周年 雷俊臣

領臺伊始政施行。屈指春秋四十更。擂稻仁風微草偃。沾濡德澤切葵傾。人人共慶鳴琴治。處處歲聞振鐸聲。不惑年周雖未久。明新革故已文明。

李種玉先生八秩榮壽 仁閣 莊贊勳

門墻桃李競時新。百歲猶留二十春。鶴髮双修徵壽相。詩書萬卷摘儒珍。風騷壇坫推牛耳。家學淵源啓鳳身。到杖朝仍要鍊。愛宮致合勒貞珉。

スポーツ

雨中の戰で好記錄なし

學生對一般對抗陸上競技

學生	一般
38・5	128・5

臺灣陸上競技協會主催第三回學生對一般對抗陸上競技會は十六日午前十時から臺北帝大競技場に於て擧行、氣溫二九度、東風〇・五米、强雨グラウンド・コンデイション泥濘、天候不良とコンデイションの惡點と一つには一般チームの缺場の故もあつて豫想の上にも從からぬ影響があつて好記錄の出現も見なかつた擦高跳の第一人者高野腹膜炎を病んでの不參は寂しさを加へた一つである

百米は最近元氣一杯の杜火倫が11秒7でテープを切つたが惡走路での記錄としてはまづ〳〵といふ所、棒高跳は高野不參で期待も出來なかつたといふ外はない、砲丸投では加藤が12米臺を出して貫祿を見せたといふに留まる、千五百米は楊生不振で邱の後塵を拜したのは稍意外の感四百米は軟走路のため强キックにストライドを乘せる王泉は伸びがなく走力を消耗して苦戰となり危ふく林內丁に名を爲さしめんとし記錄はまづ〳〵といふ所槍投は柏分の一本槍だつたが不振百十米障碍はスタートから池ノ上よく有馬を制して91ドしたので有馬焦り氣味に追ひ六臺目障碍を引かけ八臺目で遂に轉倒せんとして中止、一般は初めて一着を學生軍にしてやられた、圓盤投は加藤が35米臺を投擲に留まり四百米繼走は遂成混成軍のせいでタッチの拙劣は繼走に於ける走力を減殺して無味乾燥であつた

八百米は前半力走の莊家珍がのびてしまひ三段跳は比較的好記錄といふ所か、走高跳、四百米障碍、走幅跳とも駁門校としての精進なきと惡條件に何等望み得なかつた鐵槍投は柴田を失つて以來寂寥を感じてゐたが加藤が34米臺を投げてどうやら一道の光を見た程度、二百米は杜火倫が王泉を制へて元氣な所を見せスプリントに人なき時勢力も窺われたといふものだ斯くて一般チームはトラック競技フキールド競技を通じて絕對優勢を持し一二八點半對三八點半の大差を以て學生チームを粉碎し去つた强雨惡天候下コンデイションまた最惡の條件で好記錄を望むことは無理であつたが兩軍選手共ゲームがワンサイドのものとなつたせいか精神的に霸氣に缺如せる點がなかつたとは云へない技術的の强化と共に今一段旺盛な覇氣を見せて貰ひたい此意味に於ても印象的なものであつたとは云へないであらう

△百米 1杜火倫(一般)11秒7、2何友源(一般)12秒2、3蔡江(學生)4小林(一般)

得點【一般】8點【學生】2點

△棒高跳 1潘田信遠(一般)3米20、2有馬(一般)蔡江(學生)3米

得點【一般】6點半【學生】6點半

△砲丸投 1加藤方雄(一般)12米03、2楊啓德(一般)11米37、3稻垣(一般)10米90、4平間(學生)8米97

得點【一般】9點【學生】1點

△千五百米 1邱垂燕(一般)4分53秒4、2楊生(一般)5分0秒8、3江原(學生)4高甲渥(學生)

得點【一般】7點【學生】3點

△四百米 1王泉(一般)53秒1、2林內丁(一般)53秒2、3楊樹長(一般)4吳野(學生)

得點【一般】9點【學生】1點

△槍投 1柏分忠一(一般)52米21、2蔡江(學生)45米81、3大宮(一般)40米52、4石崎(學生)39米49

得點【一般】6點【學生】4點

△百十米障碍 1池ノ上章(學生)18秒3、(參考記錄)2安田(學生)20秒3、3蔡江(學生)

得點【一般】0點【學生】9點

△四百米繼走 1一般(杜、小林、何、王)46秒6、2學生(池ノ上、吳野、高橋、蔡江)47秒7

得點【一般】4點【學生】1點

△圓盤投 1加藤方雄(一般)35米10、2楊啓德(一般)34米84、3坂本(一般)30米02、4蔡江(學生)

得點【一般】9點【學生】1點

△八百米 1楊樹長(一般)2分13秒9、2徐新與(一般)2分15秒3莊家珍(一般)4高甲渥(學生)

得點【一般】9點【學生】1點

△三段跳 1金城善政(一般)13米53、2十河(一般)12米89、3稻生(一般)12米83、4池ノ上(學生)12米57

得點【一般】9點【學生】1點

△走高跳 1有馬功、潘田信遠(一般)1米55、3池ノ上、石崎(學生)1米50

得點【一般】7點【學生】3點

△四百米障碍 1潘田信遠(一般)64秒9、2林朝梶(一般)66秒、3奴田原(學生)4吳野(學生)

得點【一般】7點【學生】3點

△走幅跳 1林內丁(一般)6米18 2十河(一般)6米13、3林金全(一般)6米09、4蔡江(學生)

得點【一般】9點【學生】1點

△鐵槍投 1加藤方雄(一般)34米46、2稻垣(一般)32米83、3國岡(一般)27米60、4平間(學生)

得點【一般】9點【學生】1點

△二百米 1杜火倫(一般)23秒8 2王泉(一般)23秒9、3何友源(一般)4蔡江(學生)

得點【一般】9點【學生】1點

△五千米 1楊生(一般)19分7秒2、2邱垂燕(一般)19分9秒4 3永井(學生)

得點【一般】7點【學生】2點

△千六百米繼走 1一般(陳金源、林內丁、楊樹長、王泉)3分57秒、2學生(安田 高 吳野、江原)

得點【一般】4點【學生】1點

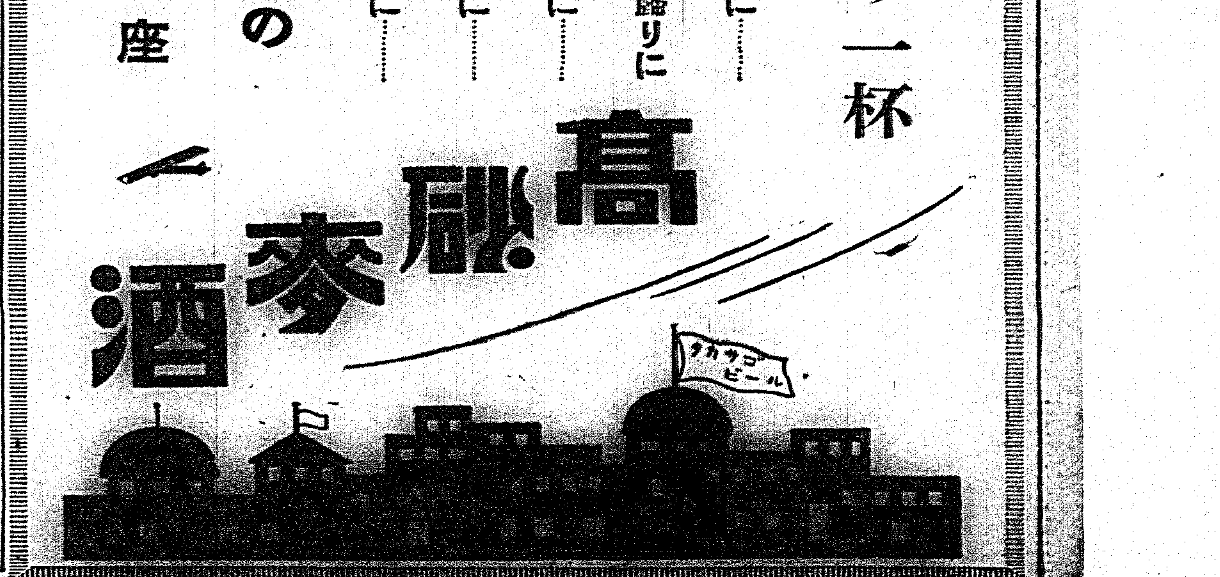
チエツコ二勝

對南阿單試合

【プラーグ十五日發本社特電】チエツコ對南阿ゾーン決勝戰チエツコ對南阿第一日シングルスにチエツコ二勝す

メンチエル(チエツコ) 6—2 5—7 6—3 6—2 ファーカソン(南阿)

ヂスカ(チエツコ) 6—2 6—4 6—1 ニュ・バートラム(南阿)



祝 始政四十周年記念

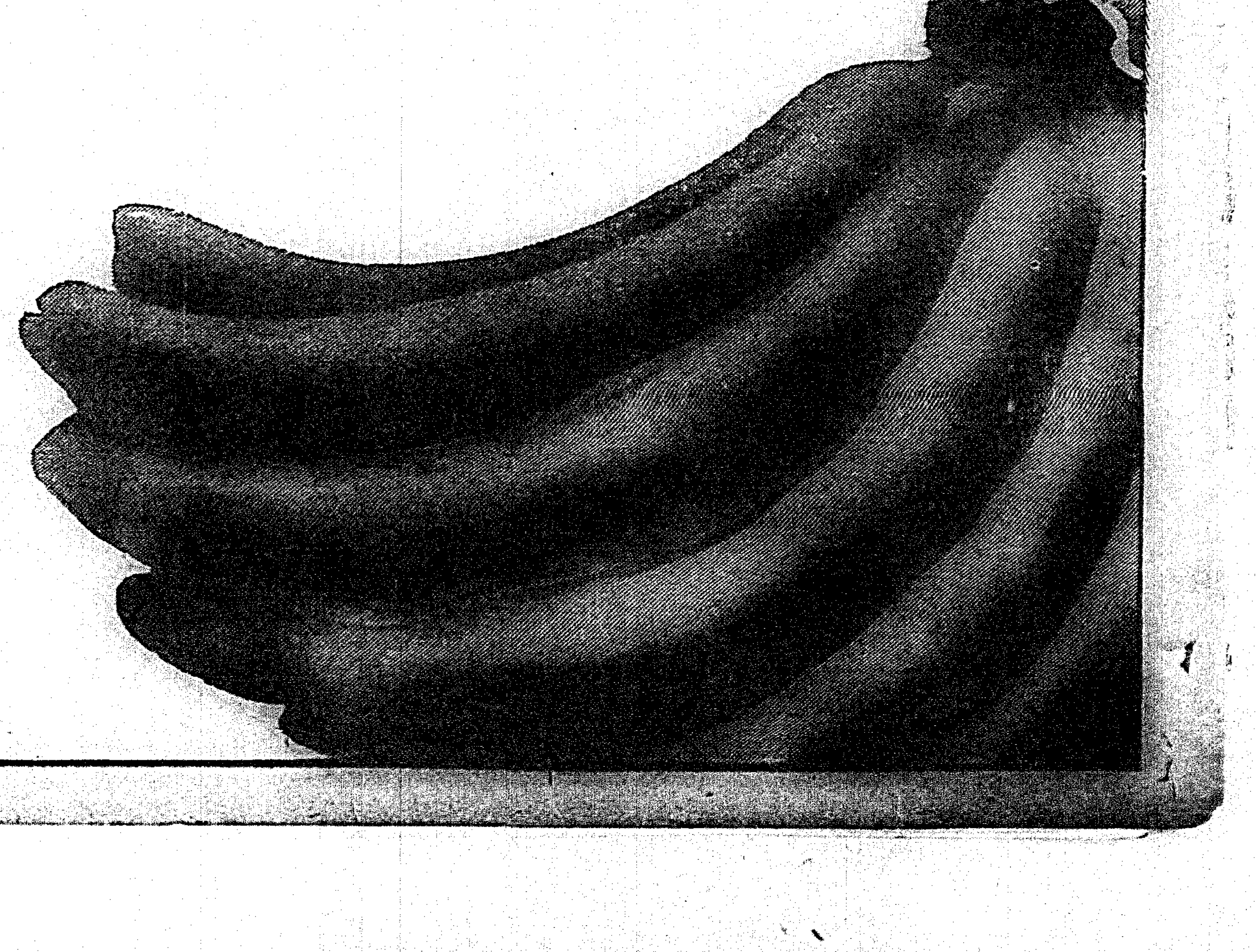
王子製紙株式會社製品
一手販賣・洋紙商

大阪市東區瓦町二丁目五十七番地

株式會社 中井商店大阪支店

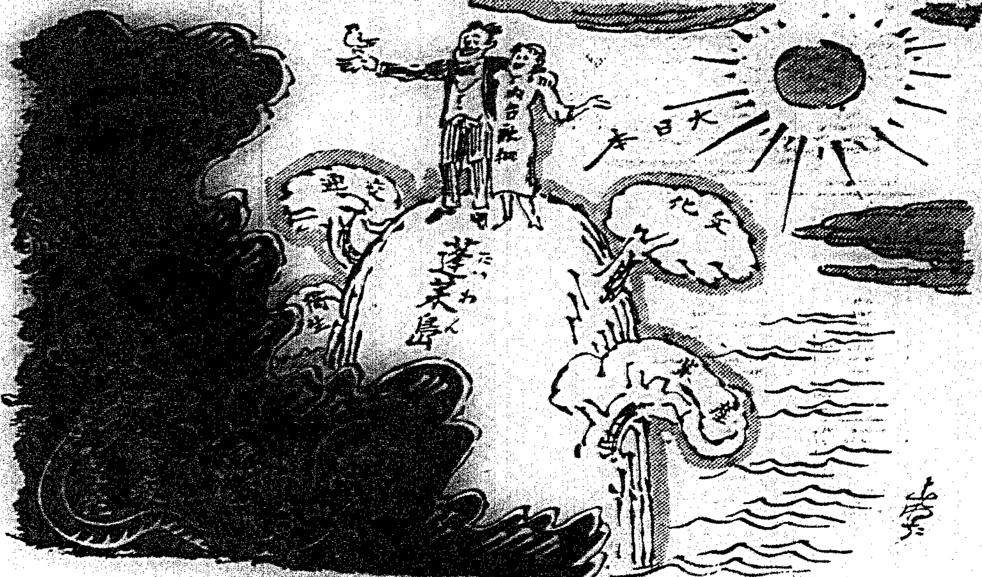
臺灣紙業株式會社製品特約販賣
西肥板紙・牛津板紙會社製品一手販賣
各板紙會社製品特約販賣
共榮板紙株式會社代理店
各製紙會社製品特約販賣

振替口座大阪二五九番
電話長本局 一四六、一四七、一四八
一四九、一五〇、一六五一
本店 東京
支店 名古屋、京都、門司、大連



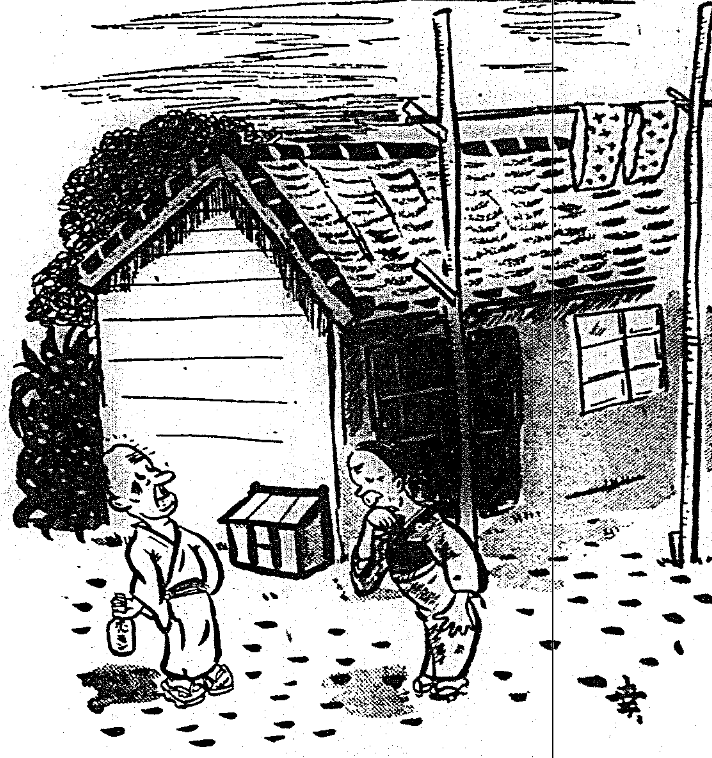
祝始政四十年 漫畫子も感あり

如何な怪物共も夜が明けりや一たまりもないは知れたこと



紅玉婚記念

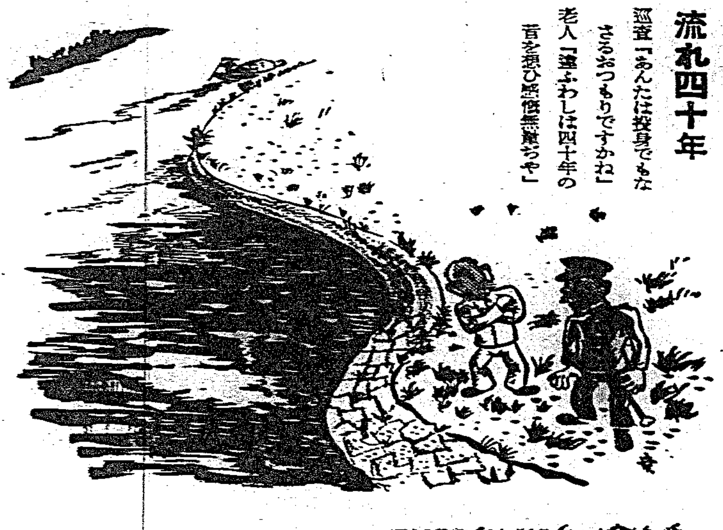
「婆さんや、わしも今年になつて初めてあの旗を出すことが出來て嬉しいわい」



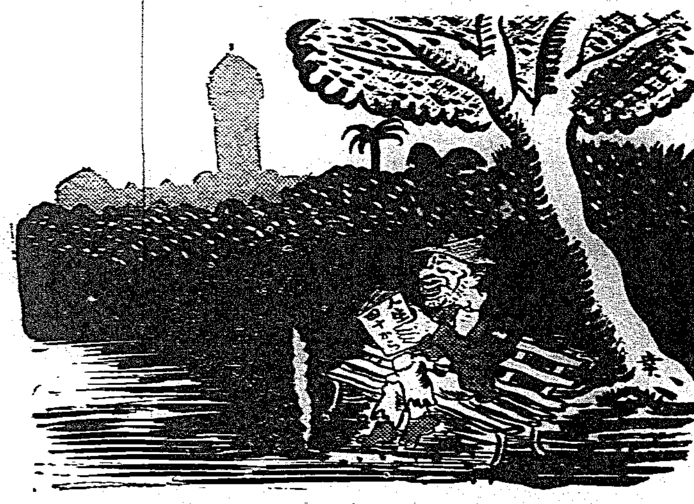
行くや水の流れ四十年

巡査「あんたは投身でもなさるおつもりですかね」

老人「違ふわしは四十年の昔を想ひ感慨無量ぢや」



「俺も今日から一生懸命やるぞツ」



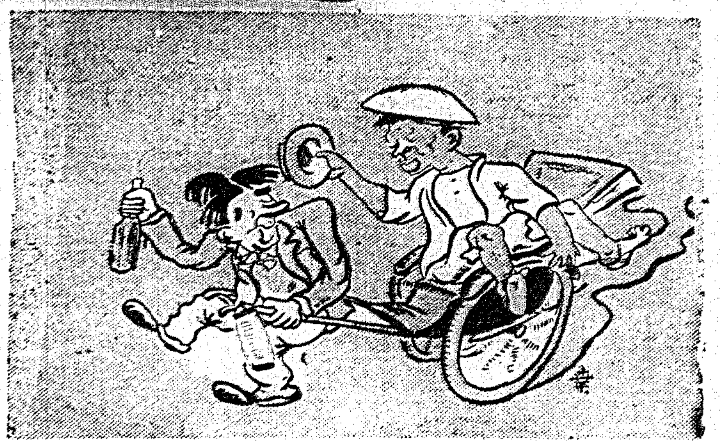
四十年の變化

マンガページ

野村幸一(編)

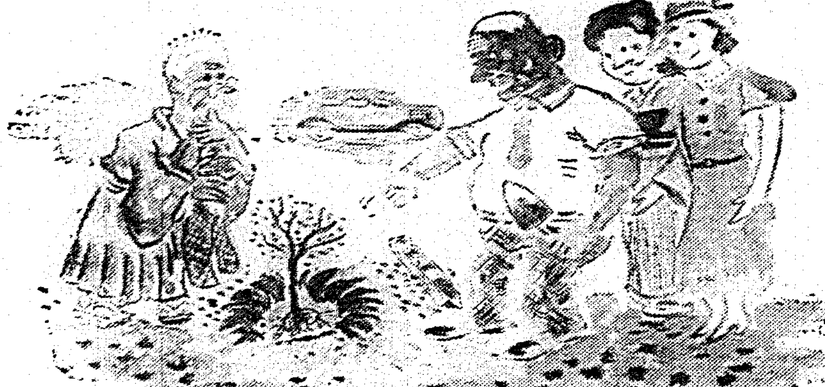
內臺融和

「旦那ボクも、いい氣持になつたです」「さうけた、おれもいい氣持だよ、これからお前の家まで送つてやるぜ」

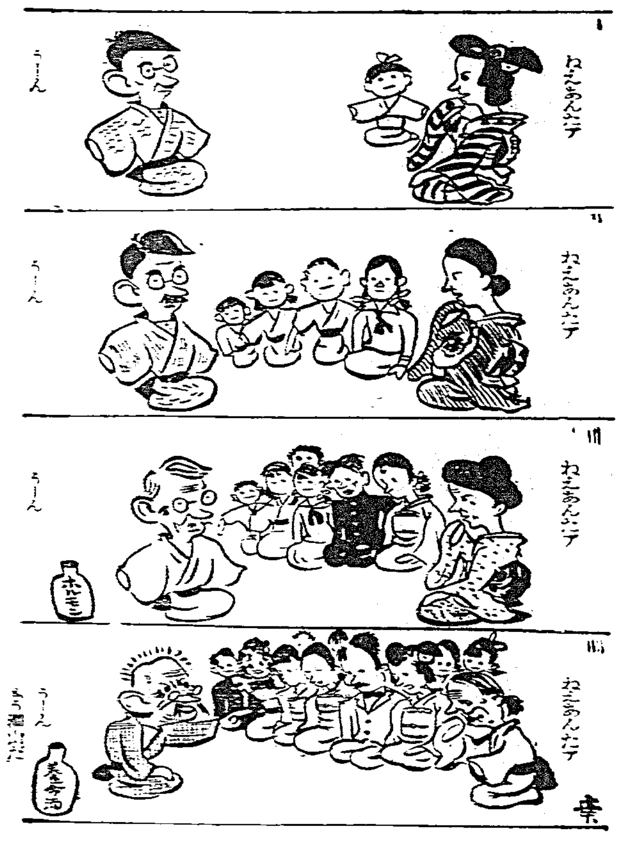


思出の記念樹

「旦那樣どうしてこんな所に記念樹をお植になるんですよ」「思出せば四十年前わしは此處でオカンいや野宿をしたことがあるんぢや」



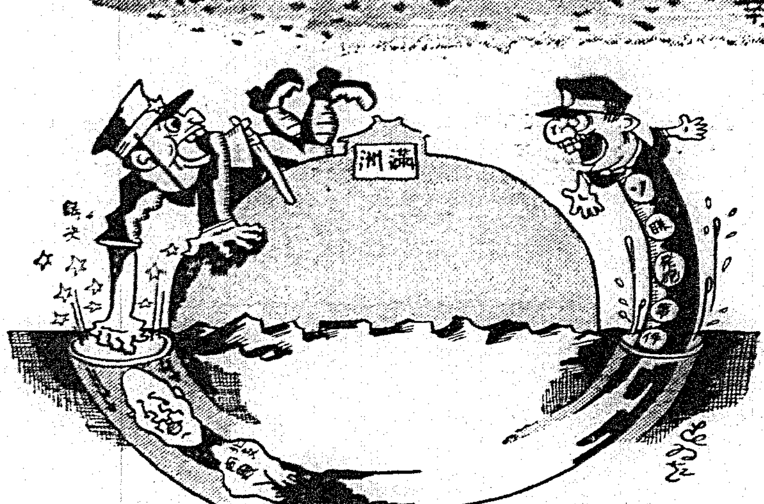
祝新政四十周年記念



武勇傳の實感

「すぐるわしはここで、土匪が向ふに現して」「おぢいさんてば苦るしいよう…もう解つたら助けてくれれつ!!」

この穴を塞がんことにはどうにも始末におへん、鬱陶しいこつちや



祝始政四拾周年記念

幣原坦

臺北市下奎府町壹丁目百六拾八番地
安保忠毅

臺北市榮町一ノ一
山崎醫院
山崎翁
電話一〇七番

日本ゼネラルモータス株式會社特約販賣店
ダンロツプ自動車タイヤ東部總代理店
伊丹小西酒造白雪專賣局納入代理店
シボレー オークランド 販賣
臺北市表町二丁目三十四、三十六、三十五、三十七番地
柴田自動車商會
電話八五番 八四四番

內外各種高等食料品
㋿ヤマカ食料品店
臺北市本町一丁目十番地
電話一七八番

タイプライター 事務用諸機械 ……
臺北市本町一丁目
㋿江里口商會
電話三三五番 長八八八番
振替臺灣四一五番
電略(エヒ)又ハ(エリヒ)

諸機械設計製作並ニ修理
廣畑松平
臺北市老松町一ノ二五
電話貳六六五番

ビツクリスル程安くて
最も嶄新の和洋雜貨の御用命なら
臺北市京町壹丁目 元府前角店
勉强の元祖 中村商行へ
電話 壹六貳八番です

帽子和洋雜貨
東京式履物商
臺北市榮町二丁目三角
㋟大倉本店
電話 六五九番 貳九九〇番
振替 六六九番

臺灣製氷同業組合
臺北市明石町貳丁目壹番地

臺灣書籍雜誌商組合

愛國婦人會臺灣本部

大阪商船新竹代理店 臺灣青果同業組合聯合會代理店
大阪商船株式會社專屬店 新興製糖株式會社製品取扱店
大阪商船株式會社臺南代理店 大阪海上保險株式會社代理店
大阪商船株式會社大板埒代理店 日本石油株式會社專屬荷扱店
大阪商船株式會社蘇澳代理店 日本海上保險株式會社代理店
山下汽船株式會社船舶取扱店 高雄州米穀利用組合專屬荷扱店
臺灣軍運輸部御用貨物取扱店 東京海上火災保險株式會社代理店
海軍御用貨物取扱店 扶桑海上火災保險株式會社代理店
帝國サルベージ株式會社代理店
海陸運送 倉庫船舶 稅關貨物取扱
臺灣運輸株式會社
支店並ニ營業所 高雄、基隆、臺北、臺中、臺南、嘉義、恒春、屏東、溪州、新營、水裡坑、員林、豐原、后里、彰化、宜蘭、蘇澳、高雄田町、桃園

臺北市明石町二丁目三番地
赤司鑛業株式會社
電話五二六番

臺北市北門町八番地
大倉商事株式會社臺北出張所
電話長一〇五三番

臺北市末廣町三丁目四番地
臺灣合同電氣株式會社臺北出張所
電話八七五番

臺北市榮町三丁目三番地
有限責任 臺北信用組合
電話五〇八番

日華紡織株式會社臺灣苧麻工場
臺北市大安
電話二七四番
電話二二〇一番

臺北市濱町二丁目十三番地
臺灣瓦斯株式會社
電話四一五二番 三九九

祝始政四拾周年記念

土木建築請負業 臺北市老松町二丁目 堀江組 電話

臺北鐵道株式會社 臺北市新富町五丁目五〇 電話一九八番

錦記製茶株式會社 陳天來 臺北市港町三丁目

家庭には是非弊店を御利用下さい 世帯道具 金物類 石内商店 臺北市榮町四丁目 電話五八三番

夏の御用意に 和洋雜貨と宣德火鉢 松原商行 臺北市本町貳丁目

つちや足袋 アイデアルカラー 臺灣總代理店 ミツワ印メリヤス特約店 菊水印加工品發賣元 奥野常太郎商店 臺北市榮町參丁目

綿布毛織 各種織物 株式會社 日進商會 臺北市本町一丁目 電話三四四番 二三五一番

ハカマの御用命は 野口はかま店 臺北市京町一丁目七番

御菓子 梅月堂 電話六四八番

臺灣ネオン合資會社 代表者 中村節夫 電話一九四八番

高等文具 (AB) 惠比壽屋商店 臺北市本町二丁目七番地 電話一〇二〇番

各種帽子ロ口揃 蝶矢シャツ・カラー トミヤシャツ・カラー特約店 (KR) カツラ洋品店 臺北市榮町三丁目 電話二〇二八番

臺灣製紙株式會社 電話二七六番 士林工場 電話二〇三八番

書籍 雜誌 蓄音器 卓上印刷器 臺北市榮町 文明堂書店 電話八三〇番

書籍雜誌 次高書店 電話壹九貳六番

臺北市公設 千歲町食料品小賣市場 公商會員

大曲紙函店 臺北市本町

流行品 時計 貴金 洋服 祖父江商店 臺北市新起町

朝日堂 臺北市榮町二丁目 電話五四番

同 朝日堂製菓工場 福住町三三 電話二四番

臺灣鐵道ホテル 電話五六二番 營業責任人 後藤鐵二郎 支配人 福島篤

宣德火鉢 花瓶 掛火鉢 美術床置物 朱泥製茶棚 水盤 薄端 竹二重 花道や茶道に 盛花生花臺 其の他 大特價提供 ▲宇治茶▲紅茶▲烏龍茶▲各種 盛進商行茶舖 臺北市榮町 電話貳七四番

食物を美味くするには この美味の結晶を補ふのが一番大切です 味の素 宮内省御用達 鈴木商店

內地土產 全島特產珍品 多種豐富に揃へてあります

最も勉強と親切なる弊所へ御利用下さい 山一物產販賣所 臺北市榮町 電話九七四番

高橋電機工作所 高橋二郎 臺北市榮町四丁目

陳天順 臺北市太平町二丁目

平田藤太郎

神戶組 臺北市表町二ノ三 電話二二五番

有限責任 城南信用組合 臺北市兒玉町三丁目 電話三九二三番

ラヂオ 電氣器具 日の丸電氣商會 臺北市明石町 電話一六二〇番

大世界ホテル 臺北市太平町三丁目 電話四〇三六番

山海號 臺灣代理店 林籍商店 臺北市北門町三 電話一八八四番

履物並ニ洋雜貨 出口商店 臺北市榮町四丁目 電話六八五番

有限責任 艋舺信用組合 臺北市元園町二二番地 電話一二六〇番

有限責任 工材信用購買販賣組合 臺北市壽町三丁目八番地

株式會社 錦茂茶行

東陽製菓部 臺北市京町 電話六四貳番

東陽物產商會 基隆驛前

張東隆商行 臺北市太平町二丁目 支店 出張所

臺北州自動車營業組合 臺北市明石町 電話一二九二番

臺北市宮前町 臺灣オフセット印刷株式會社

岡今吉

常磐信託商會

夏服の御用命は 奥本洋服店 臺北市榮町二丁目 店主 松島吉之丞

家屋防水工事用（米國製） 石綿フレキストン ルーフィング 其他に類なき高級優秀品 共榮商會 臺北市榮町

明治メリーミルク ●乳兒の哺育に ●兒童の保健に ●妊産婦の榮養に

合資會社 南國公司 臺北市表町二ノ一〇 電話一一四番

吉井洋服店 同基隆支店 臺北市京町一丁目九番地 電話一三八二番

神木洋行 クラブ化粧品 臺北市京町三丁目

皆様ノ御家庭藥室トシテ 益々內容充實セル 臺北 ヒラノ藥局 此上共ニ御利用ノ程御願申上マス 局主 藥劑師 平野文男

活版印刷 山口商會 臺北市築地町 電話壹九八〇番

家傳藥脚氣妙藥臺灣代理店 菊谷隆一商店 臺北市京町一ノ五〇 菊谷商店進物部

臺灣勸業無盡株式會社 臺北市本町參ノ壹

割烹 梅本 臺北 電話五五三番

臺北驛前通り カフェー ボタン

臺北 日本亭

梅屋敷 臺北市北門町十九番地

避暑御旅行に…… 鞄と靴と云へば 最も勉強する弊店を 刑務所製品專賣所 臺北市本町 電話壹六〇壹番 革工商 森田商會

南門 千歲町市場支店 基隆市義重町 森田商會基隆支店

臺北市北門町七 米穀肥料商 杉原商店 臺北支店

各種粗製茶並精製茶 暖々茶業組合

暖々劇場

瑞芳驛前 瑞生運送公司

稅關貨物取扱人 合資會社 基隆通關組

大型高級車 最新流線型 パカード號 シボレー號 サクラハイヤー 電話八四三番

基隆郡水南洞一六 田村組配下 販賣 葉雲蒼

東和商行 電話瑞芳四番

有限責任 基隆庶民信用組合

眼科專門 中村醫院 基隆市義重町一ノ七 電話一一八〇番

基隆驛前 內地みやげ 珍品荷揃 東陽物產商會 電話三六〇番

臺灣特產 珊瑚加工品商 南サンゴ店

內臺航路發著待合所・基隆海水浴場 潮湯 港湯 和洋御料理 其他種々 電話五六四番

基隆市義重町 植田サンゴ店

內科小兒科專門 松村醫院 基隆市日新町四丁目六番地 電話五八八番

日乃出土地商會 電話1.142番

健康ノ御相談ニ應ズ 恒生醫院 齒科專門 曾齒科醫院

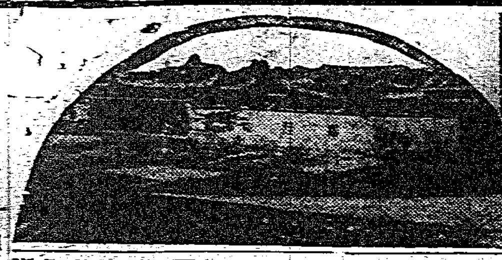
基隆名湯 平和湯

內科小兒科 入院隨意 後藤醫院 電六七九番

基隆名物 平戶の蒲鉾

御料理 仕出し 氷 ミツ豆 謠池亭 基隆市日新町四ノ三 電話四一〇番

臺灣の新政



世界の植民史上 臺灣の發展は稀有の事
一に御聖德と先人努力の賜
臺灣總督 中川健藏

本月茲に第四十回始政記念日を迎へ五百萬島民と共に本島[illegible]の起源に付追憶に浸り得ることは洵に欣快に堪へざる所であります

×

今より四十年前の本月本日、即ち明治二十八年六月十七日は實に初代臺灣總督樺山資紀子爵が兵馬倥偬の下畏くも北白川宮殿下の台臨を仰ぎ始政の式を擧行して本島統治の基礎を確立したる日であることを思ふ時、吾々は洵に感激に堪へざるの感を致すのであります

×

當時の臺灣は[illegible]感じ加ふるに所謂瘴癘蠻煙の風土なりし上に我國としては始めて新領土の經營に當る事でもあつたので、諸外[illegible]

門學校より大學に至るまで悉く整備し社會教育も殆ど遺憾なき狀態で島民の文化は愈々益々向上するを見るのであります。交通、衞生の施設も内地先進地方を凌駕する域に達し諸般の制度も文化の向上發展に伴ひて益々擴充整備を見ると云ふ次第であります

×

斯くの如く島民の福祉を增進し母國の進運に貢獻し得たる顯著なる成績は世界植民史上稀有の事例であるから隣に成功を羨望したる諸外國人の稱歎措かざることも亦當然であります

我國が臺灣領有四十年にして克く此の光輝ある治績を收め得たるものは洵に歷代　天皇の一視同仁の御聖德の賜たることは申すに及ばず、曾て　今上陛下が東宮に在しました時親しく臨御あらせられたるを始めとして、皇族各宮殿下御台臨あらせられ、恩に依る次第にて深く感激に堪へざると共に、又始政以來本島統治の衝に當る歷代總督及び官民諸君の努力の結晶に外ならざることと思ひ限りなき感謝を捧ぐる次第であります。去ればこそ本記念日を機會として吾等後進一同は此の顯著なる過去を顧み將來を察し始終一新の覺悟を以て先人の偉業を恢弘に努め聖恩の萬一に應へ奉らんことを期せねばならぬことと思ふのであります

×

今や世界の情勢は愈々複雜の極に達し帝國の東洋平和に對する責任愈々重大となるに從つて我が臺灣の國防上經濟上の使命も亦益々重きを加へ來りつゝあるのであります。我々は此重大使命を完全に果し得るが爲め[illegible]したる精神と實力の涵養を必要とするのであります。希くは官民各位互ひに相自省し相戒め協力一致以て時局に處するの方途に遺憾なからんことを希望に堪へざる次第であります

始政茲に四十年 報效の覺悟を更新
總務長官 平塚廣義

本日茲に第四十回始政記念日を迎へ、本島在住五百萬の諸君と共にいや榮え行く本島の盛運を祝することの出來まするは、洵に御同慶の至りに堪へませぬ

×

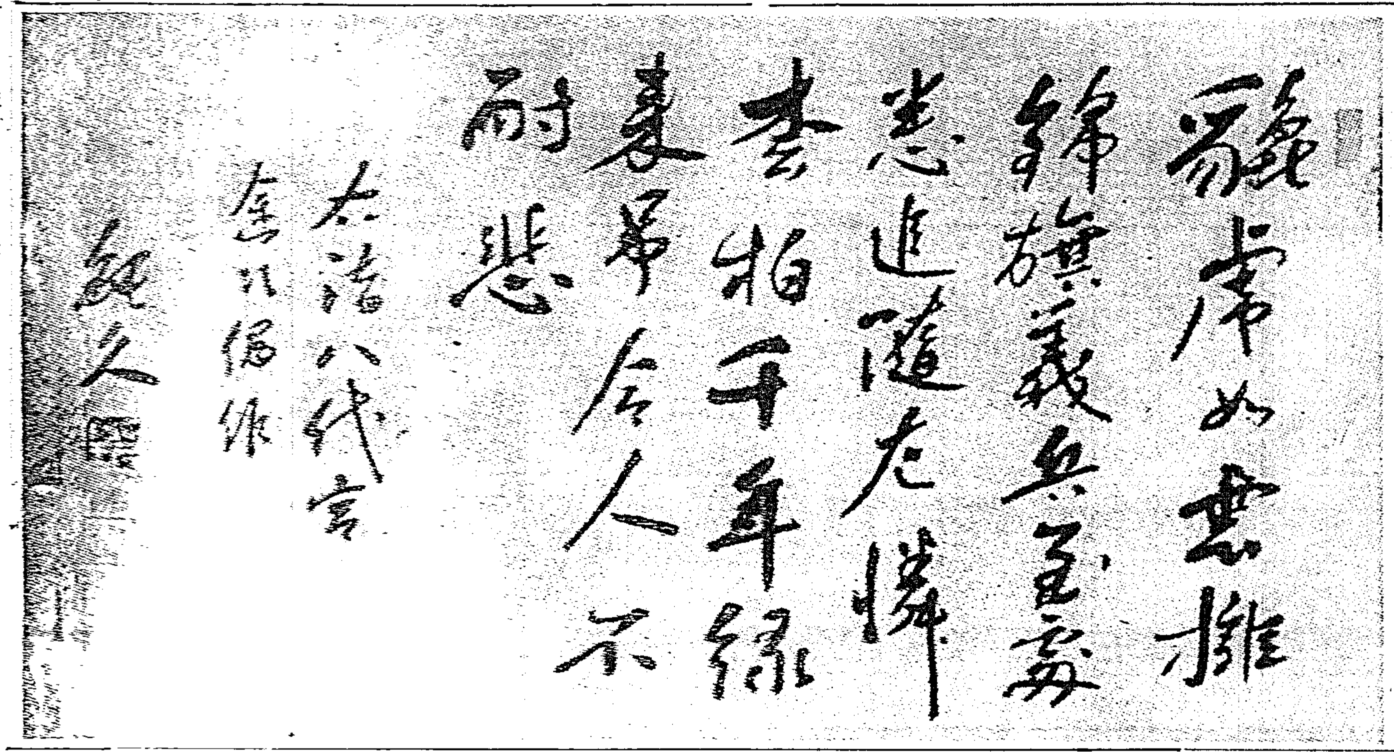
顧みまするに本島は改隸以來正に四十年、初代總督海軍大將樺山子爵は明治二十八年六月十四日基隆と共に臺北に到着、翌臺灣總督府を開廳し四十年前の本日即ち六月十七日を以て始政の式典を擧げられたのであります。當日北白川宮殿下には畏くも式典に臨ませられ「其能ク良果ヲ他日ニ收メンコトハ能久ノ固ク信ジテ疑ハザル所ナリ」と御祝辭を述べさせられました。爾來四十年間に於て本島は異常の發達を遂げ、產業、教育、衞生、交通、治安その他百般の施設遺く整備し今や地方制度も[illegible]に到りて島民[illegible]にすること、改隸當初の狀態に比して洵に隔世の感があるのであります

是偏に　聖德の廣大無邊なるに基くこと勿論でありますが、一視同仁の　聖旨を奉體して施政に盡せる歷代總督を始め官民の互ひに和衷協同して努力した結果に外ならないのであります。[illegible]まして本島を加護させ給ふ[illegible]は此の光輝ある記念日を迎ふるに際り、先輩諸氏の尊き努力を追想して深甚の謝意を表するものであります

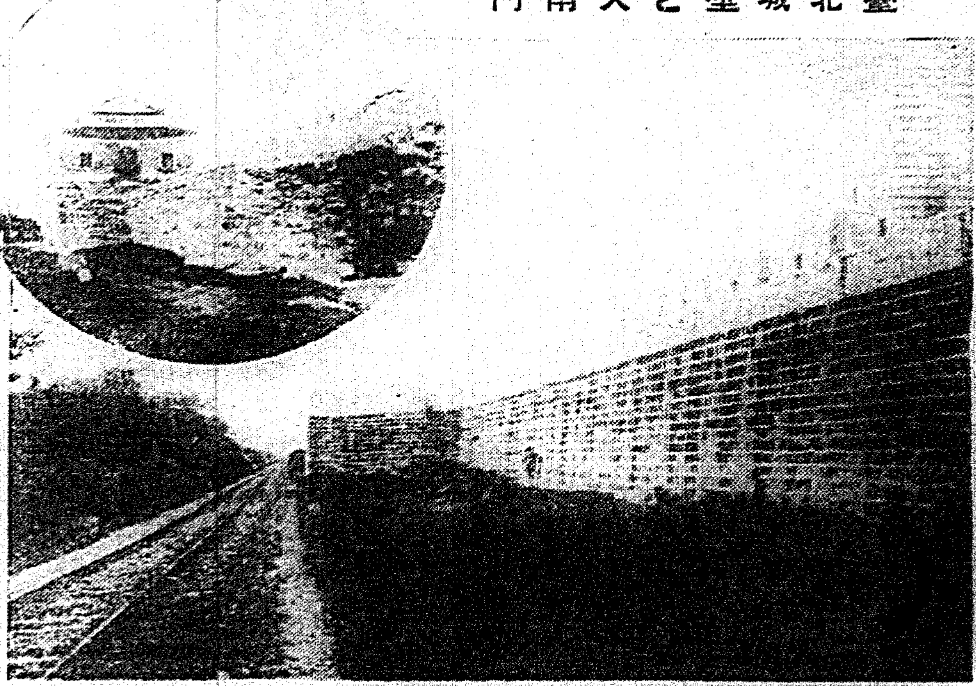
×

今や世界に於ける我が國の地位は頗る重大なると共に南支南洋の關門たる本島の重要性も愈々加はつて參りました。吾々本島に在住するものはその重要性に鑑み、[illegible]

まるのでありまして、過般の震災の如きもその一と思はれますが、吾人はかかる時にも一の試練と心得[illegible]帝國の進展に寄與し、以て聖恩の萬一に報い奉る所があらねばなりませぬ。茲に第四十回始政記念日に[illegible]



能久親王殿下御筆
明治二十六年熊本師團御駐在中の御筆で男爵高崎正風に賜はりしを明治三十四年十月同男より臺灣神社に奉納せられたものである



臺北城壁と大南門

臺北城は光緒八年に竣功したもので、城壁は東西四百十二丈、南北三百四十餘丈、東西南北の四大門及小南門を設け、厚さ二間、高さ三間餘、全部石材とセメントを以て築き、上部は凹凸狀形をなし銃眼を設けて射擊に便ならしめた、現在は取毀したので一も面影を留めず僅かに四門を殘してゐる

天恩の無邊 恐懼感激に堪へぬ
新竹州知事 内海忠司

本日茲に最も記念すべき第四十回始政記念日を迎へたるは、州下官民と倶に慶賀に堪へない次第であります。

顧みれば、明治二十八年の本月本日樺山總督が北白川宮殿下の御台臨を仰ぎ、文武百官並びに外人諸氏[illegible]參列の下に、嚴かに始政の式典を擧げ、統治の大方針を示し島民の安寧秩序を保持し、其の福祉を增進すべきことを確立せられましてより、四十年目に當り、本島にとりては誠に目出度とも申すべき日で洵に[illegible]記念日であります

改隸當初に於ける臺灣の状態に溯つた當時と比較し、政治に產業に交通衞生其の他諸般の施設大いに發展し、文化史上に多く其の類例を見ざる成績を收め得たる現狀を想ふ時、全く隔世の感なきを得ないのであります。是れ全く上御一人の一視同仁の御聖旨に外ならざることで申上ぐるだに畏き極みであります。此の御聖旨を奉戴したる歷代總督の施政に對し、又官民諸先輩の協心戮力奮身的奉公の賜物である此の偉業に對して、敬意と感謝の至情を捧ぐる次第であります。

[illegible]つて我州下の現狀を見まするに、州是たる產業五ヶ年計劃は、熱烈なる州民の自力更生の意氣と相俟つて、着々其の成果を收めつゝあるのでありますが、去る四月二十一日突如本州並に臺中州下に跨がる稀有の大地震に遭遇し、州下南部各郡下は未曾有の慘害を蒙り、人畜の死傷家屋の倒壞實に[illegible]ありますや、此の報一度　天聽に達しまするや畏くも御救恤を賜はせ給ひ、直ちに宮内の御内帑金を御下賜あらせられしのみならず、入江侍從を差遣あらせられて親しく現地の狀況を視察せしめ給うたのであります。[illegible]

と共に、深甚なる同情愛に[illegible]の賜物を以て、官民協心戮力[illegible]を致して、現在の萬一に對へ奉るべきで、現々は[illegible]本島民は、此の上もない幸福と申すべきで[illegible]

「お前は吾々の先祖だらう」と
山中で生蕃から挨拶

(氏名は記憶してゐませんが尾崎行雄氏の男さんのお父さんだと云ふ事でした)と長崎から上海に渡りました、上海で約三ヶ月ばかり滯在して便船を得て明治二十七年の[illegible]

驚くなかれ 入浴料五十錢

臺北は水田ばかりでした、しかし大稻埕だけは大變賑かで外人の茶商や支那の金持が大廈高樓(その頃としては)を構へ殷賑を誇つてゐたものです。その頃は内地人の姿[illegible]やはり外人の妾かなんかになつてゐる女と二人きりで、それに私達二人が加つて臺北附近には内地人が四人しかゐなかつた譯です

風呂にも入りました、今でもさうですが支那人の家には風呂がないので[illegible]

その頃の事ですが、私が山の中で初めて生蕃に行合つた事がありましたが、それ迄生蕃なんて見た事も、聞いた事もなかつたので生蕃だとは知りませんでした。が私は生蕃に遭つた瞬間、相手はナツキリ内地人だと感じました。それに不思議な事には相手の生蕃もしばらく私の顏や風采を見つめてゐましたが、突然「お前は吾々の先祖だらう」と云ふ意味の事を言つたのです、相手の言葉は判りませんが、手眞似や身振りから想像して見ると

「吾々の先祖は海の方の大きな國の方から來たのだらう」

と言つてゐるらしいのです。私お相手を内地人と直感し相手の生蕃が自分の先祖だらうと言つた點から推察して内地人と生蕃人とは大方同じ者であるのかも判りません、[illegible]

記者「二度目に臺灣に來られたのは……」

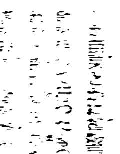
波江野氏「明治三十年でした

記者「やはり[illegible]の御仕事のためですか」

波江野氏「さうです、當時大谷嘉兵衛氏の經營してゐた[illegible]から「臺灣に行つて[illegible]を手傳つてくれ」との話で[illegible]

同僚の大宇は土匪に殺れた

舊厦舍の公室



夏の保健劑
胃腸を丈夫に！

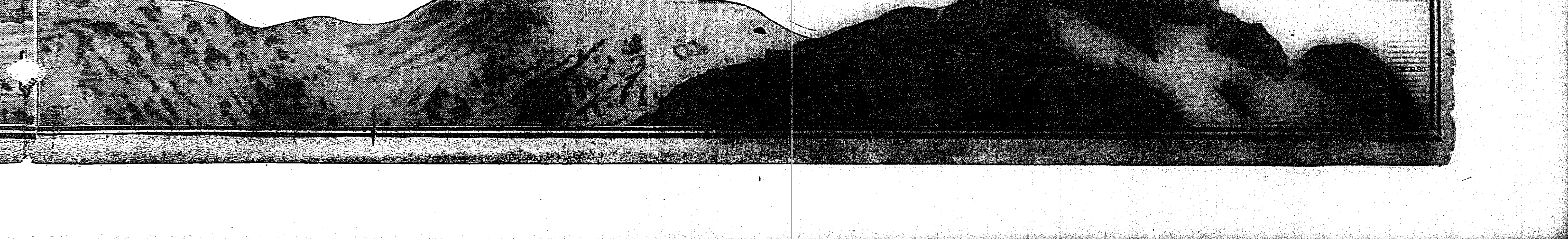
毎年のことです。夏が訪づれると胃腸病が激增します。脚氣が始まります。先づ食慾が衰へる、元氣がなくなる、疲れ易い、胃腸に加答兒が起る、便通が滯る、皮膚がムクみ血色が蒼白くなる、發疹が吹出る、神經炎性の痙攣が始まる等は典型的ヴイタミンB缺乏症狀であります。

食慾不振には消化劑を、便秘には下劑を、浮腫には利尿劑を……等々は、かゝる場合の對症的療法に過ぎません。病症がヴイタミンB缺乏に原因する榮養障碍であるからには、先づ何よりもこの缺乏せる榮養素を多量に補給するのが第一に急務で、それには純正の麥酒酵母が好んで推撰されます。

ヴイタミンBが缺乏しますと、先づ胃腸の働きが弛緩します。胃袋はふくれつ放なしで、空虚になつても收縮しないから食慾が起らない。消化液の分泌は衰へる腸の蠕動運動――即ち食物を消化しながら不消化殘渣を下へ下へと運ぶ作業が鈍つて來る、腸内に停滯した殘渣から腐敗ガスが發生して血液内に移行し心臟や神經を刺戟し倦怠、憂鬱、疲勞となつて體力が次第に消耗します。」

胃腸の組織を丈夫にし、消化液の分泌を旺んにする榮養素……それは純正の麥酒酵母エビオス錠であります。これを服用しますと先づ食慾が進んで來ます。便通が規則正しくなります。食物が良く榮養化されます。血液が淨化され身心共に氣分が晴ればれしくなります。

下剤や消化藥のやうに一時的又は速効的ではなくとも、胃と腸の働きが鈍つたときそれを强めて原因療法的に作用するのが本劑の特長であります。



四十年記念

領臺二年前に 早くも渡來して 樟腦事業に著手
波江野吉太郎氏の懷古談

光輝ある始政四十周年の記念日を迎へ各地各所で祝典や表彰式が行はれ又本社では四十年を懷古する座談會が催される等、五百萬島民ひとしく懷ひを四十年の昔に走らせ幾多老人の臺灣統治に貢献して功績と苦勞を偲ぶべき秋を迎へたのである領有以來四十年の長年月を臺灣に居住し本島統治のため或は産業開發のため努力して來た方々は現在臺灣に八百有餘名もあるとの事であるが領臺前に臺灣の地に足を踏入れた先人は僅かであるまい、記者は領有前約二年即ち明治二十七年一月臺灣に上陸し現在宜蘭の地に根據を構へ、しかも前の臺灣製腦會社取締役、前臺北州協議會員等の經歷を持つて居る波江野吉太郎氏を雙連街の同氏邸に訪ね、領有前の臺灣について懷古談を聽く事にした、大正と共に句を友として餘生を樂しく送つてゐる氏は七十歳の高齡とも見えぬ健康さである

最近の波江野氏

內地人としては外人の妾が二人

記者「臺灣に來られた當時の模樣をどうぞ」

波江野氏「領社の座談會で當時の模樣は大體語り盡されてゐる樣だし、それに私は臺灣に來るなり直に樟腦界に入つたので平地については餘り話題を持合せませんから」

記者「では山での話でも結構です」

波江野氏「明治二十六年の九月頃でしたら、私が郷里鹿兒島で樟腦事業に從事してゐた時でした、たまたま臺灣から來た人が『臺灣の樟腦狀況を見にゆかんか……』とすすめてくれましたので臺灣に渡る氣になつたのです、當時は內地と臺灣を結ぶ船便がなかなか[illegible]つたので私はその人▲

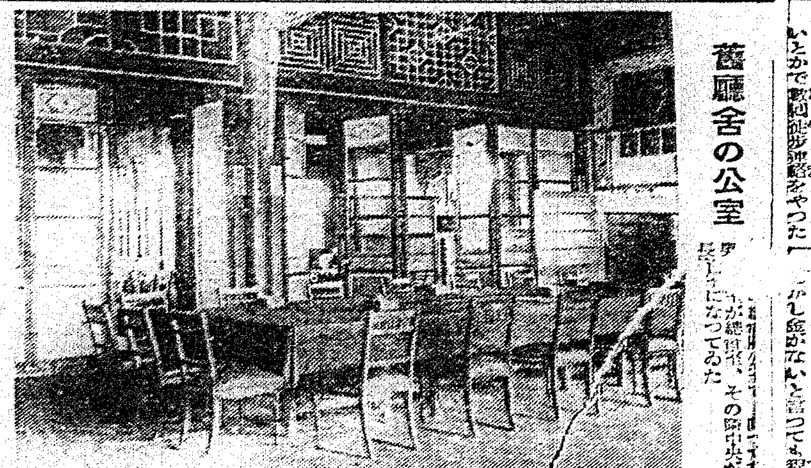
[illegible]

當時は新竹に汽車がありましたが、來る人は極めて少く、大稻埕で樟腦や茶を商賣してゐた外人や支那人の役人、金持等少數の者が乘るだけで一般のものは高い賃銀を拂つて汽車に乘るより步いたものです。私は大稻埕に宿をとりました、今考へても當時泊つた家がどの邊だつたか判然しませんが、なんでも鄭人の經營する旅館八屋の二階でお話にならない程汚い屋根裏の樣な所だつた事を記憶してゐます。その頃の臺北は今の三線道路の所に城壁が築かれ昔の總督府廳舍、即ち今建築中の公會堂の所に臺北府の廳舍があり街と言へば北門街と府後街、府前街、新起街位のものであとは殆ど野[illegible]

[illegible]

往時の臺灣總督府

明治三十年十月勅令第三百六十二號の官制に由つて設置された臺灣總督府は現在の公會堂、當時の西門街にあり、初政府時代の布政使衙門及行臺をそのまま利用したものである



舊廳舍の公室

[illegible]

ものです。新竹で二、三日暮し直に苗栗に行き、更に苗栗から罩蘭に入りました。罩蘭と云へば山の中にきまつてゐるので苗栗から近い所で樟腦の臭い所は十數里も奧に入りました。尾崎さんのお父さんと云ふ人は新竹から來て臺北に住つてゐた相ですが臺灣における樟腦の功勞者として此の人の事[illegible]

[illegible]

殿下の御威德に感泣せる 郷土蘇樹森の奉呈書
領臺當時從軍の思ひ出
臺灣神社宮司　山口　透

私が最初臺灣の地を踏んだのは明治二十八年近衛師團に從軍した時で、其の折は北白川宮殿下薨去後、直ちに內地に引き揚げ、次いで三十四年十月十七日、臺灣神社鎭座の際、宮司としての命を受け渡臺し、今日に至つたのであるが、二十八年頃の臺灣と、今日の夫とを比較すれば、轉た今昔の感に堪へない。

二十八年私が渡臺したのは、神職代表の慰問使としてであるが、單なる慰問使ではなく、特に近衛師團に從軍せよとの命を受けたのであつた。

私は近衛師團と共に、四月十日宇品を出發したが、當時未だ日清講和談判中で、近衛師團は第二作戰計畫に依つて、清國金州半島に上陸したのであるが、やがて講和成立し、臺灣は我が領土となり、其の地の清國殘兵土匪討伐の總督を受け師團は直ちに臺灣に向つたのであつた。

神職代表として近衛師團に從つたのは、私の外に、甲斐[illegible]氏、塚田氏、[illegible]の二氏があつたが、塚田氏は病により歸國し、甲斐氏は基隆で病を得、直ちに歸國したので、結局最後まで從軍し得たのは私一人であつた。

五月二十八日、基隆沖に到着して、十月二十八日宮殿下薨去されるまで、私は一刻も離れず師團に從つたのであるが、宮殿下の御事ども、近衛師團の功績等に就いては、種々の本に書かれ、或ひは語り傳へられ、廣く天下に知られて居る事だから、今更私が語るまでの事もなからうが私が親しく目擊した事の一二をお話ししやうと思ふ。

當時の內地との交通は不便で、軍服も充分ならず、宮殿下も一般兵士と同じく粗末な服を召し上りになる事多く、衣服も暑者の如き暑熱の地にあつて、冬服を召したなつて居られた樣な御有樣で、[illegible]御困りには一通りでなかつた。

軍隊の武器にしても、運搬其他不便な爲め、充分ならず、基隆上陸の際も漸く大砲二門を揚げ得たのみであつた。

六月二日午後四時頃、宮殿下が基隆御入城の折の事であつた。殿下が兵營の門前までお進みになつたとき、突然內部より小銃二、三發の音がした、一同ははつと其處に立ちどまり、憲兵は害を恐れず、兵營內の探索に向つた。

私は後衛の襲撃をおそれて、直ちに殿下の御前に進み出て立ちふさがつた。

すると殿下の從者の足立氏が、「殿下の御前ではないか」と叫んだ。

私は「それはよく承知して居る、然し、若しも殿下に萬一の事があつては」と答へた。

間も無く憲兵が清の殘兵を捕へ、營內は大丈夫の旨申上げたので、殿下は無事門內に御進みになられた。

當時の山口透氏　明治二十八年四月從軍に際し宇品で撮影せるもので、資格は神宮教院從軍布教師補中教正であつた

八月二十八日、近衛師團は彰化に到り、直ちに北進する乃木軍の着京で、此の地に一ヶ月間滞在したのであるが、此の地は非常な不健康地で、罹病者續出、殿下も遂に此の地で病に罹れたのである。

[illegible]

これも彰化での事であるが、兵士達が其地の孔子廟に乘込みする際、孔子や顏氏等の聖人の像を取り出し、それを枕にして寢る者があつた。

私はそれを見て、臺灣人が此の事を聞いたら何と思ふだらうと、それは止めて貰ひ度いと將校に願つて止めさした事などがあつた。

殿下御薨去後の御移柩など、今更お話しするまでもないが、十月二十二日殿下が臺南到着、前殿下の御居間に定められた場所、掃除を私外一名に命じられた。

殿下が御着の際は既に御病狀が篤かつたので、戸板と竹と目張ひの白布と一枚の毛布だけの至つて粗末な御寢臺から御移し申す畏もなく、そのまま寢臺の上に御移し申しあげたが、遂に二十八日薨去遊ばされたのである。

私は十一月東京に歸るや、直ちに宮家に御挨拶し、大妃殿下に拜謁の榮に浴し、同月二十八日、殿下の御靈前、近衛師團の殿下御追悼の式にも參列するの榮を得た。

殿下が六月十八日、[illegible]に云ふ其の地の有力者の家に御泊りになられた際、主人は殿下に一書を奉呈した。

その書は[illegible]

[illegible]

エビオス錠

夏頃に於ける小兒の消化不良、緑便等もヴイタミンBの缺乏に因ると謂はれ、その豫防と治療にエビオス錠が重用されます。便秘症は勿論のこと、下痢症にあつても、蓖麻子油などで先づ腸內を掃除した後の仕上げにはぜひエビオス錠が必要で荒らされた胃腸の組織が早く常態に復して癒ります。

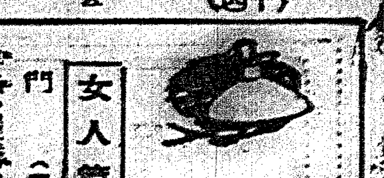
以上の如く夏季に於ける胃腸病は、脚氣と同樣、ヴイタミンBの缺乏に原因すること多く、胃腸の弱き人はせめて夏だけでもエビオス療法に依存され胃腸を補强されるやうお奬めします。

療法的に作用するのが本劑の特長であります。

注意
麥酒酵母でなければヴイタミンBが稀薄で藥用には不適當です。エビオス錠は現今治療界に賞用さるゝ純正の國産麥酒酵母で他の不純物又は賦形酵母を混入してありません。

三百錠……一圓六十錢
一〇〇〇錠……四圓八十錢
その他粉末あり

エビス・アサヒ・サッポロ・ユニオン麥酒醸造元
大日本麥酒株式會社
東京市日本橋區本町二丁目
株式會社 田邊元三郎商店
大阪市東區道修町三丁目
株式會社 田邊五兵衛商店



親鸞聖人 (239)

吉川英治作　山村耕花畫

女人篇

門（二）

見も知らぬ法師の一族か、顔をいからし、肩を聳みならして、

「物申すつ」

聖光院の玄關に突つ立つて呶鳴るのだつた。

「範宴の御房に會ひたいことがあつて、遙々訪ねした御坊共でござる。お取次をねがふ」

坊官たちは、玄關の一室で、

（また來た）

と、眉をひそめして、當惑顔をするのであつた。

叡山の僧とか、三井寺のなにがしとか、また聖護院の山伏だの、破戒の浪人者だの、名もない市井の無頼漢までが、きのふも今日もこれで幾組來たことかわからない。

云ひ合はしたやうに、皆、

（範宴に會はせろ）

とか、

（範宴をこれへ出せ）

とか云ふ。

彼が、叡山を下りて、ここへ籠つたといふ事實は、一日のうちに洛中洛外に知れわたつてしまつた——燃えてゐる炎の中へ、油の壺でも投げこんだやうに、

破戒不潔の似而門跡に會つて、面皮を剝いてくれねば腹がいぬと、玄關に立ちふさがる輩もあるし、嫌がらせを云つて、金を強請りにくる無頼漢や浪人もあつた。

「飽くまでお留守だと申せ。」

執事の木幡民部は、坊官たちへかたく云ひ渡して、然々うごかないと、自身が追ひ返してゐた。

今も、訪れた一組は、

「不在ならば、行く先を聞かう」

と云つて、踏に、腰をすゑこんで、

「四、五日前に、叡山からここへ歸つたことを確めて來たのだ。それから、どこへ隱れたのか」

坊官たちはもて餘して、

「存じませぬ。」

と云ふと、

「たはけッ。」

一人がわれがね聲で、

「おのれたち、家僕として、門主の居どころを知らんですむのか。たとへば、今にでもあれ、公卿の借用でもあつたら何處へつたへるつもりか。」

「でも、さう命じられてをりますから、お取次ぎするわけにはゆきません」

「汝等では、話がわからん。執事を出せ。まさか、執事まで外出かくれしてゐるのではあるまい。」

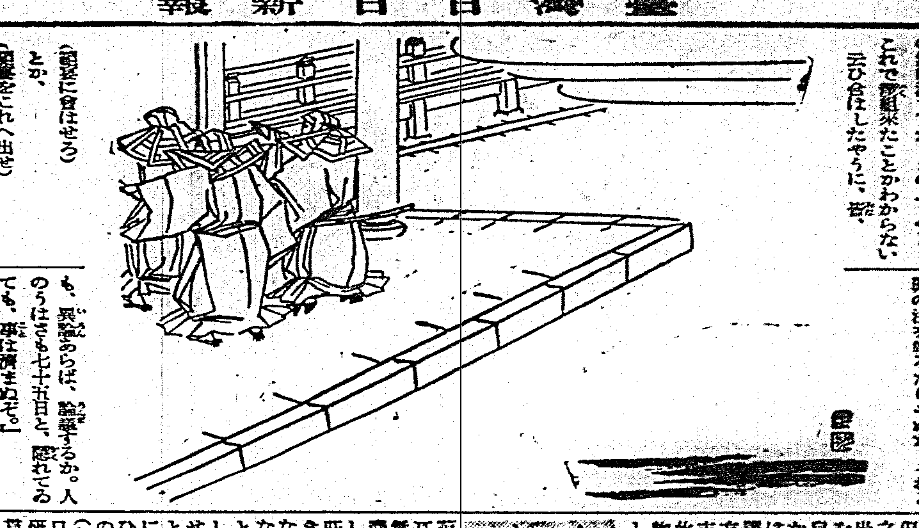
「どなたが仰せられても、御門跡にお會ひ申すことは絶對にできません。」

「うるさいつ」

太刀の石突きで、一人が坊官の顔を突いた。

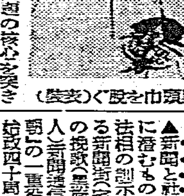
坊官が逃げこむと、

「やあ、聞け上人、範宴、汝、それほどに自己の行状を恥るならば、なぜ、ここへ出て、兩手をつかへ、懺悔の實を示すなり、世上へ謝罪の法を修るなりせぬか。それとも、異論あらば、論爭するか。人のうはさも七十五日と、隱れてゐても、事は濟まぬぞ。」



新刊紹介

◆黑頭巾を脫ぐ（丸山幹治著）著者は大阪毎日新聞「硯滴」の筆者、最近二、三年間大阪毎日新聞、サンデー毎日、京都大學新聞、其の他に掲載されたものからの拔萃、本書の内容は人物篇、吉相篇の二部に分れ、其の序文にもある如く、左翼にも追隨せず、右翼にも割込ます、所謂自由主義者にも同伴を頷はぬ翁の獨自の立場即ち長年ジャナリスト生活から割り出した筆者の公平な見地に基き寸言を以てよく問題の核心を突き甚だ興味ある一書である。人物篇吉相篇を通して、最近二、三年間國内に起つた問題は悉く網羅されてあり、問題に對する筆者の眼は鋭く委曲を徹でよく其の心央を貫き而も多分に有り勝ちの惡罵に耳らず、下品に墮せず、且つ獨特のユーモラスな筆勢は吾人の學ぶ所、甚だ大なるものがある（四六判上製三四七頁定價一圓八十錢東京市京橋區木挽町二ノ四言海書房）



黑頭巾を脫ぐ（表裝）

◆日本刀物語（藤田政吉著）日本刀の歌日本刀の舞詞名士と刀劍、日本刀に纏る種々の傳説各地に散在して一家を爲せる著名な日本刀鍛冶工の話眞の刀の持主と其所有者間のエピソード或は著者が親しく其の地を訪れての感想を交へ二十項よりなる（四六判上製二七〇頁定價二圓九十錢日本刀研究會發行東京市神田區保町二ノ二福岡市東中洲積文館發賣）

◆幼學綱要講話（文學博士深作安文著）幼學綱要は畏くも明治天皇が深く世道人心の大御心より侍講元田永孚氏に勅命して撰せしめられた道徳、修養に關する貴き寶典である、然るに漢文直譯で多少難解な文字が多い爲めに自然高閣に束ねられてゐる樣な傾向があるが之は明治天皇の大御心に對し奉つても甚だ畏い事である、修養講話には第一人者たる深作博士が過般修養講話としてJ・O・A・Kより全國に放送し國民に深き印象を與へたが之を一冊にまとめたのが本書である文體極めて解り易く實に一々肯綮を得たるのみならず適切な訓話を選び簡にして要を得、幼學綱要講話たるに恥ぢざる名篇であり江湖に推奨するに充分の價値がある（四六判布製、九十六頁、定價金九拾錢東京市神田區一つ橋二の九青年教育普及會）

創刊雜誌

▲多磨（第一號）（直觀と藝術、藝術と鬪爭、古典と新風、之等一見矛盾を感ずる包容相に於て、我等は交々胎動し、又隱約せむとす。我等は萬葉を尊信すれども萬葉に偏執せず新古今を愛敬すれども亦之に迷眩せず、嚴たる我が軸心に坐して而も車輪を轉し、その視野を移す。その遊路に於ても亦殆ど自由にして洞るところ無きを思ふかの風色に來り現るるもの、畢竟は無心にして虛しきに於て、愈々讓々たらざる可らず。但し我が東方藝術の精神と爲すもの、一に蒼古より縱貫して亦澄ること無し此の本義に於て、我等は時に應じ物に順つて光闡す可きのみと宣言し、また（再び言ふ。風色眼前に蕩揺すれども捉ふるなく、聲香肉耳に交響すれども耶耽は光ること無し。世の現實なりとするものの盡く假幻にして、また有ることも無し。虛しきも亦無きが如くにして眩暁なり。その間に視その中に聽き、その天地の空白に黏つ。但實ならざれば能ふ可らず。一生の業なり。單なる風流韻事には非ず）と宣言した北原白秋氏が自ら主宰し、高揚たる短歌精神を以て編輯せる新誌。歌壇新聞斷片一葉を口繪とし、用紙印刷亦高雅清楚愛するに足る（牡丹花に車ひびかふ春まひる風塵のなかにわれも思はむ）の春晝牡丹風（北原白秋）爲家論（久松潜一）やまとの一もと薄（折口信夫）等をはじめとし、短歌作品研究、批評を收めてゐる、全誌を貫く白秋氏の激しい氣魄には打たれる、けだし喜ぶべき創刊である尚、多磨の頁は初學者の三讀すべきものであらう（定價五十錢東京市神田區小川町二ノ一二アルス）

【多磨】表紙　…白山春邦畫…

雜誌紹介

▲小賣店經營（六月號）銀座風月堂の生立を語る（久岡松楠）鮫盛菱の由來（堀田康一）茶店經營の要領（サトウタツエ）僅かに十圓で繁昌將來（水田利夫）其他、菓子の由來記、繁昌商店見歩記、商店診斷、商賣の秘訣等、小賣商店經營策に關する記事を載せた、サトウ能率研究所長サトウタツエ指導の雜誌（定價四十錢、東京市神田區積榮町二ノ七實際經營社）

▲新聞と社會（六月號）その背後に潜むもの所謂暴力團檢擧と小原法相の訓示（黑潮義道）公器に非ざる新聞街（宅野田夫）自由主義沒落の挽歌（黑旋風）蘇峰氏觀（大村克人）新聞通信社成立の影に暗躍る"東朝"の一重役（歌仁人生）記念號創始以四十周年（千草默仙）其他各報に關する記事、新聞批評等「新聞の横暴惡德を懲ち社會の正義の擁護と鞭撻」をモットーとせるもの（定價二十五錢、東京市麴町區三番町二ノ二の六其社）

最近著の雜誌

▲若草公論（六月號）▲民族の風景（六月號）▲大日光（六月號）▲講演（第二百九十一輯）▲憲済（六月號）▲心霊と人生（六月號）▲人生道（創刊號）▲道者の友（六月號）▲新興眞宗と國家經營月報▲家の光（六月號）▲綜合情報（六月號）▲キング（七月號）

祝始政記念

今川淵　臺南

勝又奬　新營

内ヶ崎良平　新營

黑田秀博　新營

歐米雜貨　貴金屬類　書籍文具　運動用具　小出商行　臺南市白金町

酒類賣捌人組合臺南支部

臺南運輸業組合

臺南漢藥種商業組合　組合員一同

臺南善鱗組合　臺南西市場内

臺南神學校　臺南神學校女子部

臺南州協議會員

越智寅一　芝沼榮作　和田二三松　筒井清良　栗山新造　中川番　佐藤覺一　梁道　辛西准　石秀芳　吳森玉

臺南市協議會員

櫻井齊　千葉才治　川崎二三　川中忠五郎　小出平左衛門　川村彌永吉　中島貫一　井戸謙　西川善三郎　佐藤由松　野坂新太郎　堀内明　島津秀太郎　松崎翠　葭谷照雄　庄司常治　王開運　許清江　顏春芳　劉清井　沈榮　翁金護

臺南長老教中學

臺南長老教女學校

余縄章　臺南　臺南綿布商組合　組合員一同

糖業試驗所長　岡出幸生

臺灣南部無盡株式會社　社長　栗山新造

ハヤシ百貨店　臺南市末廣町　電話六六〇・七七番

株式會社安部幸商店臺南支店　臺南市大正町二丁目七十五番地

漆器家具荒物商　五端第二支店　臺南市

五端第三支店　臺南市港町二丁目　電話三七八番

臺南酒類煙草小賣人組合聯合會

有限責任臺南信用組合

森川シート屋　天幕・各種貨車覆・ズック製品・行李　臺南市錦町一丁目　電話八〇九番

岡田コロタイプ印刷所　繪はかき　凸版銅版　各種印刷　臺南市幸町二丁目二九番地

喫茶食堂　トヨダ　明治製菓の洋菓子　臺南市本町

御料理　鶯　臺南　電話四〇九番

臺南銀座　レストラン　カピタン　電話二〇〇番

臺南州自動車協會　臺南州保安課内

公認臺南自動車講習所　臺南市港町二ノ三三

臺南製麻株式會社　臺南市錦町二丁目貳拾七番地

有限責任臺南州購買組合

有限責任信用組合臺南興信社　臺南市白金町三丁目一六三番

古澤勝之　臺南

黃欣　臺南

臺南　寺川印刷所　寺川喜三郎　電話五八番

銅鐵工具及自動車販賣　合名會社山田商店　本店臺南市大宮町二丁目　出張所高雄市新濱町二丁目

有限責任臺南建築信用購買利用組合　臺南市清水町三丁目三番地

有限責任臺南庶民信用組合

賜成洋家具店　臺南市白金町一丁目

丸井金物店

私立臺南家政女學院　學院長　王兆麟

河村寫眞館　臺南市大宮町二丁目　電話九五〇番

鴻文活版舍　活版　石版　印刷　カレンダー製造販賣　臺南市末廣町二丁目一五四　電話七八五番

印章彫刻　藤井日本堂　臺南市大宮町二丁目　電話四六二番

吉田商店　臺南市大正町二丁目九　電話五六三番

萬伸社臺南支店　臺南市錦町二ノ八〇

橋本紙店　臺南市錦町三丁目

橋本紙店印刷部　臺南市大宮町二丁目

松金料理部　松金旅館　臺南市本町

和洋紙文房具　頃安開進堂　臺南市大宮町

活版石版材料一式　同　印刷部

臺灣弘仁株式會社　臺南市白金町

臺南珍商店　臺南市錦町二丁目

東京生そば　更科　臺南市本町二丁目

近江屋金庫店　臺南市本町一丁目

林叔桓　臺南

日東住宅株式會社

東港製氷株式會社

林邊庄長　鄭如南

開陽堂印刷所

開南商會

嘉興食料品店

三星堂　各種印刷

西商店　臺南市本町

西陶器店　臺南市白金町

西履物店　臺南市本町

三勇商會　徐寶掟

文章堂　臺南市銀座　電話九四五番

紅葉軒　臺南郵便局前

學校用品　事務用品　進文堂　臺南市本町

梅原克巳堂　臺南市錦町一の六二　電話八八番

カフエー　ヒノキ　嘉義市本通り

加藤豐彦　嘉義市

和洋割烹　蓬萊

三五商會

割烹　魚喜　嘉義市大通り

日本糖業聯合會　嘉義

嘉義市尹　川添修平

臺灣酒類賣捌人組合嘉義支部

臺灣煙草賣捌人組合嘉義支部

嘉義郡

大林庄長　藤本大藏
水上庄長　畑山丑藏
竹崎庄長　王景游
中埔庄長　陳茂如
番路庄長　金子幸三郎
溪口庄長　張早
小梅庄長　江德樹
民雄庄長　安部俊亮
新巷庄長　林蘭芽

炎記　嘉義市

大同自動車會社　乘合　嘉義

德芳商店　嘉義市元町

蔡西　嘉義市

丸三藥房　嘉義市

嘉義商工會

嘉義吳服商組合

嘉義支局管内　酒類煙草食鹽小賣人組合聯合會

南國運送公司　嘉義驛前

嘉義宿屋組合

黃德壽　嘉義市

泰順製米工場　嘉義市

新盛文印刷所

カフエー便利　嘉義市西市場前　電話五一〇番

カフエー　スズラン

四方醫院　施江東

有限責任斗六信用購買販賣利用組合　組合員一同

林慶堂　斗六

小蓬萊　斗六街

金寶成商店　斗六

薩州堂印刷所　斗六

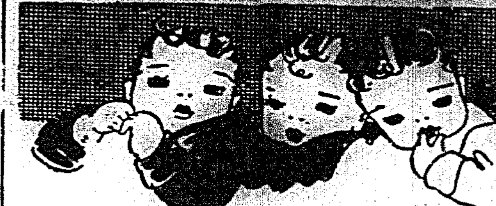
祝始政四拾周年記念

フォード自動車臺灣特約販賣店
ダンロップタイヤ日本總代理店
日本自動車株式會社臺北出張所
臺北市（臺北驛前）　電話（長）八七六番 四五〇五番

始政四十周年の
記念日を
祝し奉る
昭和十年六月十七日
臺北市榮町一丁目二十番地
新高堂書店
村崎長昶

胃腸の妙薬 **デルビー**
風邪の妙薬 **ダンダン**
臺北 森田信生堂

森永ミルク
ひと飲み毎に
健やかに！
赤ちゃんに
何より温い
慈愛のおちゝ
賣績・賣行 共・日本一



コンパス號・ホドソン號總發賣元 富士霸王號代理店
進輪自轉車本店
王初生

割烹 **松竹**
臺北市西門町二ノ四

ヒノマル魚店
最新式電氣冷藏設備
臺北市本町

株式會社 **德泰商行**
臺南市本町四丁目
許燦然

嘉義市元町 **向生醫院**
院長 潘木枝

古本廣充

嘉義市 **日向屋本店**

嘉義市 **嘉義珍商店**
店主 林炎

義立商行
林文

嘉義市 泉利商行 **陳際唐**

嘉義市 **勝田醫院**
院長 勝田

嘉義木材商組合

嘉義市 **江口幸市郎**

北斗郡二林庄 **二林信用購買販賣利用組合**
電話十七番

北斗郡埤頭庄路口厝 貸地業 **蔡有**

北斗郡竹塘庄田頭 貸地業 **黃龍**

北斗郡二林庄大排沙 貸地業 **陳梓成**　**陳勳**

彰化市北門外町 合資會社 **カレンダー商會**
代表社員

北斗郡 **北斗街役場**
街長 陳章琪
助役 岡田治之助
會計役 謝水德

北斗郡 **溪州庄役場**
庄長 鄭添益
助役 內和田正男
會計役 謝全明

北斗郡 **埤頭庄役場**
庄長 張清風
助役 松延寅松
會計役 吳在琨

北斗郡 **竹塘庄役場**
庄長 莊日
助役 青山市太郎
會計役 曾結生

北斗郡 **大城庄役場**
庄長 劉崧袖
助役 缺員
會計役 許川田

北斗郡 **沙山庄役場**
庄長 謝彪
助役 缺員
會計役 謝融

北斗郡 **二林庄役場**
庄長 寺尾德右衛門
會計役 洪兩縣

彰化郡漢藥業組合
組合員一同

彰化 **佐藤房吉**

板橋街役場

板橋信用利用購買組合

海山自動車株式會社

土城庄役場

東興タオル商會
板橋街湳子 呂水山

中壢郡守 **森田民夫**

中壢郡畜產組合

苗栗米穀改善協會

東臺特產公司

大湖 **松屋** 旅館部 トラック部
電話大湖七番

大湖庄役場

大湖郡守 **吉岡英吉**

州協議會員 **嚴添壽**

大湖 **次高木材會社**

石炭採掘 卸賣 **合和商行**
竹南驛前 王

竹南食堂

竹南 **明發醫院**
蔡明發

石鹼製造販賣 **建中商會**
竹南驛前

復興賣出 **萬得商店**
竹南

臺中市 **曾根原弘**

臺中市 **榊原辻太郎**

臺中市綠川町 **高須印刷所**
電話貳七六番

臺中料理屋飲食店組合

臺中市 **田原哲次郎**

印刷 文具紙類 和洋 **村木商店**
高雄市

印刷活版 文具類 新聞雜誌 **佐藤縫三**
旗山街

昭和製糖株式會社
宜蘭　電話 長四〇番 二〇〇番

日本食料工業株式會社臺灣支店
臺北市上奎府町三丁目三番地
本社 東京市麴町區丸ノ內二丁目二番地
管內出張所及工場

資本金 壹億七百貳拾萬圓
積立金 貳千參百壹萬圓
株式會社 **三和銀行**
大阪市東區今橋
臺北支店（本町二丁目）
臺南支店（本町四丁目）
高雄支店（新濱町一丁目）

資本金五百萬圓
株式會社 **臺灣商工銀行**
臺北市大和町四丁目一番地
大稻埕、基隆、宜蘭、羅東、桃園、中壢、新竹、竹東、竹南、苗栗、臺中、斗六、西螺、嘉義、朴子、北港、鹽水、麻豆、臺南、高雄、鳳山、旗山、屏東、東港、花蓮港、南門、萬華、草店尾、岡山

株式會社 **華南銀行**

臺中市大正町
株式會社 **彰化銀行**
支店
彰化、南投、臺北、桃園、豐原、基隆、鹿港、員林、埔里、高雄、東勢、清水、臺南、板橋

臺北市本町一丁目四三番地 代表番號電話三一二〇番
臺灣貯蓄銀行

株式會社 **日本勸業銀行**
臺北支店

改隸四十週年 始政紀念日所感

貴族院議員 辜顯榮氏

改隸四十年。撫今追昔。不禁感慨繫之。明治二十八年除夕。土匪突圍臺北城。經皇軍擊退。城中固無恙。唯事後軍政當局。搜索匪徒甚力。數日間捕嫌疑者數千人入獄。更借茶行。臨時禁錮之。余適爲敍勳恩命上京。水野民政長官。接樺山總督電促余與千々岩警視總長。火速歸臺。惶恐遄返。比至臺北。見各要路戒嚴。如臨大敵。余先到保良局良民。無人敢向當局陳情因知匪徒作亂。陷害無數故。言時猶怒形於色。余御進曰。匪黨不逞。罪當萬死。然所獲不在陣交鋒。又不在深山巢穴。而在城市。況臺灣舊慣大家族同居。此點深望審實。總督厲聲曰。見捕人多。審實不易。因請許查三日呈報。倘不得實。願受遲延誤國之罪。哀懇再三。始見許。續請此間命軍警各機關。暫寬勿殺。總督可之。適會大島參謀長三輪憲兵隊長。其他諸要人。均恐迂緩誤事。余一以懇總督者懇之。幸皆見納。顧當時。民家堅閉。行人絕跡。以余一人。力查兩日。僅得二三百人事情。至期再謁總督。疏明難查理由。再請展限三日。總督初日。否。否。軍令一出不許更易。余猶再三哀懇不覺墮淚沾衣。總督察余至誠。遂出所獲名簿。更限三日查覆。屆時相當得實。奈保良局諸人。多恐株連。不肯聯名。余不得已獨署之。書上之時。總督嚴詰所以。余以實告。乃釋然。轉加獎勵。而迄除罪跡彰明者外。盡行放免。北部如是。中南亦略有之。此軍政時代之一端也。要之。當時改隸事情誠使島民一體周知。奸民不作。則臺灣文化。不更早進行乎。雖然。此四十年間。賴聖明在上。一視同仁。而諸有司。協力圖治。遂有今日。可謂幸矣此後內臺人等。熟察東亞大勢。相與健奮。而福更窮矣。

當年令旨今猶服膺 自治改正訓練盡義

督府評議會員 簡朗山氏

帝國領臺。光陰如箭。至今閱卌星霜。當時民智屑淺。不知各國之遠近。不識各國之種族。明治二十八年六月。高橋軍曹。帶兵十數人。到桃園偵察。當時人民有見其面貌。與島民無異。疑非日本人者余迎之入文昌祠賀蔡樓。正午敬獻茶餅。午後軍曹歸臺北。越兩三日。河川大尉。別率兵隊來。以桃園驛。爲兵站司令部。中島司令官駐焉。余爲囑託日爲斡旋房屋軍食用品。七月二十九日午後三時。北白川宮能久親王殿下。駕臨桃園。於武陵橋畔。張幕爲奉迎所。時人民多避居郊外。余與儒士林芳。保長顏淸亮。商民劉達仁四人。奉呈朱彩。大書『奉迎大駕桃仔園街庄紳商一同』。林氏爲代表。恭述奉迎辭。殿下立賜令旨曰

皇軍到此地。是欲保護人民。人民不必畏懼逃走。爾等其將此意。傳之人民俾速歸家。安居樂業。此後軍隊日々多經此地。爾等及一般地方民。須當斡旋房屋軍食用品人夫等。萬事聽兵站司令部指揮。勿爲謠言所惑。令旨懇切總在爲國安民。至今追憶猶爲拳々。此間地方平靜文化發進。實由列聖深仁厚澤。歷代總督長官。克體叡意。率諸官民。一致協力。我五百餘萬民。所堪額手同慶。雖然。將來所要施設。尙必不少。如教育之徹底。以致文化之向上。產業之振興。以圖民生之安定。他如衞生。交通。均須整備。自治制度。亦待改正。而訓練公民資格。涵養國民性。助長愛國心。公共心。無一不要覺醒。竭力奮鬪。期盡國民萬一之義務。以圖南方之國防。是余之所切望者。玆値始政四十周年紀念日。謹述所感一端。以爲祝辭。

領臺四十年 始政記念日

今日爲臺灣歸帝國版圖。始政第四十回記念日。四十年前之臺灣。爲瘴癘之鄉。疫病時發。今日之臺灣。爲健康地。衞生防疫諸設備周至。四十年前之臺灣。械鬪相尋。土豪惡霸魚肉鄉民。今日之臺灣。匪氛肅靖。同處於法治國之下。同受法之平等。四十年前之臺灣。物產無多。鐵道只止於基隆新竹。今則交通網完成。糖米茶瓜果蔬菜水產礦產林業。著爲增產。四十年前人口。僅二百餘萬。今則超過五百萬以上是無論。出於皇室之深仁厚澤。及督府施政得宜之賜。而況此絕好記念四十週年之施政。有地方制度之改善。及今秋臺灣博覽會之舉。爲極有意義也。吾人於感激而外。當茲非常時局。及想到來日之大難不可不更進致步。謀積極的之報效。及所以圖此後臺灣。愈從進步發展。積極的之報效。爲涵養國民性。一旦緩急。義勇奉公其在平時。則依據正義以運用地方制度之選舉諮詢決議提案。原夫世界之思想潮流及制度。有變有常。常則守經。變則行權吾人不可不鑑取世界大勢退而思維。講順應對策。夫孜々於眼前之私黨私利者。不能遂行致深之大經綸。仁義者。匡時之藥石也。智力勤勉。依仁義而行。其極致爲共存共榮。萬物並育而不相害。道並行而不相悖也。臺灣此後人口彌增。富力不可不愈益開拓。即農業水產改善而外商工業之合理的經營。亦貴與內地人同一發達步驟吾人以始政第四十回記念日爲一期。各市街庄。乃至個人。咸樹立五年或十年之計畫。父詔其子。兄勉其弟。夫勗其婦。各依據正義觀念。於國爲有用之國民。於社會爲有用之社會人。於家庭爲生產努力修身之一員。如是則臺灣當益發展。新改正地方制度之運用。彌見圓滑。選舉令。徵兵令之實現。將不待要求而自至。夫物質生於精神。精神正義勤勉。爲研究的。則國家事社會事之難關。皆可迎刃而解。殊如臺灣人之政治的訓練。本年地方議員。選舉在卽。吾人猶深望人盡自覺。俾民選議員之質。勝於官選。以揚高本島人關於自治能力之聲價。無貽笑鄰學製之譏。則甚幸也。

領臺前後 臺灣之變遷

臺灣歸我版圖。於玆四十週歲。庶政文物。駸々進其步武。乃世人所周知。而領有前之臺灣。滄海桑田。幾經易主。試舉各時代之變遷。想亦讀者所欲知者。

領有前之臺灣。爲絕海一孤島。占東支那海。要衝。四千年前爲夏禹時代。中國本土已知。及隋之開皇年代。距今千三百年前始遣虎賁陳稜。略澎湖三十六島。隋煬帝大業三年又遣羽騎尉朱寬。偵察臺灣。唐時中國人移居澎湖者漸多。元末澎湖設巡檢司。隸屬福建省同安縣。乃臺灣建治之始。

明天啓五年。顏思齊據臺灣西部。蒞殺土番。與荷蘭人貿易。鄭成功之父芝龍依之。

西曆一六二四年。蘭人由臺南上陸。占領臺灣。兩年後西班牙人。亦占北部鷄籠淡水。未幾爲蘭人所逐。全島俱歸蘭人統治荷蘭領有三十八年。鄭軍大舉來襲。臺灣蘭人。

一五九三年。西班牙欲控制菲賓易覇權。藉名保護日本呂宋貿易。由臺灣上陸。築城於社寮島及淡水。稱曰紅毛城。

永曆十五年二月。鄭成功親率戰艦百餘隻。由鹿門入媽宮港。是時民心已離蘭人。歡迎鄭軍。蘭人陷於重圍。七閱月。失三千餘人。乃棄臺灣。而之爪哇於是鄭成功全占臺灣。

康熙二十二年。水師提督施琅。征伐臺灣。克服鄭軍。翌年臺灣爲一府。隸屬福建省。於福建巡撫之下。置臺廈兵備道。

明治二十八年四月。依下關條約。領有本島。六月乃定臺灣事務局官制。總督府布軍政。二十九年三月。發布總督府條例。始布民政。三十年十月。發布總督府官制。廢止府條例。三十一年六月。改府官制。行組織分合。四十四年十月改正官制。部局分合。大正八年八月改正官制。撤廢總督資格。同年十一月文官總督田男蒞任。自是以來。歷任置文官總督。其間地方廳制度實施。今者新自治制又將施行。四十週年紀念博覽會。秋間已定開催。人生四十乃不惑。年方盛壯。絕好時會。此去臺灣。亦由創造而入精進時代。官民正宜一致力同心。爲臺灣謀福祉也。

改隸當時 一部之記憶

▲廣東兵之殺害

四十年前改隸當時。余童稚。不甚解事。今僅就所知所記者。筆之如左。

當夫民主國唐景崧。未逃走以前。潰兵殺中軍。刼庫銀。逃至新竹。而新竹遂有殺廣東兵之舉。先是皇軍上陸後。臺中林朝棟之棟二營兵。早已聞風先遁。退駐新竹。及覩潰兵刼庫銀。亦逃至新竹謀有以奪之。然懼其武器精銳。萬一結束時。則勝負難分。乃詒以爲解除武裝。配船使歸。潰兵不知是計許諾。於翌以午膳時開銃擊之。一面誣潰兵通敵。爲皇軍先導。將不利於新竹。鳴鑼號召鄉之團練。適近慣恨。雖樵夫牧父。市井年少。强而有力者亦各成群持刀棒搶鏢之屬爭助棟二營兵。屠殺潰兵。余之鄰右。寓王麟班。戲班。班有武旦某。壯甚。午出。未晚卽歸。云奪銃三。銀數百塊。殺潰兵十一名。出十一條辮子。誇示於人。又有潰兵逃至青社。見一鄉農。驚地乞命懇請隱匿。被用鍬擊斃。有匿於南門外竹蓮寺區額之上。被曳出戕之。輿論激昂時。匿潰兵。人目爲通敵。間有以嫌疑。受搜索者。於是潰兵。益無噍類矣。潰兵之統領官諸葛龍。雲南人也。以平苗匪有功。累進而爲參將。亦終不免於一死。過後士論傷之。唐景崧固廣西人而新竹人士。多誤唐爲廣東人。故潰兵亦通稱廣東兵。事後潰兵之屍。合葬於南門外巡司埔卽所謂廣東仔墓者。會時疫大作。殺潰兵之人。多斃於疫。僉謂廣東兵顯聖。罹疫之家。爭向廣東仔墓祈禱。一時相沿於途也。

▲誅刼掠者二名

領臺當時。最後之新竹縣王某。舉人也。能騎馬。頗有政聲。割臺之事既定王知縣。赴舊港。欲乘帆船西渡。舟未發時。竹之父老。見地方亂民。乘縣官不在。白日公然到處行刼。乃派人由舟中。强請王知縣再行上陸。鎮壓亂民。王知縣歸至苦苓腳。目擊亂民行刼。使親兵捕其二。帶回縣口。就地正法。秩序漸復。

▲防備軍之兒戲

前淸末季。文恬武嬉。臺灣猶甚。自戰事起。始修築隘門。募集鄉勇。鄉有挑水夫某甲。及吸阿片之輿夫某乙。皆被選入行伍。糧餉更難。時派民間殷戶。煮糖粥鹽粥犒軍。其有到湖口方面。與皇軍交戰。負傷者。則舁歸新竹。入振興師振發師家。受其治療。振興師振發師兄弟也。爲新竹著名老拳師金師父之高足弟子。又有打銅錫者。忘其姓。名錫。業打銅。人皆呼之爲打銅錫。打銅而外。時爲人補鼎。能修理鳥銃。及毛瑟槍。當時防備軍之銃器。皆持往其家。使修理。防備軍之兒戲如斯其不足以對抗精銳之皇軍也明甚矣。

領臺後四十年間 初等教育之變遷

前途尤須努力促進

大凡社會之進步。一依其文物之程度如何。可以驗其高下。吾臺自改隸以來四十年于玆。其間物質之進步。及文化之向上。固有可觀者。唯于教育普及程度。尙不能十分徹底。試以初等教育之就學率觀之。前途尤貴努力。雖然回顧領臺當時。與現狀比較。殆有隔世之感。本島教育之創始。乃與初代總督樺山大將。同時渡臺。而爲學務部長之伊澤修二氏。于本島始政之翌日卽明治二十八年六月十八日。將學務部假事務所。置臺北市大稻埕。然其時臺北市內。民心尙未十分安定。婦女子流離他鄉。招募生徒。殊非容易。伊澤部長以士林地方。前淸時人材輩出。人心亦復安定遂藉之山岩開漳聖王廟。充假事務所。附設校舍。顏日芝山岩學堂。是爲領臺後公學教育之發祥地。教育之基礎。亦由是而立。其時收容學童數初僅六名。是歲九月。漸增至二十一名。自是以來。育英事業日々日上。其後復因時勢之變遷。教育制度。隨時改訂。殆至大正十一年二月。公布臺灣教育令。爲撤廢差別。實施共學制。因而本島學制益見完備。補習實業。及各種中等以上學校。亦以次設立。觀現在各州廳歲出豫算。教育費殆占三分之一。在昭可想見其四十年間之進展也。然而本島人初等教育就學率雖見逐年進步。而至普及程度。前途尙屬遼。依教育當局調查。本島人兒童之就學率。各地不同概觀全島狀況。在前年三月三十一日現在。全島平均。男子就學率五成二分五厘五毛。女子不過二成六厘一毛。平均三成七分二毛。女子就學率。實更努于男子。一面觀同年齡人就學率。男子七成八分五厘癸毛。女子七成二分一厘三毛。平均七成五分四厘六毛。雖遠不及內地人。然從于本島人。此點實爲吾人不可不深加致意者也。顧此四十年間。最甚吾人異感者。義之招募學童。須逐戶訪問。懇切勸誘。尙不肯應。今則自發的應募。尙恐難于收容中等學校之入學難。人盡苦痛。向學心今昔之不同如是。然以現在就學率計之。至教育普及程度。謙非近數年間。所可得而期待者。興思及此。不無感慨係之矣。目下本島人有識之士。咸望當局。更加獎勵。而教化諸團體。亦以爲念。努力促進。使一般民衆。徹底教育大精神期有以奉報一視同仁之聖意也。

祝始政四十周年紀念

新竹市 內海忠司

新竹市東門外二番地 青木健一

新竹市 桑原佐一郎

新竹市 大江退三

新竹市擎記興業株式會社 鄭肇基

新竹州竹東街 甲木豊吉

新竹州北埔庄 姜瑞昌

新竹州竹東街 杉本金太郎

新竹州苗栗街 劉德欽

新竹州六家庄 何金城

新竹市 清水銀次郎

新竹市北門 衛藤壽吉

新竹市泰生堂 新原啓司 相太郎事

臺灣酒類賣捌人組合新竹支部
臺灣煙草賣捌人組合新竹支部
臺灣食鹽元賣捌人組合新竹支部
新竹酒煙草小賣人組合聯合會

新竹驛前 塚廼家旅館 電話一七番

國際通運新竹支店
日東商船組新竹支店
大同運輸合資會社
泰金運送部
新聯結運輸部

新竹驛前 合資會社 新竹自動車商會 電話貳四五番

旅館 臺灣製油所 新竹驛前 田中濱次郎 電話壹八番

新竹市東門 (上) 小出吳服店 電話壹〇五番

新竹座 電話四四番

新竹市東門外三 新竹拓殖軌道株式會社 電話五八番

新竹料理屋組合事務所 電話三六四番

新竹州新竹市 有限責任 新竹信用組合

新竹市 新竹カフヱー組合

新竹市 大國屋吳服店 電話登參八番

新竹市東門 明石屋菓子舖 電話登五八番

新竹郡

舊港庄役場 庄長 許三代治 助役 遠藤善全 會計役 鄭根塗 外職員一同

新埔庄役場 庄長 富山利 助役 潘錦龍 會計役 楊鈞勝 外職員一同

關西庄役場 庄長 佐藤今朝松 助役 徐嶽生 會計役 外職員一同

六家庄役場 庄長 何金城 會計役 周標 外職員一同

香山庄役場 庄長 陳雲如 助役 蔡順來 會計役 蔣玉珪 外職員一同

竹南郡

竹南庄役場 職員一同

南庄役場 職員一同

頭分庄役場 職員一同

造橋庄役場 職員一同

三灣庄役場 職員一同

後龍庄役場 職員一同

竹北 振泰商行 米穀部 電話貳〇八番

振泰運送部 電話參五番

大日本製糖株式會社

資本金 五千百四十一萬六千六百圓

社長 藤山愛一郎

臺灣支社理事取締役 永井清次

本店 東京府南葛飾郡砂町
東京出張所 東京市丸ノ內二丁目昭和ビルデイング六階
臺灣支社 臺南州虎尾郡虎尾街
朝鮮支店 平壤府船橋里
名古屋出張所 名古屋市西區下園町四丁目
大阪支店 大阪市北區若松町
朝鮮京城出張所 京城府黃金町
上海出張所 上海
爪哇派出員事務所 Gading Street No.10 Ketanbung Soerabaja Java

臺灣支社
虎尾製糖所 臺南州虎尾郡虎尾街
斗六製糖所 臺南州斗六郡斗六街
北港製糖所 臺南州北港郡北港街
月眉製糖所 臺中州豊原郡內埔庄
烏日製糖所 臺中州大屯郡烏日庄
東京製糖場 東京府南葛飾郡砂町
大阪製糖場 大阪市東成區大友町
朝鮮製糖場 平壤府船橋里
門司製糖場 門司市大里
爪哇製糖所 Gedaron Afd Klaten Solo Java
大東島製糖所 沖繩縣島尻郡南大東

臺南市永樂町二丁目 臺灣體仁合資會社 電話五二〇番

祝始政四十周年記念

大和行
辜顯榮
臺北市永樂町五丁目 電話二七八番

臺北市大正町一ノ一七
林熊徵

林本源柏記產業株式會社
社長 林柏壽

捷裕參莊 元裕行 榮裕商行
張清港
臺北市太平町三丁目

張園

谷河梅人

米穀雜類 砂糖麥粉類 各種油類 精米業 今印麵類
吉岡徳松商店
臺北市表町一丁目 電話一八番 振替臺北二六四〇番

臺北庶民信用組合
事務所 臺北州廳內 電話一五二二番 京町一丁目五十二番地 電話一七二九番

鈴木學
臺北市若竹町 電話長四四八番

臺北市新起町二ノ三
大歳食料品店
電話六〇三番

臺北市京町二丁目
日の本洋傘店
電話三七九四番

オフセット・石版印刷
ワタヌキ印刷所
臺北市榮町一丁目(新公園前) 電話一八〇五番

菓子問屋 九州製菓株式會社臺灣販賣店
青島商店
臺北市表町一ノ二 電話九五一八番

荷造函 衣裳函 洋服函
中村洛陽堂
臺北市榮町一ノ三六 電話二八八五番

臺北南人力車營業組合
電話一四〇三番

臺北市表町一ノ二三
水木紙函臺北支店
電話一六二一番

理髮器具 表具商
ミカド襖臺灣全島特約店
葛西貞三商店
臺北市新起町二丁目 電話二八一番

臺北市新起町
(源) 蔡溪商會
レール及各種鐵材 金物地金
電話 長四六二番 八二八番

臺北北人力車營業組合
電話二〇九一番

蒲焼 天ぷら 柳川 御料理
中惣
表町 電話八六八

印舖 文林堂
臺北市京町 電話九五〇番

生そば 辨當
万月
新起町 電話三二三七番

臺北時計商組合

活版 木版 凸版 石版 寫眞版 コロタイプ版
印刷 盛文社
臺北市八甲町 電話八七九番

臺北基隆間定期運轉 貨物自動車部
朝長運送店
臺北市大和町三丁目 電話一五一六番 基隆市 出張所

公認華道家元池坊
臺北艸橋會

日本石油株式會社
臺灣鑛業所
臺灣製油所
臺北販賣店

臺灣倉庫株式會社
本店 基隆市
支店 高雄市
出張所 臺北市 臺中市 臺南市

臺灣土地建物株式會社
臺北、基隆、高雄、嘉義

臺灣煉瓦株式會社
臺北市表町二丁目十四番地
松山工場 嘉義工場
圓山工場 臺南工場
新竹工場 高雄工場
臺中工場 宜蘭工場

火災保險はどこへ
島內に本社があつて便利で取扱の親切な
大成火災海上保險株式會社
臺北市表町二丁目十一番地
電話 長五四〇番 壹五〇四番 貳壹九壹番

三菱商事株式會社臺北支店
臺北市本町四丁目五番地
電話
一、五九四番(支店長室、米穀係)
一、四一九番(機械係、金屬係)
一、七七五番(機械係、金屬係)
二、五一一番(米穀係、雜貨係、水產係)
三、二六九番(肥料係、農產係)
三、四二三番(雜穀係、會計係)

臺北市北門町七番地
國際通運株式會社臺北支店
電話
長一三六番 營業係
長四六四番 會計係
七六五番 發著係
四〇七番 船客係
一、一〇一番 專賣、輸入係
二、二三六番 支店長、庶務係
二、三九一番 本町仲仕詰所
一、七四二番 荷捌所倉庫
二、一六四番 臺北酒工場內詰所
一、一六八番 專賣局構內詰所
一、一四九番 大稻埕驛構內詰所
三、六六五番 一、九〇七番 萬華驛構內詰所
臺灣支店 基隆、新竹、臺中、彰化、嘉義、臺南、高雄、屏東
出張所 松山、萬華、樹林、桃園、中壢、楊梅、竹南、苗栗、豐原、烏日、員林、集集、埔里、斗南、虎尾、北港、新營、新市、鳳山、九曲堂、旗山、潮州、宜蘭、二結、羅東、蘇澳、花蓮港、大稻埕、大湖、土牛、三塊厝、田町、里港
本店 東京丸ノ內
內地朝鮮各驛ニ代理店、取扱店アリ

領臺四十年の 糖業界變遷

產糖は草創時代の 三十倍、步留は二倍に

臺灣糖業は他國人の資本による事業中の覇王としてその成功は同時に臺灣統治の最大治績の一つとして特筆さるべきものであらう、過去四十年間に於ける糖業の發達變遷をふり返つてみると之を五期に分つことが出來る

第一期は 草創時代即ち領臺當時より新式製糖勃興時代まで、第二期は新式製糖勃興時代より歐洲大戰時代まで、第三期は世界大戰の勃發による糖業繁榮時代から戰後の反動期で、第四期は蓬萊米の出現に對抗して大革新を遂げる時代、第五期は技術的進步の時代から官民共同による糖業試驗所の設立と生產費の驚異的低減を主眼とする世界的糖業時代之である、第一期の

草創時代 における臺灣糖業の恩人として沒すべからざる人は兒玉總督と後藤新平民政長官及新渡戶稻造博士である、即ち明治三十四年に兒玉總督が斷然として新渡戶博士の糖業改良意見を採用し茲に總督府の糖政方針が確立して始めて臺灣糖業の革新と興隆の第一步を踏み出したのであつた、明治三十五、六年期には甘蔗の作付面積僅かに一萬六千五百餘甲で甲當收穫四萬一千餘斤、產糖五十萬六千餘擔

平均步留 七分四厘二毛に過ぎぬ微微たるものであつたが、三十九、四十年期には赤糖を主として產糖百六萬四千餘擔に增加し大正四、五年期には蔗作面積十二萬九千餘甲に擴大し產糖七百六十三萬四千餘擔に達し甲當收穫は六萬五千餘斤、步留九分六厘といふ實績であつたが、昭和三、四年期には蔗作面積十二萬甲で產糖一千三百十五萬五千餘擔を得、著しく集約的となり六、七年期には蔗作面積十萬九千五百餘甲で產糖一千六百四十八萬四千餘擔

甲當收量 十二萬二千五百餘斤といふ最高記錄を作つた、七、八年期と八、九年期は過剩糖處分の對策として生產費の低減を伴ふ生產制限を行ひ產糖千萬擔に激減したが九、十年期即ち今期は再び一千六百萬擔に躍進し蔗作面積十一萬甲で大正四、五年期より少いにも拘らず產糖は大正四、五年期の二倍といふ驚くべき成績を收めてゐる、又步留の向上は近年目覺ましいものがあり昭和八、九年期には一割四分一厘七毛といふ最高レコードを作つた、明治三十年代の七分臺に比し實に二倍を示してゐる、今秋始政四十周年記念臺灣博覽會開催に際し獨立した糖業館を特設されんとするのも偶然ではなく大に意義あることといふべきである

酒の賣行

今年は二千萬圓

酒の專賣は大正十一年七月一日からだから、今年とつて滿十三歲、それでも昭和八年からビール專賣が加はつたために專賣創始第一年目の大正十二年の賣上高と昭和九年のそれとを比較すると丁度二倍に躍進してゐる、詰まり九百四十三萬圓から一千八百六十萬圓へと延びた譯である、而して近年の賣上增加の趨勢は年々一割增といふ素晴らしさで、之を假りに八分增と讓步しても昭和十年度には早くも二千萬圓に手が屆き、更にビールの製造專賣にでもなれば又々賣上增進の一途を辿らうといふもの酒專賣の前途洋々たるものがある

躍進の 專賣煙草

卅年間に十一倍

總督府の煙草專賣事業は創始以來既に三十年、過般三十周年を祝つたが創業第一年たる明治三十八年の賣上げ百四十九萬圓が昭和九年に至つては十一倍强の一千六百五十五萬圓へと激增した、而も一般的なる民度の向上と嗜好の向上で臺灣刻は凋落し、口付も時代遲れの感あり、今や滔々として兩切全盛の時代を現出せんとしてゐる、此の趨勢はレッドジャスミンの躍進的賣行增加の實證に徵しても明かなところ、また刻煙や口付煙から兩切煙に轉向する場合に好適な新品として味の軟らかい曉を發賣したことからも窺ひ知られる

領臺當時の 本島金融狀況

內地銀行進出の沿革

◇…改隸當時に於ける本島の金融界は未だ銀行と稱すべきものなく茶その他の重要物產に對しては外國銀行の代理店、洋行、媽振館、滙兌館等が金融を營んでゐたもので、地元下級金融機關としては僅かに銀貨、錢莊等が利用されてゐたに過ぎなかつた

◇…我國內地銀行の進出は領臺當初の二十八年大阪中立銀行（二十九年に日本中立銀行と改稱）が出張所を開き之に次で、日本銀行が十二月臺北に出張所を設けた、同三十二年に至つて日本中立銀行は三十四銀行と合併したので臺北出張所も三十四銀行臺北支店と改稱現在の三和銀行に至る、一方之より先政府では臺灣に特殊銀行設立の要を認め三十年臺灣銀行法を發布、三十二年九月から營業を開始し、日銀出張所は閉店した

◇…斯くて臺銀創設で金融系統が確立し其後總督政治と相俟つて島內產業開發され漸次地方銀行設立の機運を促がし、三十二年臺灣貯蓄銀行を始め（之は四十五年に至り臺灣商工銀行と合併）三十五年には商業銀行臺北支店（三十七年廢止）三十六年臺灣商工銀行、三十八年には嘉義銀行並に彰化銀行四十三年には臺南商工銀行の設立あり、更に降つて大正九年に新高銀行、同八年に南方施設の大方針の下に華南銀行の設立を見た

◇…大正十年貯蓄銀行法の改正で臺灣貯蓄銀行が新設され（商工銀行の傘下を離れ）尙日本勸業銀行は三十六年以降臺銀を代理店として貸付して來たが十二年一月臺北に昭和三年八月臺南に支店を開設今日に至つてゐる、以上が本島銀行界の沿革だが領臺當時の通貨狀態を概べると次の如くである

領臺當時の 臺灣幣制

通貨百數十種 交錯を極む

改隸前からも臺灣には一定した貨幣制度は無く支那本土の貨幣は元より各國各種の貨幣が交錯流通していた、その種類實に百數十種に上つたといふ、その內馬蹄銀は銀兩とも稱せられ取引標準となり、銀貨は墨銀で多く島內での鑄造もあり支那の貨價は地方により各々之れを異にしてゐた、殊に外國銀貨はメキシコ弗、スペイン弗及び龍銀即ち日本圓銀を主たるものとし他にイギリス、アメリカ、フランス、アンナン、ホンコン、インド、ポルトガル、シャム等の貨幣さへ多數輸入流通した、更に銅貨に至つては更に錯亂を極め官鑄の他に各地民間で私鑄せる私錢さへも非常に多かつたといはる、斯くの如く幣制の無秩序な所へ領臺直後の軍政時代は軍費支拂のため多額の一圓銀貨並に日本銀行券を輸入流通せしめたが、島民の兌換券に對する不安と無智で、紙幣の暴落を來たし[illegible]く當時の幣制統一は困難を極め完全に統一したのは貨幣法を本島に施行することが出來た明治四十四年からだと言はれてゐる

三千萬圓が 五億二千萬圓に

臺灣躍進の跡を示す 貿易數字

帝國領有以後の臺灣貿易は產業の發達を反映して驚異的進展を遂げた、今四十年間の趨勢を概觀するに內外兩貿易は領臺と共に開始されたが當初は新政の施行に島內民心の動搖未だ除かれず產業も見るべきものなかつたため輸移出入共に微々たるものであつた、即ち明治三十年の內外貿易總額は僅かに三千一百二十餘萬圓を算へたのだが產業の開發と臺灣文明の進展と共に貿易額進して三十九年には五千六百四十一萬圓に上り、十年にして殆ど倍額に達したのである、それ以來糖業の躍進により砂糖の輸移出入激增したのみならず、米麥茶其他[illegible]工業關係品の輸移入增加して同四十三年に至り貿易總額一億圓臺を突き破り、大正六年に二億圓臺を突破し、同八年三億三千二百餘萬圓を示し、二十五年足らずで十倍餘を躍進した、その後歐洲大戰景氣の反動で一進一退したが產業的基礎いよ〳〵堅固となり、大正十四年では總計四億四千九百六十餘萬圓に達し多少の動搖を見せて昭和九年では五億二千九十餘萬圓となり、始政四十年にして內外交易の膨脹が十六七倍の躍進を見たわけである

祝始政四十周年記念

臺中市 日下辰太

臺中市 白勢黎吉

臺中市 川島清

臺中市柳町一丁目 臺中州青果同業組合

臺中市 臺灣青果同業組合聯合會

臺中市 坂本素魯哉

臺中市 平輝雄

臺中市 田邊誠一郎

臺中市 大東信託株式會社 支店 臺北、新竹、臺南

臺中州米穀商同業組合 臺中市橘町 電話四七五六番

臺中州自動車協會

平田商店 臺中市錦町 電話[illegible]番

文具印刷 尚文堂本店 本店 臺中市錦町三丁目 印刷所 臺中市錦町四丁目 電話[illegible]番

御旅館 千代乃家本店 臺中驛前 電話五〇一・一七一番

映畫常設 娛樂館 臺中市大正町四丁目 電話[illegible]

富貴亭 臺中市新富町 電話[illegible]

御料理 弘園閣 臺中公園內 電話[illegible]

臺中市 柳屋食堂

臺中市橘町 臺灣青果株式會社

臺中市醫會（イロハ順）

允中醫院	陽春醫院
博愛醫院	臺中西漢醫院
栢林醫院	體仁醫院
東平醫院	王內科醫院
東周婦人科醫院	柳川醫院
教德醫院	吳耳鼻科醫院
中部肛門醫院	鄭外科醫院
張眼科醫院	安生醫院
澄清外科醫院	杏林堂醫院
林水源醫院	枝水醫院
同春醫院	清信婦人科醫院

臺中土木建築請負業組合 臺中市壽町一丁目二番地 電話六一七番

臺中市醫師會（イロハ順）

加納芳次　古市虎熊　山本宗三郎　南尚一　辻守昌　宮原武熊　石津坂一

臺日運動具部 臺中販賣店 臺中市寶町二丁目三番地 電話一四二番

臺中市寶町四丁目 川崎てる

禎祥拓殖株式會社 臺中州臺中市橘町四丁目 取締役社長 林烈堂

臺灣バナナ柑商 朝陽公司 臺中市寶町五丁目 支店 上海、香港、門司 出張所 臺北、基隆

臺中サロン日活 本店大正町 支店榮町

員林米穀商協會 臺中州員林郡員林街 電話壹〇貳番

保證責任 坡心信用販賣購買利用組合 坡心農業倉庫 電話員林貳番・壹四六番

合資會社 鼎益興商店 臺中州員林郡員林街員林二〇五番地 電話貳〇番

高木拾郎 高雄

澎湖郵便局職員一同

宜蘭街長 樋口要司

蘭陽土木協會 砂田鱗太郎

宜蘭街 森永種治郎

宜蘭建築信用購買利用組合 電話貳〇四番

宜蘭街 中村組

蘇澳郡大南澳 大南澳製糖公司

臺北州蘇澳郡蘇澳庄蘇澳二〇番地 海南興業公司 明治生命保險株式會社代理店 電話四一番

臺灣蘇澳港 臺灣石粉株式會社 石灰石粉製造

臺灣紙業株式會社

臺灣興業株式會社

國際電話株式會社 臺北出張所長 田邊幸四郎

伯公岡驛前 楊梅庄協議會員 謝春禧

平鎮驛前 楊梅庄協議會員 黃劉欽漳

中壢街 上山捷清

中壢軌道株式會社 社長 宋榮華

新竹州中壢街 日本拓殖株式會社 電話二一番

新竹州協議會員 吳鴻森（中壢街）

新竹州協議會員 岡本賢一（中壢街）

中壢街長 村上正陽 助役 黃阿何 會計役 黃鏡堂

觀音庄長 鄉田彥次郎 助役兼會計役 周鏡鏞

楊梅庄長 李金益 助役 松林忠太郎 會計役 黃阿枝

平鎮庄長 鄧盛求 助役兼會計役 葉步番

中壢街埔頂 中壢製糖公司

新屋庄長 宮內幸之進 助役兼會計役 徐珍相

桃園街役場　蘆竹庄役場　大園庄役場　龜山庄役場　八塊庄役場

苗栗 池田斌

苗栗街長 宇佐美信吉

臺灣倉庫株式會社苗栗出張所 主任 重富角之助

國際通運株式會社苗栗出張所 主任 片岡種治

苗栗作業所擔當員 大西竹敏

苗栗信用購買販賣利用組合 組合長 宇佐美信吉 專務理事 劉阿城

苗栗驛前 御旅館 苗栗館 電話一四番

苗栗食鹽元賣捌人 鍾建英

苗栗街苗栗 土木建築請負業 鍾添來

北斗郡 田尾信用購買販賣利用組合 組合長 邱水溪 外役職員一同

北斗郡 田尾庄役場 庄長 黃深泉 外職員一同

北斗信用購買販賣利用組合 組合長 黃[illegible] 外役職員一同

員林郡社頭庄役場 庄長 [illegible] 外職員一同

陳作忠

陳天助

永靖信用購買販賣利用組合

披心庄長 黃褒忠 助役 平賀哲三 會計役 黃任平 外職員一同

大村庄長 賴維種

溪湖庄長 楊本

溪湖庄 李功垂

溪湖信用購買販賣利用組合

埔鹽庄長 康傳

御料理 祝樂天 溪湖庄 電話[illegible]

竹東街長 吉田三三郎

竹東郡竹東街 商易食堂 竹乃家 黃進祿

竹東郡竹東街 西洋料理 久壽乃家 電話一九番

彰化市 林洋服店

秀水庄役場

秀水信用利用購買組合

彰溪自動車公司 代表者 李山河 陳謀道

福興庄長 許媽癸

埔里街 王峻槐

埔里街 釜田喜太郎

埔里街 施雲釵

埔里街 林其祥

埔里街 黃敦仁

埔里街 深山要助

埔里醫師會

埔里齒科醫師會

埔里街 高自動車株式會社 電話二四番

埔里市場內 雜貨商 治記商店 電話二六番

埔里街 中央貨物自動車株式會社 電話一三八番

草屯庄 洪火煉

新營街長 長野與吉

豐本自動車商會

五月六日開業 女給サービス百% 鹽水カフェー カピタン

鹽水街長 伊藤鎮三

鹽水 朝鮮亭

土木請負業 陳其清 新營

新營 游春園

新營 天外天

振興合資會社長 產業信用組合長 黃振隆

新營 東洋館 電話七番

新營郡理髮營業組合

新營郡漢藥種商組合

新營郡獸肉營業組合

花蓮港 高橋分店

花蓮港バス

東部信用組合

花蓮港信用組合

東臺灣無盡會社

日夏吳服店 本店 花蓮港 支店 [illegible]

花蓮港自動車組合

工藤歲三

博愛堂藥房

岩田仙吉

祝始政四拾周年記念

基隆市尹 桑原政夫

交通局技師 荻野泰男

基隆築港出張所 圖子武八

基隆 安詮院貞熊

基隆 松本晄吉

基隆 近江時五郎

基隆市 顏國年

株式會社 雲泉商會

基隆市入船町 製氷業 葉獅商會 電話一七八番

國際通運株式會社 基隆支店

基隆吳服商組合 組合員一同

基隆市旭町貳丁目六拾貳番地 合資會社 永泰公司 代表社員 林永[illegible]

羅紗 絹布 雜貨 基隆市義重町貳ノ壹貳 榮春洋行 楊[illegible]

炭鑛業 請負 蕭乞食 基隆市福川町壹貳八番地

基隆市義重町壹ノ壹 藤井疊店 電話[illegible]

本島を引揚げ南支南洋に進展し又は故山に歸臥せられんとする志士仁人は其地への圖書館に對し記念として多少に拘はらず圖書の御寄贈を希ふ 基隆 石坂莊作

基隆驛構內 合資會社 海陸赤帽組 電話七六二番

基隆市田寮町九五番地 臺灣肥料株式會社 電話二四番

瑞成公司 林朝寶 基隆

基隆醫師會

基隆市日新町 增田乙吉 電話八二五番

基隆市 港タクシー 電話五九六番

基隆劇場株式會社

基隆驛前 カフエーみどり 電話六二二番

基隆市 山內小藤二

基隆市撞球組合一同

基隆酒類煙草小賣人組合聯合會

臺灣酒類賣捌人組合基隆支部 玉理三造 前島知德 許海亮 黑木長助 余德興

臺灣煙草賣捌人組合基隆支部 尾辻國吉 阿部貞男 黃棟鄉 野上鶴四 緒方則繼

萬里庄長 黃棟鄉 助役黃火圳 會計役蔡再生

金山庄長 盧田俊 助役陳登輝 會計役李鴻洲

七堵庄長 中村忠三郎 助役王冬波 會計役王初學

貢寮庄長 白澤傳吉 助役張阿泉 會計役張秋水

雙溪庄長 鎌田清熊 助役藍江照 會計役許煥章

平溪庄長 渡邊源作 會計役林有財

瑞芳庄長 宮川三二 助役劉尚 會計役劉港

基隆市協議會員

林準二　長濱實　古山昌雄　辰巳宗太郎　田中庄吉　地主三郎　竹田義治　田尻與八郎　大倉一良　土居鶴雄　明比實平　松浦新平　吉原多三郎　橫井鋼一　潘榮春　謝國器　林應時　何鵬　王塗盛　葉松濤　顏欽賢（順序不同）

始政四十年を迎へて 港都基隆に大飛躍 下地寫眞館 基隆市天神町 電話九六貳番

基隆市宿屋組合一同

基隆市旭町三丁目五番地 臺灣水產販賣株式會社

鑛業家 邱淡水 基隆市明治町參丁目

基隆市 海陸物產貿易 謝裕記商行 恒裕商行 電話四五〇、七〇貳

基隆市 吳萬輝

基隆養成家畜會社 代表者 楊萬賜

基隆市 東元藥行

洋品雜貨 基隆市元町貳丁目 浪花洋品店 電話四八貳番

基隆市日新町四ノ參 葉水騫 電話七五[illegible]番

設計 施工 監督 ひちり屋建築事務所 基隆市大和町

基隆市入船町參丁目貳番地 大島鐵工所 電話七七[illegible]番

基隆料理屋組合

基隆港 水先人 組合事務所

基隆市寶町 雲源鐵工所 電話六貳〇番

基隆理髮營業組合 旭町二ノ一八

臺灣總督府交通局基隆海事出張所 松末勇

專門ノ食船釣道具店ハ 基隆市日新町四ノ九 桝田釣道具店 電話八五番

基隆市旭町參丁目六番地 丸善商會 田邊善吉 電話七貳四番

基隆市飲食組合一同

基隆市明治町壹丁目五番地 山ヨ運送株式會社 出張所 臺北、大稻埕、臺中、彰化

阿片小賣人 郭清泰 基隆市旭町貳丁目

基隆市日新町七丁目 英記商行 張文英 電話五四四番

本島一ヲ誇ル基隆ノ キング ビリヤード（玉臺五臺） ビヤホール（テーブル二十卓） 遊んで面白い所 基隆市日新町四丁目四番地

基隆市義重町三丁目十五番地 基隆電氣商會 電話五二一番

基隆市義重町一丁目 肉彈屋

円山洋服店 基隆市元町二ノ[illegible]

基隆市堀川町 石井鐵工場

內外物產 委託問屋 福隆公司

基隆市阿片小賣組合

基隆驛前 永三旅館 電話四八五番

基隆市義重町二ノ八 越智兵五郎

基隆神社 原友次

基隆港 石炭採掘販賣 中臺商事株式會社 電話 事務所 貯炭場

發賣元 天下名車 ブリヂストン 福井治雄基隆支店 月賦販賣ノ便法アリ 基隆市日新町四ノ壹 電話七五七番

基隆市 林兼商店基隆支店

基隆市日新町四ノ一 カフエーるな 電話九七二番

基隆市 カフエーボタン 本店 支店

洋形和形 發動機船新造修繕專門 基隆市社寮町三ノ一 井手本造船所 電話五八六番

基隆貸座敷業組合

瑞芳庄 庄長 宮川三二 助役劉尚 會計役劉港

協議會員 後藤章司 佐伯鄉介 沖亮吉 翁山英 黃仁祥 鄭愿趖 吉永勘一郎 黃烟篆 黃水池 顏現林 桑原貞造 李建興 劉明 黑木長助 簡松霖 林順好 秋山剛 陳富田 王文松

金瓜石 黃仁祥

瑞芳鑛山 翁山英

基隆郡瑞芳庄小粗坑 金厚利公司 理事長 周錦樹

基隆郡瑞芳庄大粗坑 振山金鑛部

金瓜石 簡深淵

金瓜石 呂阿火

基隆郡瑞芳庄水湳洞 請負業 邱石發

基隆郡瑞芳庄水湳洞 酒、煙草、日用雜貨、化粧品類、其他各種 裕豐商店

基隆郡瑞芳庄 瑞芳鑛山 興行場 昇平座

基隆郡瑞芳庄 瑞芳鑛山 大林公司 陳天註

基隆郡瑞芳庄 瑞芳鑛山 高九登

基隆郡瑞芳庄 瑞芳鑛山 吳火土

基隆郡瑞芳庄 瑞芳鑛山 曾有富

臺陽鑛業株式會社 瑞芳鑛山 調進所 周在坤

基隆郡瑞芳庄 瑞芳鑛山ホテル 張福

基隆郡瑞芳庄 芳隆鑛業合資會社 代表者[illegible]

金瓜石水南洞出張所（順序不同）

伊藤勇治郎 本店 東京市

今道組出張所 本店 臺北市

石井愛二 本店 臺北市

岡田組出張所 本店 臺北市

田村組出張所 本店 臺北市

菊池詳三郎 本店 茨城縣日立鑛山芝內

高田昌三 本店 茨城縣日立鑛山芝內

廣木組出張所 本店 基隆市

許金財 七星郡內湖庄

淡水街長 鳥井勝治 電話一二二番

臺灣淡水港 株式會社 施合發商行 電話

臺灣淡水港 老義發材木商行 代表者 李好生 電話五四番

淡水街 有限責任 淡水信用組合 電話五貳番

淡水街 保證責任 淡江利用購買販賣信用組合 電話一一七番

淡水街 會席御料理 山口亭

淡水海水浴場 和樂園 淺野タツ 電話貳七番

淡水海水浴場 街營休憩所 川北作兵衛

有限責任 鶯歌信用購買販賣利用組合 理事長 陳阿玉

海山輕鐵株式會社 三峽

保證責任 三峽信用利用購買販賣組合

石炭販賣 コークス 三峽炭礦

保證責任樹林信用利用購買販賣組合 組合長理事 黃純青

新莊街 黃淵源

石炭採掘及販賣 和興炭鑛公司 代表者[illegible]

憶ひ起す

四十年前の今日
宮殿下の台臨を仰いで晴の始政式！

日清戰爭の結果臺灣が我が領有となるや、當時其の地にあつて暴威を恣にして居た清の殘留兵及び匪賊一掃の爲め、我が討伐軍の先鋒をなせる比志島義輝大佐指揮下の混成枝隊は、二十八年三月五日宇品解纜、一路南進して三月二十五日、澎湖島の東南なる裏正角灣に上陸、忽ちにその地を占領し、征討軍の主力たる北白川宮能久親王殿下御指揮の近衛師團大修混成第一旅團は、五月二十二日旅順港を發し、越えて五月二十六日沖繩縣中城灣に集合し、茲に臺灣總督樺山海軍大將の一行に合し、總督より戰時諸般の事を委ねられ、翌二十七日午後より夜にかけ、全隊の乘船十隻は舳艫相連ね、松島艦の二艦に先導護衛され、三貂角の灣内に進航、上陸直ちに敵兵を追ひ拂ひ六月三日基隆大攻擊、之を占領し、十一日師團司令部を臺北に移し、總督は十四日ここに入つた

六月十七日、永久に記念すべき臺灣始政式が擧行され、臺灣統治の基礎を固め、征討軍は南進、後援の第二師團と合して、老大の強敵を掃つて遂に臺灣全島を平定した

× ×

元來臺灣には危險な匪賊が出て清の治下二百餘年、未だ嘗て之を討滅したことはなかつた。匪賊は實に臺灣特有の名物で、下の關に於ける清和談判席上に於て、李鴻章は伊藤全權に對し（臺灣には三年小亂五年大亂」の諺があつて實に亂治の地である）と話つた

匪賊は絕えず橫行し、或ひは良民を殺害し、或ひは財物を掠め、官府に反抗するなど、暴威を恣にして居た。我が領臺當時は清の殘留兵の反抗に附和雷同し、全島皆な匪賊の勢を以て匪賊は到る所に跳梁したのであるから、清朝時代のそれにも勝る匪賊の猖獗を呈したのも止むを得なかつた

けれども、我が征討軍の勇戰奮鬪の結果、僅か半年の間に、全島平定を見るに至つたのは大成功であつた

然し其後匪賊に早替りした敗殘兵は、各地方の匪賊と呼應して、狡猾な陰謀を企むるに至つたので、總督府は先づ匪賊に全力を注ぎ、明治三十五年に至り全島の匪賊漸く衰じ、茲に數百年來跳梁を極めた匪賊も、殆ど跡を絕ち、爾時折々小匪賊はあつても、忽ち討滅された、近年の平和を見るに至つた

× ×

領臺後我が國は、臺灣の政治・衞生、交通其他幾多の文化施設に努力し、殖産興業を指導奬勵し、蕃人の撫育教化に努めた結果、今や全島は文化に霑ひ、太平を謳歌し、模範的外地と讃へられるに至つたのであるが、その源は實に明治二十八年六月十七日の臺灣始政式に始まるのである。依つて今當時に於ける始政式の模樣を想起して見よう

閱兵式と祝賀會

先づこの日午後二時より閱兵式が行はれ參列諸兵は、在臺北の近衞步兵、第一、第二聯隊、工兵、機關砲兵、騎兵等で、步兵の四列側面行進、騎兵の二騎縱隊、砲兵の縱列行進縱隊等、其の壯烈なる有樣は、我が皇軍の武威を四隣に輝かして餘りあるものがあつた

午後四時より現在の公會堂敷地當時の總督府廳舍に於て祝賀會が開催され來會者は近衞師團長北白川宮能久親王殿下を始め奉り、陸、海軍將校及び文官、在留外人、臺北の本島紳士行せて實に數百名であつた

式は軍樂隊の「君が代」の奏樂に始まり、先づ次の如き總督の式辭、師團長宮殿下の御祝詞、外人を代表しての深水英國領事の賀詞があつた

武官及來賓市民諸君、今や我が國戰勝の結果に依りて得たる臺灣全島及澎湖列島は全く大日本帝國の新版圖に歸し、皇化に浴するの地となれり、吾輩叨りに聖明の寵遇を辱うし、名譽ある臺灣總督の大任を拜受し、來りて本島綏撫の責に當らんとするや、殘留支那兵は、猶干戈を弄して我に抗拒したりと雖も、幸に之を一擧の下に掃蕩し、本日茲に臺灣始政の祝典を擧行するに至れり、吾輩今より益々心力を勵勵して、本島居民の安寧を保ち、幸福を進め以て聖明の殊恩に奉答せむとす

師團長殿下御祝詞

本日臺灣始政の祝典に際し、能久列席の光榮を得、實に欣喜に堪へず、樺山總督閣下は、本島統治の大任を帶びて此に在り、其能く良果を他日に收めんことは能久の固く信じて疑はざる所なり、能久ここに謹んで諸員と共に、我が天皇陛下の萬歲を祝し併せて總督閣下の健康を祈る

英國領事賀詞

吾等外人は、今回始めて總督閣下に謁し、本日の盛典に列するの光榮を得たるは、深く感謝する所なり、吾等は將來永く此土に駐する者なれば願はくば閣下の厚庇を得らせんことを茲に謹みて閣下の健康を祝す

終つてから奏樂裡に祝宴に移り天皇陛下の萬歲を三唱し、臺灣人の舞樂、演劇等もあつて盛會の裡に芽出たくこの始政式を終つたのである

樺山總督の式辭

近衞師團長殿下、各國領事、文

「臺灣」の名を得るまで
……その變遷の跡……

わが臺灣が「臺灣」と云ふ名を得る迄には、地名に幾多の變遷を重ねて居る。

先づ今を去る一千三百數十年前漢族が本島を「琉球」と稱し、我が國にあつては、三百年前「高砂」又は「高山國」と呼び、其他「塔伽沙古」「多加佐古」等の文字を用ゐたが、何れも「タカサゴ」と讀ませた。我が文祿年間以來は「タカサゴ」と呼ぶと共に「タカサグン」と稱した。

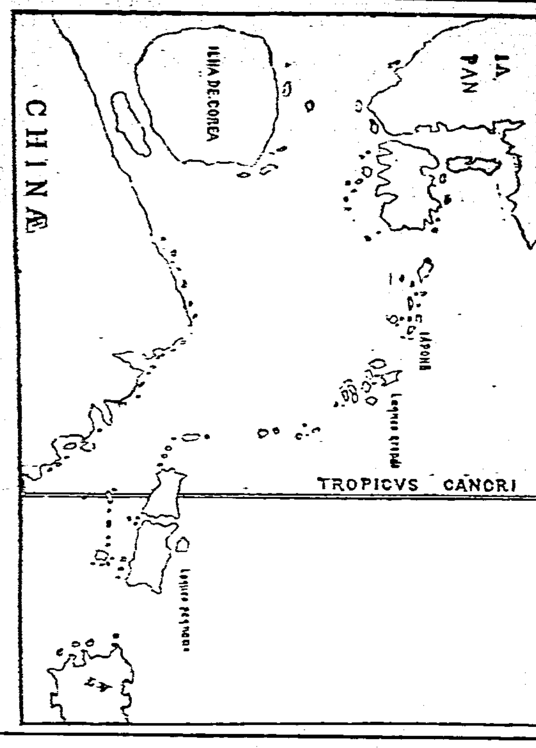
歐洲人が、始めて支那海を北に進み、臺灣海峽を通過したのは、十五世紀の中葉であつて、其の時以來、臺灣は美麗島の意を以て「フオルモサ」の名が與へられた。

「臺灣」なる名稱は、三百餘年前明季萬曆の頃漢族の與へたもので、その後之が廣く用ゐられて今日に至つたのである。

其の他、臺灣に關する名稱には次の如きものがある。

東都、東寧、北海、東番、東鯷、バンチヤー國、迦知安、レクエアー、度蘇島、哆囉滿（トオロヲボアヌ）波羅公、東鯷、夷州、臺灣島、常世島

然し以上の名稱は決して一般的のものではなく、單に一時的な統治者の都合に依つて與へられたか、文書敍述せらるるもの、假の名詩文に現はれた名稱に過ぎない。



古い臺灣地圖　當時臺西平原の中部を橫斷する百餘の河溝、現今見るところに散在し汗々たる白水澤なきの外觀が、宛から小水道の如き姿をしてゐたので、臺灣海峽を往來してゐたリンショテンは臺灣を二個の島嶼に描き、北をフオルモサ、南を小琉球と名付けた。西暦一千五百九十九年のことである

品質本位

花王石鹸（カオーセッケン）

永年の御用命を感謝し奉る

內務省殿
陸軍省殿
海軍省殿
商工省殿
遞信省殿
鐵道省殿
東京帝國大學醫學部殿
京都帝國大學醫學部殿
東北帝國大學醫學部殿
九州帝國大學醫學部殿
北海道帝國大學醫學部殿
大阪帝國大學醫學部殿
京城帝國大學醫學部殿
新潟醫科大學殿
岡山醫科大學殿
千葉醫科大學殿
金澤醫科大學殿
長崎醫科大學殿
熊本醫科大學殿
名古屋醫科大學殿
滿洲醫科大學殿
慶應義塾大學醫學部殿
東京慈惠會醫科大學殿
日本醫科大學殿
東京女子醫學專門學校殿
近衛師團各聯大隊殿
第一師團各聯大隊殿
第二師團各聯大隊殿
第三師團各聯大隊殿
第四師團各聯大隊殿
第五師團各聯大隊殿
第六師團各聯大隊殿
第七師團各聯大隊殿
第八師團各聯大隊殿
第九師團各聯大隊殿
第十師團各聯大隊殿
第十一師團各聯大隊殿
第十二師團各聯大隊殿
第十四師團各聯大隊殿
第十六師團各聯大隊殿
第十九師團各聯大隊殿
第二十師團各聯大隊殿
朝鮮軍各隊殿
臺灣軍各聯大隊殿
關東軍各隊殿
支那駐屯軍各隊殿
南滿洲獨立守備隊殿

全國各衞戍病院殿
陸軍各航空兵隊殿
陸軍各學校殿
陸軍造兵廠各工廠殿
陸軍兵器本支廠殿
陸軍科學研究所殿
陸軍軍馬補充部各支部殿
千住製絨所殿
陸軍糧秣廠殿
陸軍被服廠殿
陸軍衛生材料廠殿
陸軍各偕行社殿
橫須賀鎭守府殿
吳鎭守府殿
佐世保鎭守府殿
舞鶴要港部殿
大湊要港部殿
馬公要港部殿
鎭海要港部殿
旅順要港部殿
第一艦隊殿
第二艦隊殿
第三艦隊殿
練習艦隊殿
各警備艦隊殿
橫須賀海兵團殿
吳海兵團殿
佐世保海兵團殿
上海特別陸戰隊殿
橫須賀海軍病院殿
吳海軍病院殿
佐世保海軍病院殿
各要港部海軍病院殿
海軍各學校殿
海軍各航空隊殿
海軍各工廠殿
海軍技術研究所殿
海軍燃料廠殿
海軍各水交社殿
海軍各下士官兵集會所殿
海軍各共濟組合殿
帝國在鄕軍人會本部殿
東京鐵道局殿
名古屋鐵道局殿
大阪鐵道局殿
門司鐵道局殿
仙臺鐵道局殿

札幌鐵道局殿
朝鮮總督府鐵道局殿
南滿洲鐵道株式會社殿
鐵道省共濟組合各購買部支部殿
朝鮮總督府鐵道局消費部殿
臺灣總督府遞信購買部殿
關東廳職員各購買殿
滿鐵社員消費組合殿
傳染病研究所殿
理化學研究所殿
東京工業試驗所殿
朝鮮總督府各道立醫院殿
臺灣總督府各醫院殿
關東廳各醫院殿
樺太廳各醫院殿
警視廳各病院殿
北海道廳各醫院殿
各鐵道病院殿
各府縣立病院殿
全國各地公市立病院殿
日本赤十字社各病院殿
財團法人濟生會各病院殿
支那各地同仁會各醫院殿
東京橫濱同愛記念病院殿
財團法人和泉橋病院殿
聖路加國際病院殿
全國各產院乳兒院殿
各地方專賣局殿
日本製鐵株式會社各購買殿
日本製鋼所殿
三井鑛山株式會社各購買殿
三菱鑛業株式會社各購買殿
住友合資會社各工場購買殿
日本鑛業株式會社各購買殿
古河鑛業株式會社各購買殿
鐘淵紡績株式會社各購買殿
東洋紡績株式會社各購買殿
富士瓦斯紡績株式會社各購買殿
全國各紡績工場殿
王子製紙株式會社各購買殿
全國各製紙工場殿
淺野セメント株式會社各購買殿
日本石油株式會社各購買殿
日本海員掖濟會殿
全國各造船所殿
全國各消費組合殿
全國各學校購買部殿
（御芳名次第不同）

純粹度九九・四%　東京・花王石鹸株式會社長瀨商會・大阪　正價一個十錢

仁燈かかげて四十年
惡疫を殲滅するまで
臺北醫院の輝ける歴史

始政四十年、臺灣統治の輝やける歴史と共に、仁燈を高くかかげて人類の爲に雄々しくも美はしく、側面から臺灣文化の上に大いなる貢獻をなし、始政と同じく創立四十年の顯著なる足跡を遺して居るのが臺北醫院である。

×　×

島の都、臺北市の中央、臺北新公園、總督官邸、三線道路をへだてて日本赤十字社臺灣支部醫院、臺北州廳、中央研究所等々何れも臺北に於ける有數の建物に圍まれて、總敷地二萬三千九百四十餘坪の廣大なる地域を擁し、前庭には南國を象徴する椰子樹がすくすくとのび、枝をひろげ、強い朝日、輝しい夕日、不斷に襲ふ驟雨を平氣で受け、その間より爽快な濃緑を誇り、中庭、後庭には、數多の大常緑樹が氣根を思ひのままにのばし、常に茂げて、熱帶の如く南國に伸む人々の安らかな眠りを守る。この醫院こそ、宏壯なる大輪廓をもつ臺灣總督府臺北醫院の名にふさはしいものである。同醫院は明治二十八年五月、臺灣が我が領土に歸し、これに後れること一ケ月、即ち同年六月、臺灣病院として、臺北大稻埕に創設されたのがその最初で、官設病院の設立は同院をもつて嚆矢とし、領臺直後の大いなる使命をもつて創てられたものである。

明治三十年五月、臺北醫院と改稱し、三十一年七月現在の場所に移轉したのである。

領臺當時は完全なる醫療の途が開けて居なかつた爲に、マラリアその他の所謂風土病が猖獗をきはめ流行病、種々の惡疫は蔓延の極に達し、如何ともほどこし樣がなく、ただ親兄弟が苦しみ世の無情を呪ひながら死んでゆくのを見守らねばならないと云ふ、悲慘な状態であつたのである。

勿論、當時開業醫はあつたであらうが、醫藥も思ふ樣には得られず醫術も非常に幼稚であつた醫藥に餓ゑて居る時に、官設臺北醫院として總べて完全な設備と醫術とが與へられた時、人々は如何に喜びの聲をあげた事であらう。

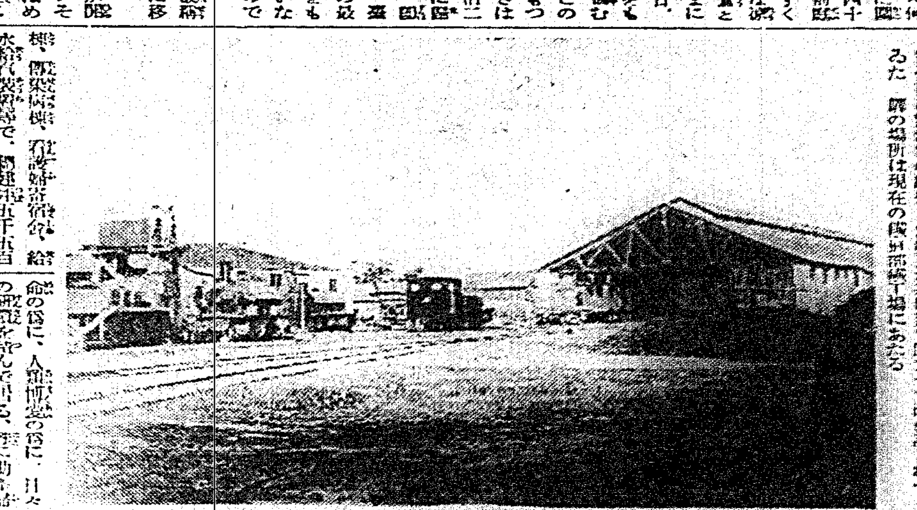
本院の現在の建築は、明治四十年度から大正十年度にわたり、繼續事業として竣工されたもので、その重なるものは本館、外來患者診療所、各事務所、傳染病棟、看護婦寄宿舍、給水設備、製圖等で、總建坪五千五百餘、價格二百七十一萬九千餘圓の巨費をもつて建てられたものである。入院患者も開院當時とは實に比較にならない程で、例へば明治三十年度には、九萬七千餘であつたのが昭和八年度の延人員は七十一萬餘に達して居る。

院長は十一代を經て、大正十一年總督府技師、中醫技師、醫學博士倉岡彦助氏が就任し、今日に至り醫務には夫々斯界の權威者、醫博等を醫長とし、專門的に診療にあたり患者の信望を集めて居る。

倚同醫院には患者の診療の外に看護婦、助産婦講習所を設置してゐる。毎年全島からの入學希望者が殺到し、殊に公學校卒業生の成績の優秀な者が、毎年非常に多く、看護婦、助産婦として女子本來の使命の爲に、人類救濟の爲に日夕懸命の努力を積んで居る、殊に助産婦は、――本島には昔から「先生媽」と稱し、助産を業とする者があつたが、これには種々の恐ろしい迷信が行はれて居り、爲に姙産婦、嬰兒等の罹病率、死亡率も意外に多く、本島文化の上に大きな禍となつていたものであるが、明治四十年、規定が發布されてから今日まで、正規の學科課程を經て實地について正しい技術を得て助産婦として開業する者が多くなつたので、昔の迷信を一掃する事が出來たのである。

今や綜合病院として、全島に官立醫院十四、公立一〇、私立百七十七、醫師官公立醫院奉職者、開業醫、公醫をあはせて千四百六十六、醫生二百八十一、助産婦一千五百四十二を算し、風土病種々の惡疫も今は全くその影をひそめ臺灣は樂土として海外にその名もあまねく知られてゐるが、この大いなる臺灣文化の建設、殊に密されたる輝しい四十年の歴史の前に何人も敬意を拂はずには居られないであらう。

明治三十年頃の臺北醫院


領臺當時の臺北停車場　大稻埕にあつて領臺前は劉銘傳の經營した鐵道が基隆新竹間六十一哩敷設されてゐた　驛の場所は現在の鐵道部鐵工場にあたる

雜誌紹介

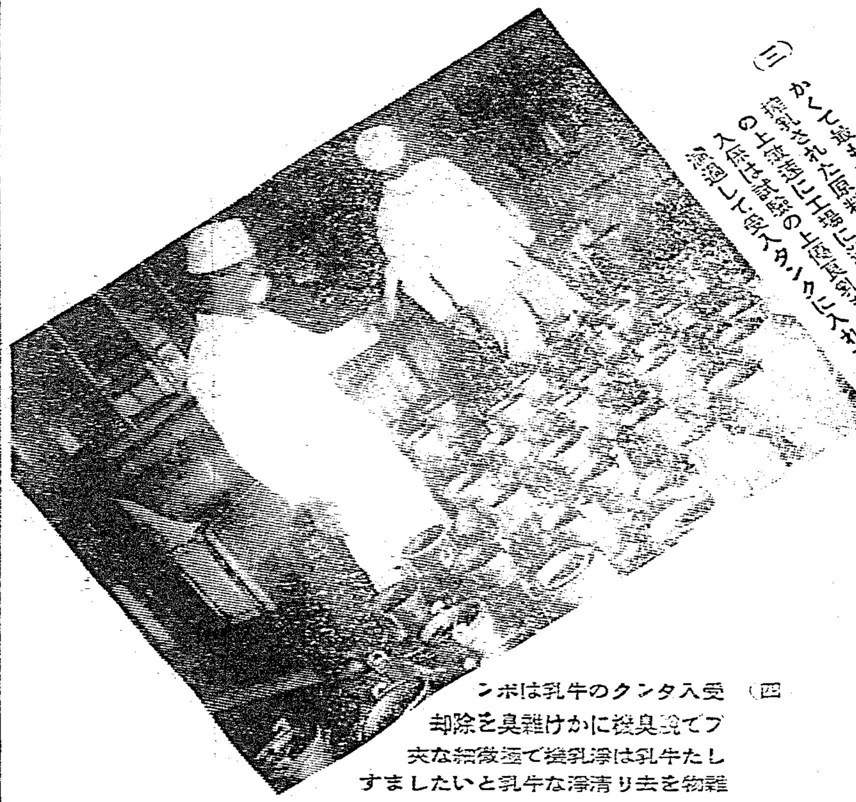
▲改造公論（六月號諸家等特集）林語堂の頭に行を送る（東洋外交）發展觀其に大衆心（早坂二郎）議會論と國民の覺悟（加藤勘十）非常時局と政治關係者の任務（齋藤隆夫）商業問題に就て（松岡洋右）天皇政治と議會日本（松村謙三）政黨改革運動の役割（芦田均）思想及文苑（井上秀雄）其他　定價三十五錢東京市麹町區六本木町三十二（其社）

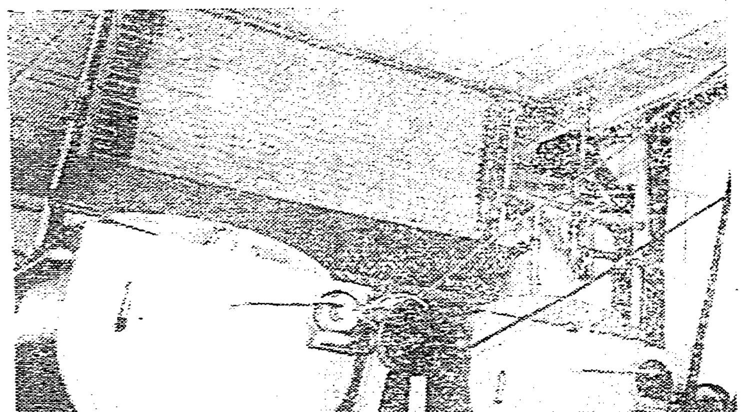
▲心靈と人生（六月號）心靈講習會所感　淺野和三郎、心靈讀本（淺野和三郎）人類の起源と進步的宗教（福田耕花）其他（定價二十錢）横濱市鶴見區鶴見町一三六心靈科學研究會

―母乳の代用として代表的優良品―
明治メリーミルク

（一）原料乳の生産區域は畜牛の樂土北海道、岩手縣及び房州で何れも廣濶たる山野滋養豐富なる緑草に惠まれて乳牛はいづれもその健康を享樂して居ります

（二）この健康乳は特有の衛生設備完全で空氣清澄水質豐富而して輸送至便の地に特設されたる共同搾乳場で搾乳されたるため四季を通じて新鮮且つ純良です。

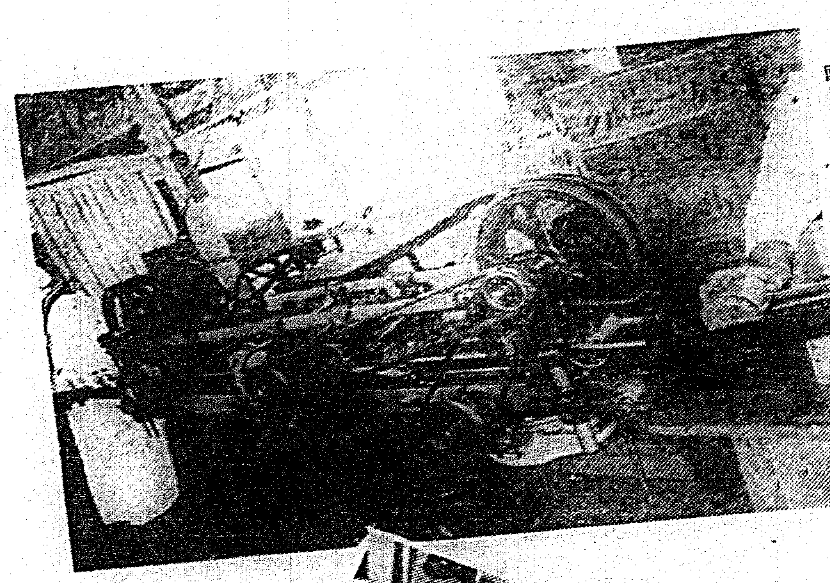

（三）かくして最も衛生的に搾乳された原料乳は冷却されて工場に送られ工場に於て嚴密の上優良乳と認められたものだけが受入タンクに入れられます

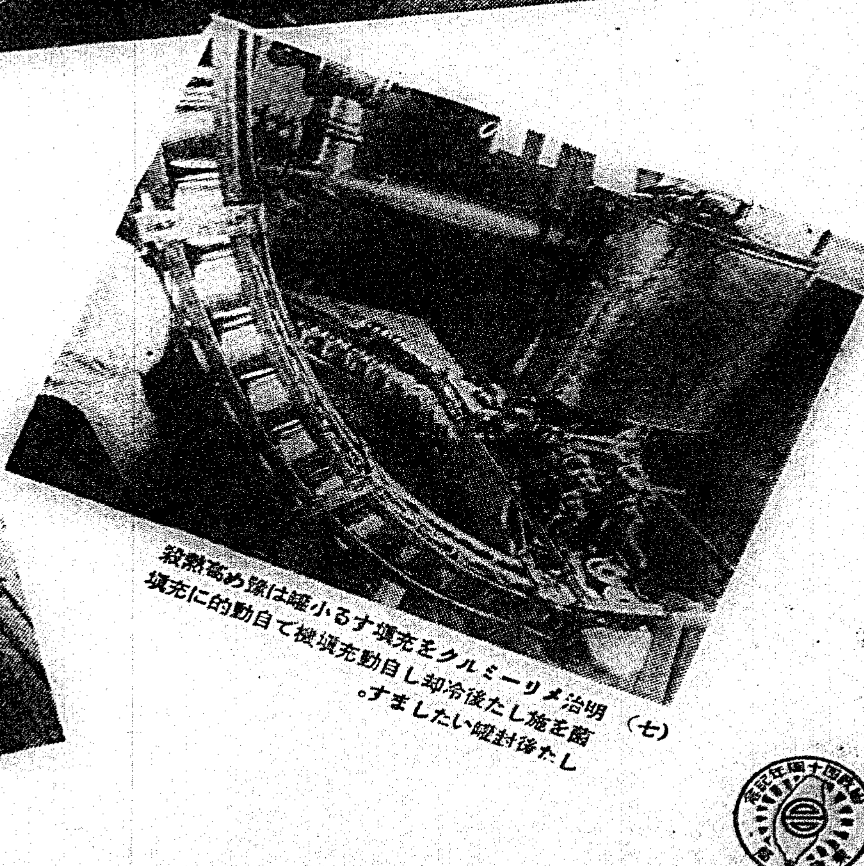

（四）受入タンクの牛乳はポンプで送り脱臭機にかけて雜臭を除却した牛乳は淨乳機で微細な夾雜物を去り清淨な牛乳といたします

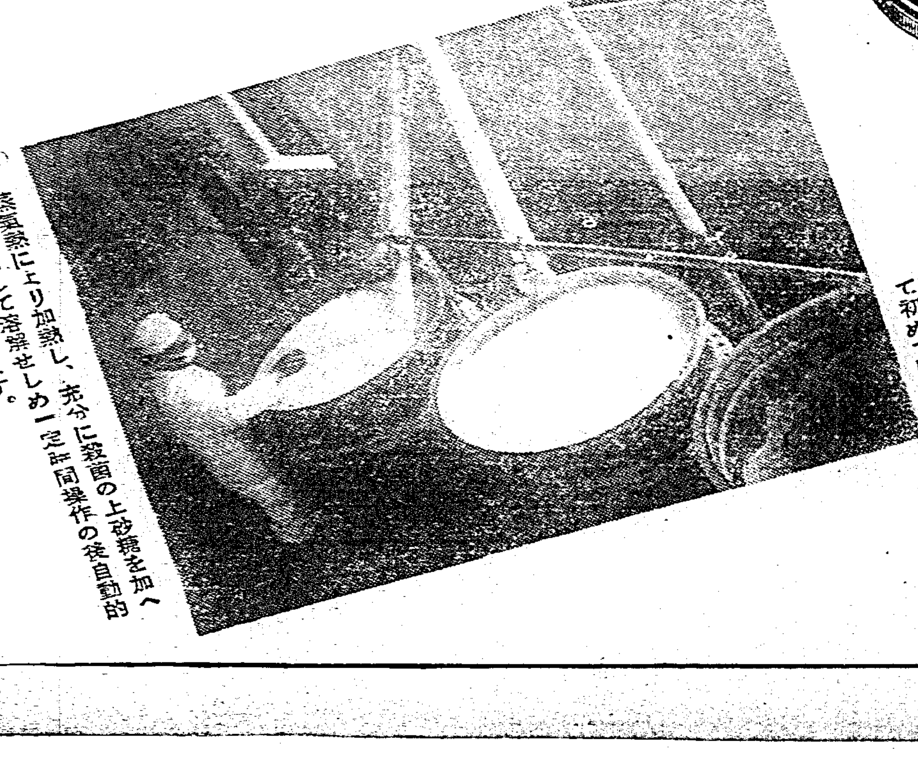
明治製菓株式會社

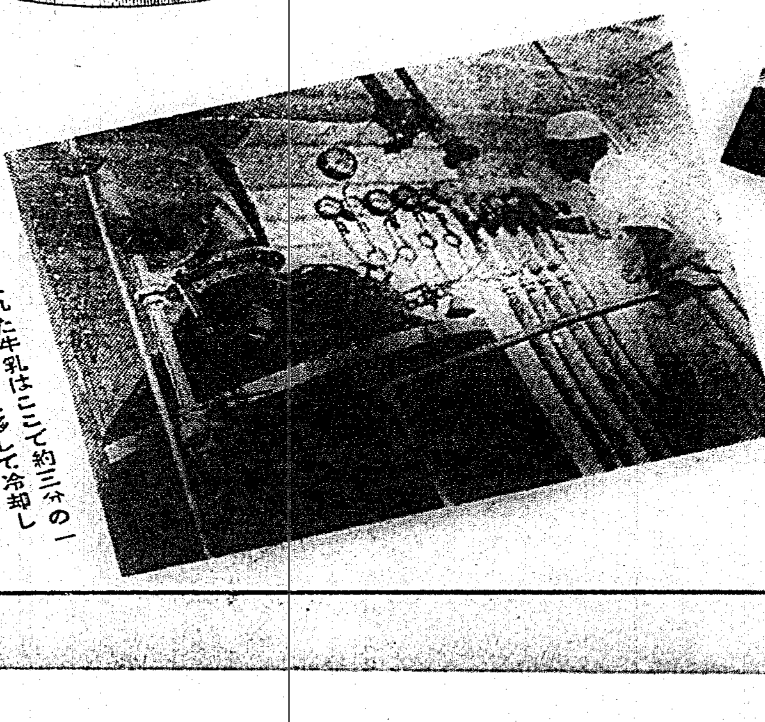
理化學研究所
鈴木農學博士　推奬

●乳兒の哺育に
●兒童の保健に
●姙産婦の榮養に


（八）函詰めにされた明治メリーミルクは自動運搬機で釘付機に運ばれて完全に荷造りされたのち日本全國の販賣店を通じて皆樣の御家庭へと參ります。


（七）明治メリーミルクを充填する小罐は殘らず高熱殺菌を施したし後冷却し自動充填機で自動的に充填した後封緘いたします。


（五）蒸氣熱により加熱し、充分に殺菌の上砂糖を加へよく煮沸して溶解せしめ一定時間操作の後自動的に眞空釜に送られます。


（六）眞空釜に入れた牛乳はここで約三分の一以上に濃縮され冷却機に移して冷却して初めて明治メリーミルクとなります

始政四十周年記念

東京支局扱

贈つて喜ばれ……
受けて重寶な……
御贈答品はこれです！

資生堂石鹸
新美術罐入

二色刷の麗しい熨斗紙付
十ケ入・一円五十錢
六ケ入・九十錢

資生堂銀座石鹸
新美粧函入　贈用向で 御徳用な

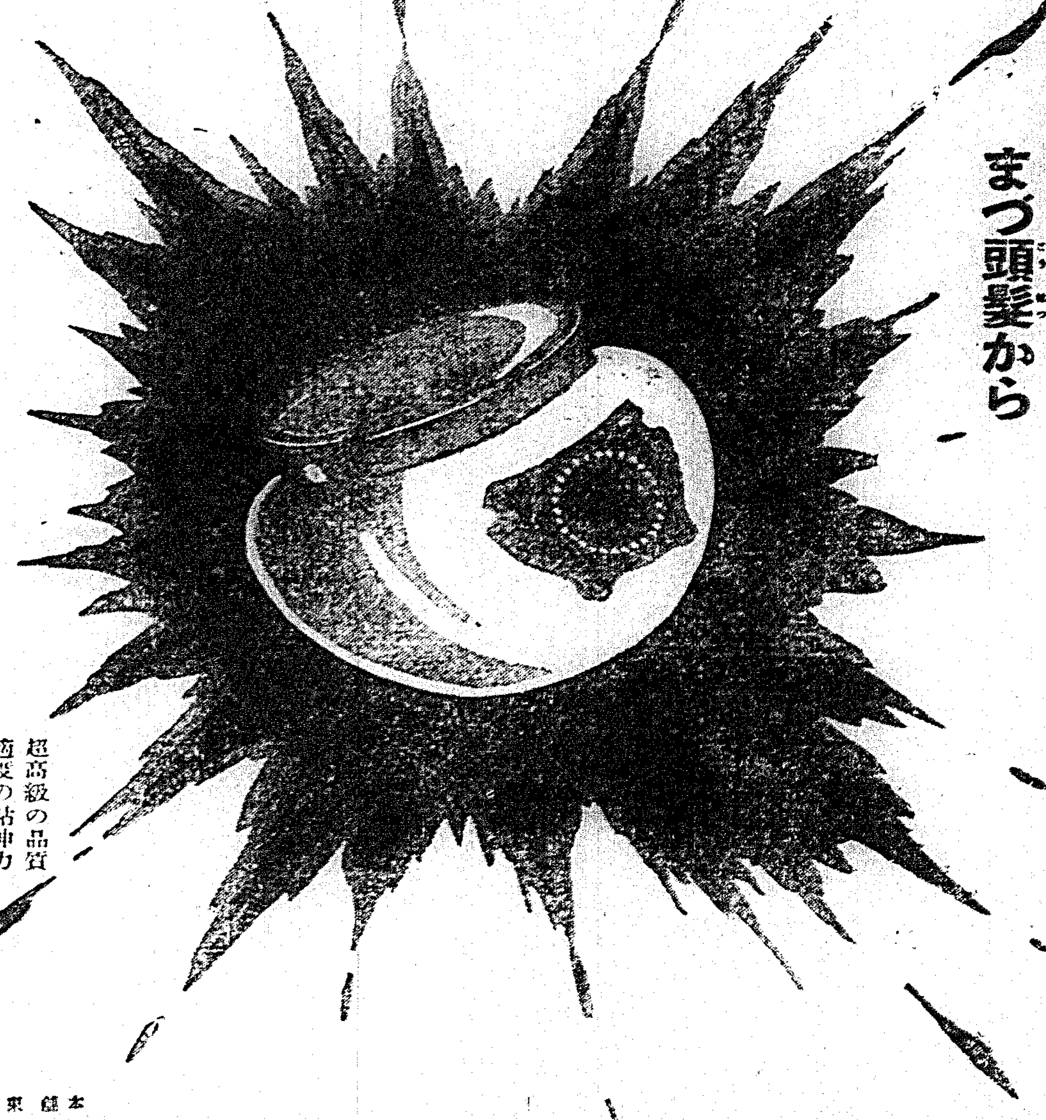
――美しい熨斗紙付――
六ケ入・六十錢

東京 資生堂謹製

純植物性
井筒ポマード

整容は……
まづ頭髪から

爽やかな髪の感觸
ノーブルな香ほり



超高級の品質
適度の粘伸力
美髪と養毛價値百％
石鹸にサラリと落ちて洗髪頗る容易

定價 ¥.75 ¥.50 ¥.30

御携帶用チューブ入金參拾錢

本舗 東京人形町 井筒

白毛赤毛染
君が代

純粋の日本美は
眞の黒髪から

どんな白毛赤毛でも
髪洗ひせずすぐ染る
永くはげず毛も傷めず
くせ毛ちゞれ毛が直る
是非一度御試用下さい

現代第一の
評判です

▼各藥店に
有ります

定價
新製 二十錢
粉製 四十錢
液製 五十錢

君が代本舗
東京淺草藏前
山吉商店
電話淺草 二八八六・二八五〇番
振替東京一九三七二番

ブリウブラックインキ創製百周年記念　インキ百年祭祝賀

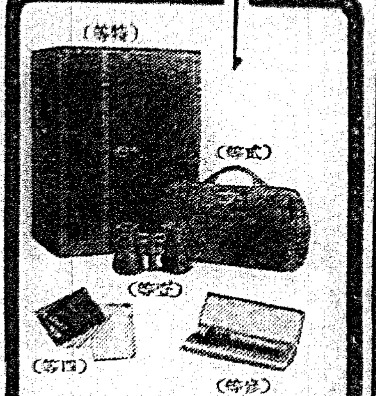
インキ百年祭

御愛用家御優待
大景品附特賣

此の福運は……
どなたの御手に……

破天荒なる
此の大景品

特等金側製置時計から双眼鏡、ボストンバッグ、萬年筆等澤山當ります末等セルロイド製メモにも御買上の際御呼全部差上……



（特等）（貳等）（壹等）（參等）（四等）

◈特賣總數 貳百八拾八萬壜限り◈

本特賣ライトインキ貳オンス壜御買上毎に必要不變なるセルロイド製七曜表附四枚綴メモ帳を別無く四等景品として添附し更に抽籤に依り特等より參等迄の景品を呈上致します

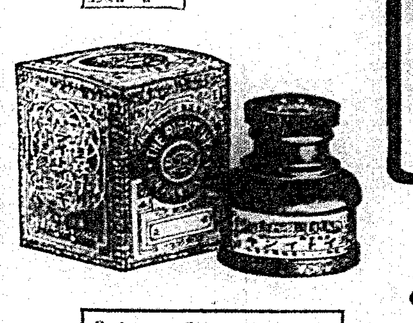
（抽籤券は壜毎にメモと共に添附してあります）

御愛用家景品		
特等	金側特製置時計	八百個
壹等	服部時計店特製上等双眼鏡	壹千六百個
貳等	松崎特製ボストンバッグ	四千個
參等	特製ライト萬年筆	壹萬貳千本
四等	セルロイド製七曜表附四枚綴メモ	貳百八拾八萬册

景品にはアリウ色の番號がしてあります

抽籤期日 昭和拾年七月一日
當籤發表 同年七月十日
東京・大阪 一流新聞に發表

全國の文具店にあり
賣切れぬ中に……
直に御買上げ下さい……



2オンス入スポイト付 正價30セン

本舗 東京 篠崎インキ製造株式會社

ライトインキ

ブリウブラックインキが英人ステイフエンス氏に依りて創製されてから恰度百周年になります。それを記念する爲の祝賀大景品附特賣であります。

臺灣各地を徘徊した不思議な托鉢僧
古老が語る領臺秘話

ジュノウ號の異人殺、怪ヨットの出現等、非常時にふさはしい國際的スパイの暗躍を思はせる昨今の叢話には、哈爾賓の露と消えた沖、横川二烈士のやうな悲壮な歴史こそないが日本民族の人情美に富むゆかしい物語が秘められてゐる。

これは始政ここに四十年、段々少數に成つて行く本島人の老人の間に漸くその片鱗を傳へられて來た物語なのである。

日清戰爭の風雲が、東亞の天地を鎖し覆して居た時であつた。臺灣は未だ今日のやうに交通に惠まれてゐなかつたから、全く讀んで字の如く絶海の孤島であつた。從つて當時の島人は國際的情勢にうといことは勿論であつた。

けれども自然の變化に敏感な彼等は眞紅な夕陽の空を棚引く入道雲の去來の樣を見て、心竊に今年の無事を祈り來年の平和を念じてゐた。

「さあ大變な年だ、何か天災地變が起らぬとも限らない、とにかくあんな怪夜樣が續いてゐるのだ。陽がとつぷり暮れた時、觀音山の上をよく見たまへ、東から北へ向つて、旣に白い紋が見え、それが段々大きくなつて、帯のやうに見えるではないか。彗星の現はれは決してよい前兆ではありませんぞ。昔フランス軍艦の基隆砲擊や、漳州人と泉州人の種族戰爭の直前にも、今のと同じ樣な自然的怪異があつたさうだ」と若い本島人が老人を囲んで、晩夏の暑さを忘れ夜の更け行くのもかまはずに止度もない噂をし合つてゐた。

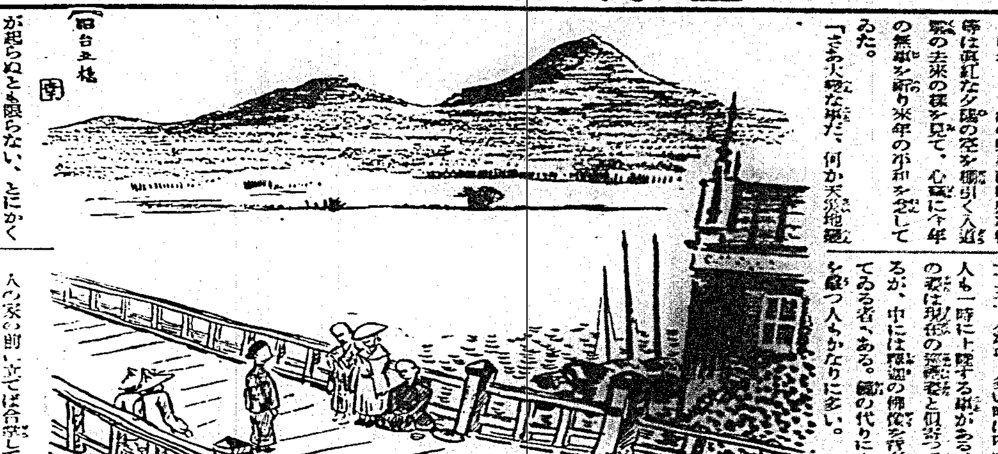
× ×

例年ならば、子供さらひとして恐れられてゐる湖南省や、湖北省山東省の支那ジプシーたる流浪のホンヒヤンが、洪水のやうに臺灣に流れて來る季節ではあつたが、今年は又何と言ふ年であらうまだ渡つて來るものが一人もゐない。

その代りに、町や村を問はず到る處に、托鉢の若い和尚が人の目を引く程右往左往してゐるのだ。「和尚は四方で食ふ」(家で食べずにあちらこちらで食べるの意)と言ふ諺がある通り、誰もその振舞に對して好意を表すやうなものがない程、種族的存在であるらしい。

故に彼等は、どこのものであるかは全く知られてゐないが、敢てこれを詮索するものもない。

ただ淡水から淡水へ入港する戎克、海龍、料羅沙の船便ごとに、二三十人から、多い時は四五十人も一時に上陸する事がある、そるが、中には現代の托鉢僧と似寄つてゐる者もある。紙の代りに木魚を纏つ人もかなりに多い。



人の家の前に立てば合掌して經を誦し鈴を鳴らすか、布施の有無は一向意に介さないやうである。

そして直ぐ次から次へと巡錫して行くのである。

又誰かが、何かを尋ねてもただ默々としてゐるばかりで、誰も彼等の答を聞いたものがない。そこで島民たちは「ハテナ、今度の和尚さんは揃ひも揃つて啞者かもしれぬぞ」と笑ひあつた。

× ×

またこれらの和尚が、何時何處で夜宿するかと好奇心を起して探らうとした人もあるが、一向その消つてゐる所がハツキリしない。けれども或の話は樹の上(今の臺北市では今の臺北樹木樹になつてゐる)たり、廟の前に、何時間も續けて坐禪したり、或は立ち停ら合掌して木魚を鳴らしてゐるのである。

それからまた不思議なことに彼等が物を食べてゐるのを見たものもない。そこで「和尚さんは霞を食つてゐるんだ」と言ふ人もあつた。

かれこれ、不思議がつてゐる間に [illegible] 「おそらく

なつた」と皆が氣がついた時、今まで縱横に俳佪の姿で埋められてゐた町や村は元のやうな平凡な狀態に立ち返つてゐた。彼等は何時のまにか、大水が退くやうな速さで姿を消してゐたのである。

× ×

それから二三年の月日が流れた明治二十八年六月十四日。破竹の勢を持つた皇軍が臺北城に入城した。が城の四隅には未だ土匪が跳梁してゐた。全く血腥い時である。

或る日一人の將校が、數名の兵卒を引率して、大稻埕方面へ前進した。大稻埕は城の北にあつて大稻埕と士林との間を繋ぐ部落である。士林には土匪が割據して皇軍に手向つてゐた頃であるから、大稻埕方面への前進は親衛行軍か、左も無くんば [illegible] 行軍かと、人々は怪しまずにはゐられなかつた。

所が意外なことにその將校は、思に名望家の張某の家を訪れたのである。この突然の來客に、驚をわくくさせた張某の家族は、生に生きた心持もなかつた。ぶるぶると身をふるはせ乍ら、辛うじて主人の張は前年既に他界したことを申し述べることが出來た許りである。

すると、その將校は丁寧なる悔やみを云つて辭去した。それを聞いて安心した家族は、初めて將校の美しい心に、今迄警戒の念を溶かしたのである。よく聞いてみると將校はかつて數年前に、臺灣に現はれた、例の噂の托鉢僧姿の一人であつた。

そして將校は張某の好意で銀十數両を惠まれた事があつたのだ、かくて今度の訪問が全く恩返しの訪問であることがわかつた。

× ×

そこで、古い記憶から呼びさまされた人々は、和尚達の正體が、意外にも日本人であつたことを知り驚歎してしまつた。そして今更のやうに日本人の根氣よさ、忍耐に限いのに感心するのであつた。

その頃龍山寺附近の菅蔡に隠まれた或る大金持の邸宅が一日の中に火災に起して沒落した。人々はその家の主人がかつて飢犬を嗾かして巡錫の和尚をかみつかせたことがあつたその罰だと、噂して皇軍を歡呼裡に迎へたのである。

雜誌紹介

▲臺灣警察時報(六月號震災特輯號)今次の震災と警察(森田俊介)訓示(總務長官警務局長)震災地帶の意味 早坂一郎 地震の話 國富安一 震災突發と共に(中山侑)全島警察官三務官武術大會記 中山侑 臺灣地方選擧取締規則について 山本障 社會經濟 [illegible] 問題 時評 東嶺生 其他名家會員通報 臺灣各地方通信、執務資料、最近試驗問題集等あり。又今次の大震災に關する十四頁三十五葉の寫眞及び其の詳細なる記事が掲載されて居る。定價二十五錢 臺灣警察協會發行

▲[illegible](第八號)[illegible]

▲[illegible]

祝始政四拾周年記念

西澤義徵　高雄

松尾繁治　高雄

中村一造　高雄

新興製糖株式會社　取締役社長　陳啓峰

白石喜代治　旗山街

飯田耕一　高雄

荒木萬三郎　高雄

陳啓貞　高雄

高雄　陳中和物産株式會社　電話 本社 [illegible] 工場 [illegible]

高雄勞働需給組合

烏樹林製鹽株式會社

高級映畫常設　高雄市榮町　金鵄館　電話 [illegible]

淺野セメント株式會社　臺灣支店　臺灣工場　電代表三二四一番

日本炭酸株式會社　多木龍二

高雄劇場株式會社

臺灣高雄　株式會社　臺灣鐵工所

高雄材木商組合　本田材木店　奥村材木店　永田材木店　佐々木材木店　宮本材木店　宮幸材木店

吉井商行吳服部　高雄市壽町
吉井洋品部第一支店　高雄市山下町
吉井洋品部第二支店　高雄市新濱町
吉井商行マート部　高雄市山下町
吉井布團服地部　高雄市山下町
吉井洋品部第三支店　屏東市本町

高雄州青果同業組合

臺灣酒類賣捌人組合　高雄支部員一同

印刷、紙、文具商　南報商事社　山内留吉

臺灣南部無盡株式會社高雄支店　支店長　永田繁雄

高雄醫會

眺望絶佳　高雄市西子灣　伊東旅館　電話三四二六番

高雄魚市株式會社　高雄市新濱町二丁目十番地

陳光燦　高雄

新興製糖株式會社　臺灣高雄州鳳山郡大寮庄山子頂百九十番地　電話鳳山三〇番

海陸運送業　勞力請負業　代理業　株式會社日東商船組　臺灣高雄市新濱町一丁目一番地　電話 3251 3252 3253 3254 3255

カフエー [illegible]

中野彌三郎商店

吾妻支店

伊藤完二　屏東市

矢野榮治　屏東市

福田嘉太郎　屏東市

平山寅次郎　屏東

谷山亮太郎　屏東

臺灣産業組合高雄州支會　屏東分會

谷國三郎　屏東市

屏東旅館組合

臺灣南部無盡株式會社　屏東支店
山陽ホテル　自動車部　電話九番

高雄佛教聯合會

市内バス　高雄共榮自動車株式會社

辰馬汽船株式會社　高雄出張員　福岡勝郎

辰馬汽船株式會社代理店　大連汽船株式會社代理店　艀船運送業　勞力請負代理業　丸一組

高雄州米穀商同業組合
保證責任 高雄州米穀信用購買販賣利用組合

高雄青果會社　社長　藤田品之

國際通運株式會社高雄支店　高雄市新濱町一丁目一番地

大連汽船株式會社　松井爲次郎　矢野倫平

鳳山街　小島新聞店　電話七番

合資會社　高雄檢番

高雄料理屋組合

高雄貸座敷　共榮檢番

屏東　梅園　電話四番

屏東驛運送業組合

臺灣煙草賣捌人組合　屏東支部

臺灣酒類賣捌人組合　屏東支部

屏東市　有限責任　屏東信用組合　電話五五番

屏東信託株式會社

飯塚實　屏東

有馬康純　屏東

白木原民治　屏東

藍高川　屏東

臺南州東石郡

臺南州協議會員　太保庄長　王國材

鹿草庄長　白井房吉

布袋庄役場

六脚庄長　黄班爵　職員一同

臺南州東石郡(保證責任)
朴子信用組合
朴子建築信用購買利用組合
港墘信用購買利用組合
東石港信用組合
布袋信用購買利用組合
義竹信用販賣購買利用組合
牛桃灣信用購買販賣利用組合
鹿草信用販賣購買利用組合
太保信用購買利用組合
蒜頭信用購買利用組合

里壠支廳長　古藤齊助

矢野来助

廣瀨春次

里壠信用組合長　張石船

里壠醫院

岩崎房吉

徐監

易生堂藥房

里壠館

東館

本間善庫　臺東

島義雄　臺東

東部農産試驗場職員一同

赤城佐太郎　臺東街

臺東ホテル

中村源治郎　臺東街

臺東郵便局職員一同

古澤昇　臺東街

專賣局臺東出張所

渡邊晋　臺東街

毛利之俊　臺東街

株式會社　櫻組

料亭　筑前亭

新港自動車會社

松井金二郎　臺東街

料亭　富乃家

賴金木　臺東街

南志信　臺東街

金子幸七　臺東新港

東大内科醫院　臺東街

岩花政之助　臺東街

臺東商友會　事務所　臺東街寶町一〇七　電話二六番

御料理　富乃家

竹乃家

臺東製糖株式會社　臺東街馬蘭

祝始政四拾周年記念

大磐誠三
水野啓
淺生四市郎
梅本敦
澎湖廳

馬公街長 三浦光次
同助役 副島官市
同會計役 青柳和吉
同書記 上野滿藏

澎湖商工會

瀨戶崎市之丞 澎湖郵便局

高橋盛三郎 馬公

山宮忠藏 澎湖醫院

木下忠治 馬公

臺南地方法院 馬公出張所職員

澎湖廳望安庄長 佐藤乾

湖西庄長 平間鶴吉

白沙庄長 張懷

西嶼庄長 鍾鉅

馬公 井手英孝 電話六三番

馬公 伊東正成 電話二六番

馬公飲料理食店屋組合

上瀧利雄 馬公

青木紀 馬公

馬公街馬公 煙草元賣捌所 稻田岩一郎 電話一四五番

馬公 上瀧柳作 電話二〇番

海軍糧食品御用達 馬公 山口信行商店 電話三三番

海軍糧食品御用達 西室直次郎

海軍糧食品御用達 馬公 丸八旅館 電話九番

酒類賣捌人 鍾鉅 馬公街馬公 電話五三番

澎湖島特產 陸海軍酒保御用達 宮崎商店

馬公料理屋組合

馬公 大久保百貨店 電話一〇三番

馬公街馬公 糸永直太

馬公街馬公 產婆 青木ユキ 電話一四七番

馬公街馬公 內科 小兒科 池田醫院 電話一六番

大渡組

永聯泰洋服店 馬公 電話一六三番

山本清九郎商店 馬公市場內

株式 米穀問屋 三和商會

馬公果菜荷受組合 電話七七番

日用雜貨 日進商店

食料品 卸小賣 中國商店

多久島源太郎商店

日用雜貨商 豐進商店

各種清涼飲料 販賣元 山井商會 高添財氷店

日用雜貨 陸海軍御用達 金義發商店 馬公市場內

澎湖廳馬公街城外 馬公貸座敷組合

河俣糖廍 キネボー工場 河俣河重

花蓮港 平山貞市

花蓮港定置漁業組合

臺灣酒類賣捌人組合東部支部
渡邊房晉 岩崎逸吉 白井俊次 兒島二 唐仁原景俊 大江虎吉

紙文具 出古屋商店 花蓮港

金物 吉村商店 花蓮港

鳳林 饒永昌

吉村佐平 小川浩 中村五九介 大江虎吉 花蓮港

花蓮港 カフエー營業組合

花蓮港 稻垣吳服店

花蓮港 常盤館 筑陽軒 旭館 近江屋

山田孝使 赤城佐太郎 高橋與六

花蓮港 政所重三郎

花蓮港
阿部熊男
手貝千代志
東有恒
松本留吉
田中正顯

花蓮港 梅野清太

花蓮港 和田廣

花蓮港 美濃部良晴

花蓮港 宮崎末彥

花蓮港 荒尾角次

花蓮港街協議會員

(順次不同)

佐藤恒之進 玉置彌四郎 小川浩 古賀朝一郎 福井公 林玉鑾 許聰敏 謝萬福 鄭國賓 中村五九介 吉村佐平

東海自動車運輸株式會社

鹽水港製糖株式會社 花蓮港製糖所

野中松太郎 堤廣治 花蓮港

花蓮港 羽鳥醫院 羽鳥重郎

井上佐 花蓮港

花蓮港公學校 第二幼稚園 職員一同

活動常設館 筑紫館 奧井松太郎

カフエー タイガー 花蓮港

花蓮港電氣株式會社

住田物產株式會社 花蓮港舞鶴コーヒー農場

花蓮港料理業組合

株式會社 朝日組 花蓮港

花蓮港木材株式會社

花蓮港名物あんこ芋 ゑびすや 電話三三三番

花蓮港 高橋組 高橋清太郎

花蓮港物產株式會社

花蓮港 大嶽組 大嶽廣三郎

花蓮港 安武組 安武作平

花蓮港 田村組 田村作太郎

花蓮港 角谷組 角谷庄六

花蓮港 山田組 山田越太郎

花蓮港飲食店組合

玉置金物店 花蓮港

カフエー クロネコ 奧田みち 花蓮港街

泉二吉 花蓮港

花蓮港廳新社區水連尾製糖場 石川糖廍

公埔糖廍 陳秋傳

新築移轉 倫記商店 陳倫培 電話六〇七番 花蓮港街

玉里信用組合

加藤好文 玉里

水谷勝 大庄區

松尾溫爾 玉里

研海區 山口次八

片山寫眞館 花蓮港

木村活版所 花蓮港

清水倉太

五十嵐重藏

清水半平

中島常雄

花蓮港 渡邊文吾